

令和四年度

学生生活実態調査  
〔大学院〕

筑波大学



## まえがき

このたび、「令和4年度筑波大学学生生活実態調査（大学院）報告書」が発行される運びとなりました。

筑波大学の大学院生を対象とした学生生活実態調査は、昭和58年度と昭和63年度に学群と同様の内容で実施され、平成7年度には大学院生を対象とした調査が初めて別途実施されました。その13年後の平成20年度に実施しましたが、翌平成21年度に大学院入学生数が学群入学生数を初めて上回り、大学院生の生活の実態や意向をより正確に把握し、生活支援や研究教育支援の質を高める必要が強まったことから、2年に1度の実施とし、平成22年度と平成24年度に実施しました。その後、これまでの調査結果を検証し、調査間隔を再び5年として、前回調査を平成29年度に行い、今回が5年経過した令和4年度の調査報告となります。

実施にあたっては、回答してくれた学生はもとより、学生生活支援室と学生部を中心として、教育推進部、教学マネジメント室、各教育組織並びに各支援室の協力を得て調査することができました。

今回の調査は、前回同様、本学の学習管理システム manaba を用いて実施しました。調査にあたり、設問項目を精選するとともに、回答しやすいよう選択式を基本として、必要に応じて自由記述欄を設け、日本語版・英語版を選んで回答できるようにしました。

本調査は全学生を対象として実施している調査ですが、回答率は筑波地区が21.6%と前回に比べ1.5ポイント低下し、東京地区も11.6%と前回に比べ1.6ポイント低下しました。大学院においては、コロナ禍の影響のためか回答率が前回より低下しており、特に東京地区の回答率の低下が著しいことから、その要因などを検討し、回答率向上に努めてまいります。

なお、調査結果は、ホームページに掲載し、本学の学生並びに教職員はもとより、学外にも公表します。

本学の教職員においては、本調査結果が、部局の運営、学生の学修・生活環境の改善及び進路指導等に役立つ重要な根拠資料であることを認識し、各指標の経年変化に現れる学生意識の変遷を踏まえて、関係部署との連携を図りながら、学生支援の質の向上に活用していただきたいと思います。

最後に、学生生活支援室はじめ関係者の方々の努力により、今回も無事報告できる運びとなりましたこと心から感謝いたします。

令和5年3月

学生担当副学長 太田 圭

# 目 次

まえがき

概要

令和4年度学生生活実態調査（大学院）概要 ..... 1

筑波地区

令和4年度筑波大学学生生活実態調査（大学院生用）《和文・英文》 ..... 5

筑波大学学生生活実態調査（大学院）回答率について ..... 44

第1章 あなた自身について ..... 45

問1. 社会人の経験について ..... 45

問2. 筑波大学大学院を志望した理由について ..... 47

問3. 筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について ..... 48

第2章 生活全般について ..... 49

問4. あなたの家族の主たる家計支持者について ..... 49

問5. 主たる家計支持者の昨年の年収について ..... 50

問6. 大学に希望する経済支援について ..... 51

問6-1. 一時貸付金を希望する理由について ..... 51

問7. 1か月の平均的な収入について ..... 52

問8. 収入源について ..... 53

問9. 1か月の生活費や研究活動費の充足度について ..... 54

問9-1. 生活費や研究活動費などで不足しているものについて ..... 55

問10. アルバイトの種類について ..... 56

問11. アルバイトをする理由について ..... 57

問12. アルバイトの学修への影響について ..... 57

問13. 現在の住まいについて ..... 58

問13-1. 学生宿舎への入居希望について ..... 58

問13-2. 現在の居住地について ..... 58

問13-3. 入居している学生宿舎について ..... 60

問13-4. 学生宿舎の満足度について ..... 60

問14. 学生宿舎のリニューアルについて ..... 61

問15. 平均的な1日または1週間の過ごし方について ..... 62

	A. 平均的な1日の過ごし方について .....	62
	B. 平均的な1週間の過ごし方について .....	63
	C. 平均的な休日の過ごし方について .....	63
問 16.	日常生活の満足度について .....	65
問 17.	新型コロナの影響について .....	66
<b>第3章</b>	<b>通勤等について .....</b>	<b>67</b>
問 18.	通学時の交通手段について .....	67
問 19.	雨天時以外の通学時間について .....	68
問 20.	キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について .....	69
<b>第4章</b>	<b>健康状態について .....</b>	<b>70</b>
問 21.	過去1年間の健康状態について .....	70
問 22.	過去1年間の困り事・悩み事について .....	71
問 23.	あなたの感じ方について .....	72
<b>第5章</b>	<b>相談相手・情報の得方について.....</b>	<b>73</b>
問 24	主な相談相手について .....	73
問 24-1.	相談相手と話す機会について .....	75
問 25.	情報の得方について .....	76
問 26.	相談機関について .....	77
<b>第6章</b>	<b>課外活動について .....</b>	<b>78</b>
問 27.	サークル活動について .....	78
問 27-1.	サークル活動の動機について .....	79
問 28.	宗教団体・啓発セミナーなどについて .....	80
問 29.	ボランティア活動について .....	81
問 30.	つくばアクションプロジェクト（T-ACT）の活動について .....	82
問 31.	学外研修施設について .....	83
<b>第7章</b>	<b>進路や就職活動について .....</b>	<b>84</b>
問 32.	修了後の進路について .....	84
問 33.	修了後の外国での就労希望について .....	86
問 34.	進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について .....	87
問 35.	将来の進路への感じ方について .....	88
問 36.	就職活動に役だった情報源について .....	89
問 37.	進路決定の際の指導教員への相談について .....	90

問 38.	就職活動の学修・研究への影響について	91
第 8 章	本学への期待や要望等について	92
問 39.	教員に最も期待することについて	92
問 40.	教育面や制度面で充実してほしい点について	93
問 41.	整備・充実してほしい施設等について	94
問 42.	学内の福利厚生施設の満足度について	95
問 43.	筑波大学への要望や提言等について	96
	A. 設備等に関する要望	96
	B. 教職員に対する要望	96
	C. 施設に対する要望	96
	D. その他	97
【資料】	令和 4 年度筑波大学大学院学生生活実態調査（大学院）集計表〈全体〉	98

## 東京地区

令和 4 年度 筑波大学学生生活実態調査（大学院生用）	《和文・英文》	115
筑波大学学生生活実態調査（大学院 東京地区）	回答率について	137

第 1 章	あなた自身について	138
問 1.	社会人の経験について	138
問 2.	筑波大学大学院を志望した主な理由について	139
問 3.	筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について	140
問 4.	現在の住まいについて	141
問 5.	現在の居住地について	142
第 2 章	生活全般について	143
問 6.	あなたの家族の主たる家計支持者について	143
問 7.	大学に希望する経済支援について	144
問 7-1.	一時貸付金を希望する理由について	144
問 8.	収入源について	145
問 9.	1 ヶ月の生活費や研究活動費の充足度について	146
問 9-1.	生活費や研究活動費などで不足しているものについて	146
問 10.	起床時刻と就寝時刻について	147
問 11.	平日夜間の食事について	148

問 11-1.	在校中の食事について	148
問 12.	日常生活の満足度について	149
問 13.	新型コロナの影響について	150
<b>第 3 章</b>	<b>通学等について</b>	<b>151</b>
問 14.	通学時の交通手段について	151
問 15.	雨天時以外の通学時間について	152
問 16.	宗教団体や啓発セミナーなどについて	153
<b>第 4 章</b>	<b>健康状態について</b>	<b>154</b>
問 17.	過去 1 年間の健康状態について	154
問 18.	過去 1 年間の困り事・悩み事について	155
問 19.	あなたの感じ方について	156
<b>第 5 章</b>	<b>相談相手・情報の得方について</b>	<b>157</b>
問 20-1.	主な相談相手について	157
問 20-2.	相談相手と話す機会について	158
問 21.	情報の得方について	159
問 22.	相談機関について	160
<b>第 6 章</b>	<b>本学への期待や要望等について</b>	<b>161</b>
問 23.	教員に最も期待することについて	161
問 24.	教育面や制度面で充実してほしい点について	162
問 25.	整備・充実してほしい施設等について	163
問 26.	学外研修施設について	164
問 27.	筑波大学への要望や提言等について	165
	A. 制度等に関する要望	165
	B. 教職員に関する要望	165
	C. 施設に関する要望	165
	D. その他	165
<b>【資料】</b>	<b>令和 4 年度筑波大学学生生活実態調査（大学院 東京地区）集計表〈全体〉</b>	<b>166</b>





# 令和4年度学生生活実態調査(大学院)概要

## 1. これまでの実態調査の実施と目的

筑波大学では、「大学院学生の生活・教育・研究環境の実態を把握し、本学大学院学生の生活の一層の向上および教育・研究環境の改善に資すること」を目的として、学生生活実態調査を実施している。学群学生に対しては、昭和53年度から平成20年度まで5年毎に実施していたが、大学院学生に対しては、第2回（昭和58年度）と第3回（昭和63年度）に学群学生と同一の調査票を用いて調査が行われた。第4回（平成5年度）の調査の際に、学群学生と同一の調査票を用いることは適切でないとの理由から、大学院学生は調査の対象から外された。その2年後（平成7年度）に第5回学生生活実態調査が大学院学生のみを対象として実施されたが、第6回（平成10年度）と第7回（平成15年度）の調査は、再び学群学生のみを対象として行われ、平成20年度に学群学生向けの調査と同時に、大学院学生は「生活等に関するアンケート調査」として13年ぶりに調査が行われた。その後、学生生活支援室では、実態調査の実施について検討を重ね、大学院修士課程、博士前期課程が2年間の課程であることを踏まえて、2年に1度の間隔で実施することになり、平成22年度と平成24年度に実施された。しかし、その後の再度の見直しで、実態調査は5年毎で十分であるとの判断により、平成29年度に5年ぶりに実態調査が行われた。そして、その5年後にあたる令和4年度に行われたのが、今回の実態調査である。なお、学群学生に対する調査も同時に実施され、その結果は『令和4年度筑波大学学生生活実態調査（学群）報告書』としてまとめられている。

## 2. 実施方法の検討と調査項目の設定

学生生活支援室では、令和3年度の室員業務の1つに、令和4年度に行われる予定の学生生活実態調査の実施体制等の検討を含め、秋学期に入ると次年度実施に向けた準備を始めた。令和4年度は、第4期中期目標・中期計画の初年度に当たることから、第4期中期目標達成に向けた学生の意向調査と位置づけ、学生生活の充実はもとより、教育に関する中期目標達成にも寄与するため、設問検討やデータ分析について、教学マネジメント室と連携した実施体制を構築することとなった。

令和4年3月に学生生活実態調査実施に向けた第1回打合せを、学生生活支援室と教学マネジメント室の合同で開催し、主に調査の媒体について検討を行った。作業効率の点から紙媒体ではなく、電子媒体を用いることがまず決定され、次いで電子媒体としていくつかの候補が挙がったが、前回同様、manabaでの実施を支持する意見が多かった。しかし、manabaを用いると、システム上、回答者の学籍番号、性別、所属などが紐づいているため、回答率が低下するのではないかと懸念があり、またそれ以前に、情報倫理上の問題として、その事実を明らかにした上で、回答者の同意を得る必要があるとの指摘が出された。そのため、調査媒体の決定は次回に持ち越すことになった。第1回打合せでは、調査の対照を全学生とするか、無作為抽出した一定数の学生にするかの議論も行い、この決定も次回に持ち越すこととなった。

第2回の打合せが5月上旬に行われ、ここでは、1) 調査を令和5年10月に実施すること、2) 全学生を対象とすること、3) 筑波地区と東京地区を分けて設問を設定すること、4) manabaで行うこと、などが決定された。manabaを用いることの情報倫理的な問題については、調査票の「まえがき」に「本調査は、学習管理システムmanabaを利用して実施するため、大学はみなさんの個人情報を取得することになる」旨のことを記し、さらに「学籍番号については、筑波大学が保有する他のデータと関連付けて分析する必要が生じた場合のみ使用される。ただし、結果は統計的に処理され、個人的な情報が公にされることはない」旨のことを追記し、以上のことを了解してもらった上で回答を求めることとした。第2回打合せでは、学生生活支援室員で分担を決め、前回の調査項目について詳細に検討し、設問の追加や削除に

ついでに案を作成することになった。

5月下旬に行われた第3回打合せでは、前回の調査項目についての検討結果を持ち寄り、話し合いを行った。その結果、事件・事故に関する設問は削除すること、コロナ禍に関する設問は、厳選して1問にまとめること、などを決定した。以上のような準備作業を経て、7月上旬までに調査項目の第1次案を作成した。

調査項目の設定においては、回答率を向上させるためにも、設問数を増やさないことが重要であるとの認識から、項目の厳選に力を入れた。前回の調査項目は、筑波地区46問、東京地区27問であったが、今回は、筑波地区43問、東京地区27問、と筑波地区でわずかながら減少することとなった。

令和4年度第4回大学院教育会議（7月19日開催）において、「令和4年度筑波大学学生生活実態調査」の実施案が報告され、調査票案について意見の聴取が行われた。その後、細部にわたる確認作業などを行い、8月上旬までには調査票を確定させた。また、英語版を用意するとともに、調査票をmanabaに落とし込む作業を行い、9月下旬までに準備作業を終えた。

### 3. 調査の実施

10月3日（月）から10月31日（月）までの期間でmanabaによる調査を実施した。調査期間中、第5回大学院教育会議（10月18日開催）において、教育組織ごとの回答率を提示し、回答率の向上を促した。調査は、システムトラブルなど問題になることはなく、関係教職員の方々のご尽力によりスムーズに実施することができた。しかしながら、最終的な回答率は、大学院全体で20.3%となり、前回の23.1%より2.8ポイントほど下回る結果となった。今後の改善が望まれる。

### 4. 調査結果の分析と報告書の作成

調査終了と同時に担当事務職員が調査データの集計を開始し、12月下旬までにその作業を完了した。学生生活支援室員と関係職員に、集計結果の数値をもとに作成された表が提示され、教学マネジメント室員の協力のもとに、データの分析および報告書の原稿作成が依頼された。1月下旬までに各項目の原稿が整い、その後、全体の内容確認が行われた。

本報告書の発行にあたり、様々な角度からデータの分析を行い、原稿を作成していただいた学生生活支援室員、教学マネジメント室員および関係部局の方々に感謝したい。

また、各教育組織においても、学生生活の一層の向上と教育・研究環境の改善の基礎資料として、本報告書を活用していただければ幸いである。

#### 執筆分担：

概要	加 賀 信 広（人文社会系）
問 1～問 2【問 1～問 5】	大 徳 浩 照（生存ダイナミクス研究センター）
問 4～問 15【問 6～問 11】	大 倉 沙 江（人文社会系）
問 16～問 20【問 12～問 15】	小 林 正 美（数理解物質系）
問 21～問 26【問 17～問 22】	慶 野 遥 香（人間系）
問 27～問 31【問 16、問 26】	水 谷 哲 也（システム情報系）
問 32～問 38	ヒューマンエンパワーメント推進局キャリア支援チーム
問 39～問 40【問 23～問 24】	大 徳 浩 照（生存ダイナミクス研究センター）
問 41～問 43【問 25】	江 口 真 規（人文社会系）
問 44【問 27】	加 賀 信 広（人文社会系）

※【 】は東京地区の調査票の設問番号

# 筑波地区





令和4年度 筑波大学学生生活実態調査（大学院生用）

\*\*\* お願い \*\*\*

この学生生活実態調査（以下「本調査」という）は、筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善に資することを目的として、全学生の皆様を対象として実施するものです。皆様のご意見を、これからの筑波大学での学生生活および教育をよりよいものにしていくための貴重な資料として活用させていただきたいと考えています。

本調査の結果が上記の目的以外に使用されることはありません。調査への回答は任意であり、回答内容や回答しないことで不利益を被ることはありません。なお、本調査は、学習管理システム manaba を利用して実施するため、大学はみなさんの個人情報を取得することになります。学籍番号については「筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善」のために、筑波大学が保有する他のデータと関連付けて分析する必要が生じた場合のみ使用されます。ただし、結果は統計的に処理され、あなたの個人的な情報が公にされることはありません。

本調査によって取得した個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」および「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則（平成17年法人規則第6号）」および「国立大学法人筑波大学におけるEU一般データ保護管理規則（GDPR）に基づくプライバシーポリシー（令和3年2月4日学長決定）」に基づき厳密に取り扱われます。

過去の調査にご協力いただいた結果をまとめた報告書は以下のページで公開されています。今回の調査も公開される予定です。

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

以上をご承諾いただける方は、以降の設問にご回答ください。

この調査の趣旨をご理解のうえ、多くの方のご協力をお願いいたします。

令和4年10月

筑波大学 副学長（学生担当） 太田 圭  
副学長（教育担当） 加藤 光保

\*\*\*\*\*

1. 記入の方法などについて

- ① 調査は、全部で43問です。（所要時間は25分程度です。）
- ② 回答は、番号・記号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものがあります。  
選択方式の場合は、該当する番号・記号を選んでください。  
その他等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。
- ③ 設問で指定されていない限りは原則として、令和4年10月1日現在で記入してください。
- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断する」のボタンを押してください。
- ⑤ アンケートページを前後する場合は、アンケートページ内の「前へ」「次へ」のボタンを使用し、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

## 2. 提出期間

令和4年10月3日（月）～令和4年10月31日（月）

## 3. ご質問・ご意見等の問い合わせ先（調査元：学生部 学生生活課 総務）

電話：029-853-2298・2224

メール：[gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp)

# I. あなた自身について

問1. 社会人の経験はありますか

ある  ない

問1で「ある」を選択した方にお聞きします。

問1-1. 現在の在職状況について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  在職中
2.  休職中
3.  退・辞職し、現在、定職はない
4.  定職はなかった
5.  その他

問1-1で「1. 在職中」「2. 休職中」を選択した方にお聞きします。

問1-1-1. 筑波大学大学院に入学するにあたって職場の理解は得られていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学費の負担も含め、全面的に得られている
2.  就学に支障のない程度に得られている
3.  職場の休職制度を利用
4.  職場の派遣制度を利用
5.  職場のその他の制度を利用
6.  職場には秘密にしている
7.  その他

問2. 筑波大学大学院を志望した主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  研究領域に魅力がある
2.  教育内容が優れている
3.  希望する分野がある
4.  指導教員の資質・能力、指導体制が優れている
5.  研究室の雰囲気に魅力がある
6.  教育・研究施設が優れている
7.  幅広い専門が学べる
8.  学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している
9.  国立大学である
10.  留学生が多いなど国際性が高く、留学制度が充実している

- 1 1.  自然が豊かで開かれたキャンパスに魅力がある
- 1 2.  学生宿舎が充実している
- 1 3.  修了後の進路など就職に有利である
- 1 4.  修了年限の弾力的な運用がある
- 1 5.  親や指導教員などから勧められた
- 1 6.  自宅から通える
- 1 7.  資格などが取りやすい
- 1 8.  その他

◎「1 8. その他」を選択した方は、具体的な理由を記入してください。

問3. あなたが筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  筑波大学・大学院
- 2.  日本国内の他大学・大学院
- 3.  日本国外の大学・大学院
- 4.  その他

## Ⅱ. 生活全般について

問4. あなたの現在の生計を支えている方について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  父
- 2.  母
- 3.  本人
- 4.  兄弟姉妹
- 5.  祖父母
- 6.  配偶者
- 7.  その他

問5. あなたの現在の生計を支えている方の昨年(2021年1月～12月)の年間税込み収入はどれくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。生計を支えている方が複数いる場合は、その全員分を合算してください。

- 1.  300万円未満
- 2.  300万円～400万円未満
- 3.  400万円～500万円未満
- 4.  500万円～600万円未満
- 5.  600万円～700万円未満
- 6.  700万円～800万円未満
- 7.  800万円～900万円未満
- 8.  900万円～1000万円未満
- 9.  1000万円～1100万円未満

- 10.  1100万円～1200万円未満
- 11.  1200万円～1300万円未満
- 12.  1300万円以上
- 13.  分からない

問6. 大学に希望する経済支援は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  給付型（返還義務なし）奨学金
- 2.  貸与型（返還義務あり）奨学金
- 3.  授業料免除
- 4.  一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）
- 5.  その他
- 6.  特に希望しない

◎「5. その他」を選択した方は、希望する経済支援の具体例を記入してください。

問6で「4. 一時貸付金」を選択した方にお聞きします。

問6-1. 一時貸付金を希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  授業料のため
- 2.  生活費のため
- 3.  その他

問7. あなたの今年4月以降の1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  6万円未満
- 2.  6～9万円未満
- 3.  9～12万円未満
- 4.  12～15万円未満
- 5.  15～18万円未満
- 6.  18～25万円未満
- 7.  25～30万円未満
- 8.  30万円以上

問8. あなたの1ヶ月の平均的な収入の収入源はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  有職者としての給与
- 2.  奨学金
- 3.  仕送り
- 4.  筑波大学でのTA・TF（ティーチング・アシスタント、ティーチングフェロー）
- 5.  筑波大学でのRA（リサーチ・アシスタント）
- 6.  指導教員から頼まれた学内でのアルバイト
- 7.  「4」～「6」以外の学内でのアルバイト



- 8.  他大学での非常勤講師
- 9.  民間会社の契約社員や派遣社員
- 10.  筑波大学以外での定常的なアルバイト
- 11.  筑波大学以外での不定期のアルバイト
- 12.  貯金
- 13.  借入金
- 14.  研究奨励費
- 15.  その他

◎「15. その他」を選択した方は、収入源を記入してください。

問9. 平均的な1ヶ月の生活費や研究活動費などは充分ですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  充分である
- 2.  まあまあ足りている
- 3.  ぎりぎりである
- 4.  不足している

**問9で「4. 不足している」を選択した方にお聞きします。**

問9-1. 生活費や研究活動費などで不足しているものは何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  授業料が納入できない
- 2.  研究時間確保でアルバイトができない
- 3.  研究用資料・書籍が購入できない
- 4.  IT環境を整備できない
- 5.  学会・研究会などに行けない
- 6.  研究のための調査に行けない
- 7.  研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない
- 8.  その他

◎「8. その他」を選択した方は、不足しているものの具体例を記入してください。

**「今年4月以降に筑波大学外でアルバイトをした方」にお聞きします。**

問10. 仕事の種類について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  家庭教師
- 2.  塾講師・添削指導
- 3.  一般事務
- 4.  特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）
- 5.  飲食店での業務
- 6.  飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）
- 7.  重労働（引っ越し・建築関係等）
- 8.  その他

◎ 「8. その他」を選択した方は、職種を記入してください。

「今年4月以降に筑波大学外でアルバイトをした方」にお聞きします。

問1 1. アルバイトを行う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学費のため
2.  生活費のため
3.  サークル活動費のため
4.  レジャー・旅行のため
5.  技術を得るため
6.  友人を得るため
7.  その他

◎ 「7. その他」を選択した方は、その理由を記入してください。

「今年4月以降に筑波大学外でアルバイトをした方」にお聞きします。

問1 2. アルバイトに費やされる時間は研究・学修の妨げになっていますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  とても妨げになっている
2.  すこし妨げになっている
3.  あまり妨げになっていない
4.  全く妨げになっていない

問1 3. あなたの現在の住まいについて、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  学生宿舎
2.  民間のアパート・マンションなど
3.  親と同居
4.  親戚・知人宅
5.  その他

問1 3で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。

問1 3-1. 学生宿舎への入居を希望しますか。

- 希望する  希望しない

問1 3で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。

問1 3-2. あなたの現在の居住地について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

- (A) 学生宿舎以外でつくば市内 (1. 天久保 2. 春日 3. 桜 4. 柴崎 5. 吾妻 6. その他)
- (B) つくば市以外で茨城県内 (1. 県南地域 2. 県西地域 3. その他)
- (C) 茨城県外で関東地方 (1. 東京都 2. 千葉県 3. 埼玉県 4. その他)
- (D) その他 (1. その他)

問13で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きます。

問13-3. 入居している学生宿舎について、あてはまるものを各1つずつ選択してください。

① 学生宿舎の地区

1.  一の矢地区
2.  平砂地区
3.  追越地区
4.  春日地区

② 居室のタイプ

1.  単身宿舎
2.  世帯宿舎
3.  二人室（単身使用）
4.  シェアハウス（グローバルヴィレッジ）

問13で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きます。

問13-4. 入居している学生宿舎の満足度について、以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 料金
2. 居室
3. 補食室
4. 宿舎設備（エアコン・トイレ・洗濯室・コインシャワー等）
5. セキュリティ
6. ネットワーク環境
7. 売店
8. 管理事務所の対応
9. 総体的に

- a. かなり満足
- b. おおむね満足
- c. どちらともいえない
- d. 少し不満
- e. かなり不満

1  2  3  4  5  6   
7  8  9

◎ 学生宿舎に関して、上記1～9の項目以外に満足している点または不満な点があれば自由に記述してください。

問14. 筑波大学では現在、学生宿舎のリニューアルを検討しています。新しい宿舎に求める項目は何ですか。

重視する順に3つまで選択してください。

1. 1番目に重視する項目
  2. 2番目に重視する項目
  3. 3番目に重視する項目
- 
- a. 賃料
  - b. 広さ
  - c. 個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）
  - d. シェアハウス形式であること
  - e. エアコン
  - f. Wi-Fi 環境
  - g. セキュリティ
- 1

◎新しい学生宿舎に関して、上記 a～g の項目以外に重視する項目があれば自由に記述してください。

問15. 今年の4月から6月における平均的な1日または1週間の過ごし方について

**A. 平日の1日での平均時間を記入してください**

①大学の授業の時間（受講のための動画視聴時間を含む）：

- |   |   |
|---|---|
| 対面 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間 | 動画視聴 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間 |
| ②授業の予習・復習・課題を行う時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ③研究の時間  | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ④授業と研究以外の自学自習のための時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ⑤睡眠時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |

**B. 1週間の総時間を記入してください**

①大学の授業・実習等の時間（受講のための動画視聴時間を含む）：

- |   |   |
|---|---|
| 対面 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間 | 動画視聴 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間 |
| ②授業の予習・復習・課題を行う時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ③研究の時間  | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ④授業と研究以外の自学学習のための時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ⑤サークル・ボランティアなどの活動時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |
| ⑥アルバイト・就業時間   | : <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 時間    |

**C. 休日の過ごし方について主にあてはまるものを選択してください（複数回答可）**

1.  自宅で過ごす
2.  趣味・娯楽・買い物のため外出
3.  仕事・アルバイト
4.  部活動・サークル活動
5.  大学の授業
6.  大学の研究

7.  その他

◎「7. その他」を選択した方は、具体的な休日の過ごし方を記入してください。

問16. 現在の日常の生活に全体として満足していますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  かなり満足
2.  おおむね満足
3.  どちらともいえない
4.  少し不満
5.  かなり不満

問17. 新型コロナウイルス感染症拡大下での様々な制限は、あなたの生活にどのような影響を及ぼしていますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 自身のキャリア形成や就職・進学
2. 家族関係や友人との関係
3. 自身のメンタルヘルスや健康状態
4. アルバイト収入や家族の収入
5. 課外活動等
6. 余暇時間の過ごし方

- a. とてもよい影響があった
- b. よい影響があった
- c. どちらとも言えない
- d. 悪い影響があった
- e. とても悪い影響があった

1  2  3  4  5  6

### Ⅲ. 通学等について

問18. あなたが1回の通学のために利用している交通手段はどのようなものですか。雨天および雨天以外の日それぞれについて、あてはまるものをすべて選択してください。

#### ① 雨天時

1.  徒歩
2.  自転車
3.  バイク（原付を含む）
4.  自家用車
5.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
6.  学内循環バス以外の路線バス（高速バスを含む）
7.  つくばエクスプレス（TX）
8.  JR常磐線
9.  7、8以外の鉄道路線

10.  その他

② 雨天以外

1.  徒歩
2.  自転車
3.  バイク（原付を含む）
4.  自家用車
5.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
6.  学内循環バス以外の路線バス（高速バスを含む）
7.  つくばエクスプレス（TX）
8.  JR 常磐線
9.  7、8以外の鉄道路線
10.  その他

問19. 雨天の日以外のあなたの通学時間は片道どのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  15分未満
2.  15分～30分未満
3.  30分～45分未満
4.  45分～1時間未満
5.  1時間～1時間半未満
6.  1時間半～2時間未満
7.  2時間以上

問20. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度はどのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  ほぼ毎日
2.  週に2～3回
3.  月に2～3回
4.  年に数回
5.  いままでに数回
6.  利用したことはない

## IV. 健康状態について

問21. あなたの過去1年間の健康状態について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  健康である
2.  健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）
3.  身体の病気で受診・入院した
4.  精神的な問題で受診・入院した
5.  心理的な問題で相談機関を利用した
6.  けがで受診・入院した

7.  その他

問22. あなたは過去1年間にどのようなことで困ったり悩んだりしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学業や研究の不振
2.  単位修得の問題
3.  学術院・研究群の学位プログラムまたは専攻の移籍
4.  休学・退学
5.  進路
6.  就職
7.  学業と仕事の両立
8.  友人との関係
9.  教員との関係
10.  研究室内の問題
11.  部活動・サークル内の問題
12.  恋愛関係
13.  家族関係
14.  自分の性格
15.  自分の精神的・心理的状态
16.  自分の身体的病気・けが等の状態
17.  経済状態
18.  ハラスメント
19.  その他
20.  特になし

◎「19. その他」を選択した方は、その内容を具体的に記入してください。

--

問23. 次の事柄について、過去1年間のあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 自分のやりたいことができている
  2. 何となく不安になることがある
  3. 自分のことをよくわかってきている人がいる
  4. 何をやってもうまくいかない気がする
  5. 気分が憂鬱である
  6. 「死にたい」と思ったことがある
  7. 大学生活が充実している
- 
- a. とてもあてはまる
  - b. 少しあてはまる
  - c. あまりあてはまらない
  - d. 全くあてはまらない

1  2  3  4  5   
 6  7

## V. 相談相手・情報の取得方法について

問24. あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人はどなたですか。話したり相談しやすい順に3つまで選択してください。

1. 1番目に話したり相談しやすい人は
2. 2番目に話したり相談しやすい人は
3. 3番目に話したり相談しやすい人は

- a. 家族
- b. 恋人
- c. 友人（学内）
- d. 友人（学外）
- e. 先輩・後輩（学内）
- f. 先輩・後輩（学外）
- g. 教員
- h. その他
- i. 特にいない

1  2  3

問24で「a」～「h」を選択した方にお聞きします。

問24-1. 「問24」で話したり相談しやすいとして選んだ人たちとあなたが話をする機会（電話やメールも含みます）は普段どのくらいありますか。それぞれの人についてあてはまるアルファベットを選択してください。

1. 1番の人とは
2. 2番の人とは
3. 3番の人とは

- a. 頻繁にある
- b. 少しある
- c. あまりない
- d. ほとんどない

1  2  3

問25. 学修・研究や生活に関わる一般的な情報を得ようとするとき、主に誰にあるいはどこにアクセスしますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教員
2.  事務職員
3.  友人等
4.  TWINS 掲示板



5.  manaba の掲示板
6.  Microsoft Teams
7.  大学の HP
8.  研究群・学位プログラムまたは専攻等の HP
9.  学位プログラムまたは専攻等のメーリングリストまたはグループライン
10.  SNS (Twitter、Instagram 等)
11.  その他

問26. 筑波大学には、学生生活の中で生じる様々な問題について、相談できる機関や制度があります。利用状況について、以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. スチューデントプラザ総合相談窓口
2. 春日地区総合相談窓口
3. 学生相談室
4. キャリア・就職相談
5. 相談室「あう」
6. 保健管理センター1階 精神保健相談（精神科）
7. 保健管理センター2階 健康相談（内科）
8. LGBT等の相談窓口（DACセンターダイバーシティ）
9. 障害学生支援の相談窓口（DACセンターアクセシビリティ）
10. 留学生相談室
11. ハラスメント相談センター

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはないが、利用の仕方は知っている
- c. 利用したことはないが、存在は知っている
- d. 利用したことがなく、存在も知らない

1  2  3  4  5  6   
 7  8  9  10  11

## VI. 課外活動について

問27. 大学院生になってからのサークル活動について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  正式メンバーで現在活動中
2.  コーチなどで現在活動中
3.  「1」「2」以外で現在活動中
4.  以前は活動していた
5.  活動したことはない

問27で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

問27-1. サークル活動の動機について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  友人がほしくて
2.  知識・教養のため

- 3.  健康のため
- 4.  技術向上のため
- 5.  団体活動を経験したい
- 6.  趣味と一致
- 7.  余暇の利用のため
- 8.  レクリエーションの一環で
- 9.  希望の進路と同じで有益
- 10.  就職などにプラス
- 11.  大学時代からの継続
- 12.  勧誘されて
- 13.  社会貢献のため
- 14.  その他

問28. 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘についてお尋ねします。以下の項目ごとに当てはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが
- 2. 大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが
- 3. 大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが
- 4. 大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが

- a. ある
- b. ない

1  2  3  4

問29. 大学院生となつてからのボランティア活動について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  授業やゼミを通じて参加したことがある
- 2.  つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある
- 3.  サークル活動を通じて参加したことがある
- 4.  その他の機会に参加したことがある
- 5.  参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 6.  ボランティア活動に参加する予定はない

問30. 大学院生となつてからのつくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について、あてはまるものをすべて選択してください。(T-ACTとは、学生の「やってみたい」を支援する学生支援組織です。)

- 1.  T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある
- 2.  T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある
- 3.  T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある
- 4.  その他の機会でも T-ACT に関わったことがある
- 5.  参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 6.  T-ACT の活動に参加する予定はない

問3 1. 筑波大学の学外研修施設（レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山）を利用したことはありますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. レイクロッジヤマナカについて
2. ナミカゼ館山について

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことがない
- c. 存在を知らない

1  √ 2  √

## Ⅶ. 進路や就職活動について

問3 2. あなたの修了後の進路（現在の希望を含む）について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

- (A) 進学等（1. 筑波大学大学院 2. 国内の他大学大学院 3. 海外の大学院  
4. 研究員、研究生等（日本学術振興会・研究生） 5. その他）
- (B) 就職（1. 企業 2. 大学教員 3. 研究員 4. 小・中・高校の教員  
5. 公務員 6. 自営・起業 7. その他）
- (C) 復職（1. 企業 2. 大学教員 3. 研究員 4. 小・中・高校の教員  
5. 公務員 6. 自営 7. その他）
- (D) その他（1. 決まっていない 2. まだ考えていない 3. その他）

√

問3 3. あなたは修了後、外国で（留学生は修了後、日本で）働きたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. ○ 強くそう思う
2. ○ ややそう思う
3. ○ 分からない
4. ○ あまりそう思わない
5. ○ 全くそう思わない

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きます。

問3 4. あなたが進路を決めた（これから決めるときに考慮する）主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  やりがい
2.  社会的貢献
3.  年収
4.  安定した生活
5.  ワーク・ライフ・バランス
6.  自分の能力や適性
7.  専門知識を深める
8.  大学院での学修の活用
9.  大学院での研究の活用

- 10.  社会的評価
- 11.  将来性
- 12.  地理的利便性
- 13.  その他

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問35. 将来の進路（キャリア形成）について、あなたの感じ方に最も近いのはどれですか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 将来の進路（キャリア形成）について、とても関心を持っている
- 2. 働くことについて、真剣に考えたことがない
- 3. 進路決定では、周囲の雰囲気流されることはない
- 4. 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う
- 5. 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている
- 6. 希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない

- a. よくあてはまる
- b. ややあてはまる
- c. どちらともいえない
- d. あまりあてはまらない
- e. 全くあてはまらない

1  2  3  4  5  6

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問36. 就職活動に役立った主な情報源は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  指導教員
- 2.  学位プログラムなどの就職委員
- 3.  ゼミの同輩・先輩
- 4.  就職課
- 5.  就職課 HP
- 6.  学内の就職ガイダンス
- 7.  就職情報誌
- 8.  就職情報サイト
- 9.  学外の就職イベント
- 10.  企業・自治体等の HP
- 11.  インターンシップ
- 12.  OB・OG 訪問
- 13.  SNS
- 14.  その他

◎ 「14. その他」を選択した方は、役に立った情報源を具体的に記入してください。

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問37. 修了後の進路を考えるにあたり指導教員に相談しましたか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  たびたび相談した
2.  時々相談した
3.  ほとんど相談していない
4.  相談はしていない
5.  相談しようとしたが断られた
6.  その他

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問38. 就職活動によって、大学での学修・研究に支障ができましたか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  支障は全くでていない
2.  支障はあまりでていない
3.  支障が多少はでている
4.  支障がととてもでている

## VIII. 本学への期待や要望等について

問39. 筑波大学の教員に最も期待することはどのようなことですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  優れた研究者であってほしい
2.  授業内容を充実させてほしい
3.  もっと解りやすく教えてほしい
4.  研究指導の時間を確保してほしい
5.  ハラスメントの問題に敏感になってほしい
6.  研究成果を教育の現場にもっと反映してほしい
7.  その他
8.  特になし

◎「7. その他」を選択した方は、期待することを具体的に記入してください。

--

問40. 教育面や制度面で充実してほしいと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教育研究スタッフ
2.  カリキュラム
3.  講演会等課外教育プログラム
4.  留学制度
5.  就職活動の支援
6.  教員との懇談会

- 7.  奨学金・授業料免除等の経済的支援
- 8.  ボランティア活動に対する支援
- 9.  支援室や事務室の対応
- 10.  メンタル面に関する支援
- 11.  ハラスメント対応（組織・制度）
- 12.  その他

◎「12. その他」を選択した方は、充実してほしい点を具体的に記入してください。

問4 1. キャンパス内の施設等で、特に整備・充実してほしいのはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  教室・実験室
- 2.  図書館
- 3.  サテライト室
- 4.  ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）
- 5.  体育施設
- 6.  課外活動施設
- 7.  セキュリティ
- 8.  駐車場
- 9.  駐輪場
- 10.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 11.  ペDESTリアンデッキ
- 12.  外灯
- 13.  その他

◎「13. その他」を選択した方は、整備・充実してほしい点を具体的に記入してください。

問4 2. 学内の福利厚生施設の満足度について以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 食堂
- 2. 喫茶
- 3. パン販売
- 4. 弁当販売
- 5. キッチンカー
- 6. 書店
- 7. 画材
- 8. その他売店
- 9. 自動販売機

a. 満足

- b. まあ満足
- c. 普通
- d. やや不満
- e. 不満
- f. 利用したことがない

1  2  3  4  5  6   
 7  8  9

◎現在の福利厚生施設等で不便を感じたり改善してほしい点があれば、下記の分類表から該当する番号を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

**【分類表】**

- 1. 食堂 2. 喫茶 3. パン販売 4. 弁当販売 5. キッチンカー 6. 書店 7. 画材
- 8. その他売店 9. 自動販売機

**【記述例】**  
 5. もっと多くの場所で販売してほしい  
 1. . . . . .

**【記述欄】**

問4 3. 筑波大学の大学院の教育・研究環境や学生生活全般に対する要望や提言等について、以下の分類表の該当する項目を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

**【分類表】**

- (A) 制度等に関する要望 (1. カリキュラム 2. 学生生活支援 3. 経済支援 4. キャリア・就職支援 5. その他)
- (B) 教職員に対する要望 (1. 教員に対して 2. 事務職員に対して 3. その他)
- (C) 施設に対する要望 (1. 学修・研究環境 2. ネットワーク環境 3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba 等) 4. 図書館 5. 宿舎 6. 食堂・売店 7. 駐輪場 8. ペDESTリアンデッキ・道路等 9. その他)
- (D) その他 (1. その他)

**【記述例】**  
 C 4. 開館時間を延長してほしい  
 A 1. . . . . .

**【記述欄】**

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

Survey for Student Life in the University of Tsukuba, 2022  
For Graduate Students

\*\*\* Please Read \*\*\*

The purposes of this Student Life Fact-Finding Survey (called "the survey" below) are to further improve student life at the University of Tsukuba and to support improvements in education. The survey is for all students throughout the university. We hope to use everyone's responses as a valuable resource for making student life and education at the University of Tsukuba even better in the future.

The results of the survey will not be used for any purpose other than those mentioned above. Whether to respond to the survey is your choice. You will not be penalized in any way for your answers or for not giving answers. Because the survey is conducted on the "manaba" study management system, the university will be able to access your personal information. Student registration numbers may be used, but only when necessary for analysis involving other information held by the university in order to further improve student life or improve education at the University of Tsukuba. The results will be statistically processed and none of your personal information will be made public.

Personal information obtained in the survey will be handled strictly in accordance with the law "Act on the Protection of Personal Information held by Administrative Organs" (Act No. 57 of 2003), the University's "Personal Information Protection Rules" (Corporation Regulations No. 6 of 2005), and the University's Privacy Policy (approved by the University's President on February 4, 2021) based on the EU's General Data Protection Regulation (GDPR).

Reports summarizing the results obtained from previous surveys can be found at the following web page. We intend to publish a similar report on this survey.

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

If the above is acceptable to you, please answer the questions below.

We hope that many of you will understand the intent of the survey and take part.

October 2022

Ota Kei, Vice President for Student Affairs, University of Tsukuba  
Kato Mitsuyasu, Vice President for Education, University of Tsukuba

\*\*\*\*\*

1. Notes for filling out the survey:

- ① The survey has 44 questions in total. (Expected time: about 30 minutes)
- ② Some questions ask for selection of numbers, letters, or such and some ask for more detailed answers.  
When a selection is required, please select the applicable number, letter or such.  
When a written answer is required, please type in the designated box.
- ③ Except when specified otherwise in the questions, answers should describe your situation as of



October 1, 2022.

- ④ If you like to save your entry in the middle of a questionnaire, click the ※1“中断する” box on the page of questionnaire.
- ⑤ If you like to move your page back and forth, click the ※2“前へ” or ※3“次へ” box on the page of questionnaire. Do not use the back function on an Internet browser.  
※1 “中断する” : quit ※2 “前へ” : forward ※3 “次へ” : backward

2. Submission period:

October 3 (Monday) to October 31 (Monday), 2022

3. Please send any questions or feedback to the survey administrators (General Affairs Section, Division of Student Welfare, Department of Student Affairs).

Tel. 029-853-2298 or 029-853-2224

Email: [gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp)

## **I. About Yourself**

Q1. Have you experienced adult life outside academia?

- Yes       No

**If you selected "Yes" to Q1, answer Q1-1.**

Q1-1. What is your current employment status? Select only one answer.

- 1.  Employed
- 2.  On a leave of absence
- 3.  Left job/do not have a job
- 4.  Never been in employment
- 5.  Others

**If you selected 1 (employed) or 2 (on a leave of absence) in Q1-1, answer Q1-1-1.**

Q1-1-1. Has your employer been supportive of you coming to University of Tsukuba graduate school?

Select all answers that apply.

- 1.  Completely supportive, including paying college fees
- 2.  Supportive; they did not obstruct me
- 3.  I am using my employer's leave of absence system
- 4.  I am using my employer's secondment system
- 5.  I am using other systems from my employer
- 6.  I have not told anything to my employer
- 7.  Others

Q2. What are your main reasons for choosing the University of Tsukuba graduate school? Select all applicable answers.

1.  Reputation in the field of research
2.  Good teaching content
3.  Availability of the field I want to study
4.  Quality and ability of faculty advisors/good advisory system
5.  Attractive laboratory environment
6.  Good teaching and research facilities
7.  Wide choice of majors
8.  It is a national university
9.  Good systems of financial aid for tuition fees and living costs
10.  International focus with many overseas students and a comprehensive study abroad system
11.  Attractive green and spacious campus
12.  Well-equipped student residence halls
13.  Good prospects for career and employment after course completion
14.  Flexible management of course length
15.  Recommended by a parent, faculty advisor, or such
16.  Convenient for commuting from home
17.  Easy to obtain credentials and certifications
18.  Other

◎ If you selected "18. Other", enter a specific reason(s).

---

Q3. Were you registered at a university or graduate school before you joined the University of Tsukuba graduate school? Select only one answer.

1.  A University of Tsukuba school or graduate school
2.  Another university or graduate school in Japan
3.  A university or graduate school outside Japan
4.  Other

## **II. General Lifestyle**

Q4. Who is currently helping you with living expenses? Select all applicable answers.

1.  Father
2.  Mother
3.  Myself
4.  Brother/sister
5.  Grandparent
6.  Spouse
7.  Other

Q5. Roughly how much was the pre-tax income of the person/people helping you with living expenses

last year (January to December 2021)? Select only one answer. If more than one person is helping you, please calculate the sum of their incomes.

1.  Less than 3 million yen
2.  3 to 4 million yen
3.  4 to 5 million yen
4.  5 to 6 million yen
5.  6 to 7 million yen
6.  7 to 8 million yen
7.  8 to 9 million yen
8.  9 to 10 million yen
9.  10 to 11 million yen
10.  11 to 12 million yen
11.  12 to 13 million yen
12.  Over 13 million yen
13.  I don't know

Q6. What kind of financial support would you request to the University? Select all answers that apply.

1.  Grant type (no repayment required) scholarships
2.  Student loans (repayment required)
3.  Tuition fee exemptions
4.  Short-term loans
5.  Others
6.  None in particular

◎ If you selected 5 (Others) in Q6, specify examples of the financial support you would like to receive.

---

**If you selected 4 (short-term loans) in Q6, answer Q6-1.**

Q6-1. What should the short-term loans be for? Select all answers that apply.

1.  Tuition fees
2.  Living costs
3.  Others

Q7. What is your average monthly income since April 2017? Select only one answer.

1.  Less than 60,000 yen
2.  60,000–89,999 yen
3.  90,000–119,999 yen
4.  120,000–149,999 yen
5.  150,000–179,999 yen
6.  180,000–249,999 yen
7.  250,000–299,999 yen

8.  300,000 yen or more

**Q8. What is your main source of income in a typical month? Select all answers that apply.**

1.  Salary from employment
2.  Scholarship
3.  Remittances
4.  Work as a teaching assistant (TA) or teaching fellow (TF) at University of Tsukuba
5.  Work as a research assistant (RA) at University of Tsukuba
6.  Part-time work at the University under the direction of faculty
7.  Other part-time work at the University (not covered by answers 4 to 6)
8.  Part-time teaching at another university
9.  Contract work or agency work for a private company
10.  Regular part-time work outside the University
11.  Irregular part-time work outside the University
12.  Savings
13.  Loans
14.  Research grant
15.  Others

◎ If you selected 15 (Others) in Q8, specify your main source of income.

---

**Q9. Is your income enough for your living costs and research expenses in a typical month? Select only one answer.**

1.  More than enough
2.  Enough
3.  Just enough
4.  Not enough

**If you selected 4 (not enough) in Q9, answer Q9-1.**

**Q9-1. Which of your living costs, research expenses, etc. can you not afford? Select all answers that apply.**

1.  I cannot afford tuition fees
2.  Because I need time for research, I cannot do part-time work
3.  I cannot afford research materials or books
4.  I cannot afford computer equipment
5.  I cannot participate in an academic society or research society
6.  I cannot conduct surveys for research
7.  I cannot afford fees for submission, reviewing and publication of academic papers
8.  Others

⊙ If you selected 8 (Others) in Q9-1, give specific examples of what you are lacking.

---

**If you have done part-time work outside the University since April 2022, answer Q10.**

Q10. What kind of work did you do? Select all answers that apply.

1.  Private tutoring
2.  Cram school teaching or remote learning support
3.  Administrative work
4.  Specialist work (translation, interpreting, sports coaching, etc.)
5.  Restaurant work
6.  Light work other than restaurant work (surveys, delivery, sales, etc.)
7.  Heavy work (house-moving, construction, etc.)
8.  Others

⊙ If you selected 8 (Others) in Q10, enter the kind of work.

---

**If you have done part-time work outside the University since April 2022, answer Q11.**

Q11. What was/were your main reason(s) for doing part-time work? Select all applicable answers.

1.  To pay tuition
2.  To pay living costs
3.  To pay for student club activities
4.  To pay for leisure activities or travel
5.  To learn skills
6.  To find friends
7.  Other

⊙ If you selected "7. Other", enter the reason(s).

---

**If you have done part-time work outside the University since April 2022, answer Q12.**

Q12. Has the time you spent working part-time interfered with your studies? Select only one answer.

1.  Very much
2.  A bit
3.  Very little
4.  Not at all

Q13. Where are you currently living? Select only one answer.

1.  Student residence hall
2.  Private apartment or similar
3.  With parents

- 4.  A relative or acquaintance's home
- 5.  Others

**If you selected any of 2 to 5 in Q13, answer Q13-1.**

Q13-1. Would you like to live in a student residence hall?

- Yes
- No

**If you selected any of 2 to 5 in Q13, answer Q13-2.**

Q13-2. Which area do you currently live in? Select one answer.

- (A) Tsukuba City other than the student residence halls  
(1. Amakubo 2. Kasuga 3. Sakura 4. Shibasaki 5. Azuma 6. Other)
- (B) Ibaraki Prefecture other than Tsukuba  
(1. South Ibaraki District 2. West Ibaraki District 3. Other)
- (C) Kanto other than Ibaraki  
(1. Tokyo Metropolis 2. Chiba Prefecture 3. Saitama Prefecture 4. Other)
- (D) Other  
(1. Other)

**If you selected "1. Student residence hall" in Q13, answer Q13-3.**

Q13-3. Where is your student residence hall and what type of room do you have? Select one of each.

① **Area of student residence hall**

- 1.  Ichinoya
- 2.  Hirasuna
- 3.  Oikoshi
- 4.  Kasuga

② **Type of room**

- 1.  Single room
- 2.  Family room
- 3.  Double room (for unmarried students)
- 4.  Shared house (Global Village)

**If you selected "1. Student residence hall" in Q13, answer Q13-4.**

Q13-4. How satisfied are you with the student residence hall? Select one letter for each category.

- 1. Cost
- 2. Personal room
- 3. Communal kitchen
- 4. Facilities (air conditioning, toilets, laundry room, coin showers, etc.)
- 5. Security
- 6. Internet access
- 7. Shops

8. Admin office

9. Overall

a. Very satisfied

b. Moderately satisfied

c. Neutral

d. Moderately dissatisfied

e. Very dissatisfied

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_

☉ If you are satisfied or dissatisfied with anything about the student residence halls apart from categories 1 to 9 above, enter details here.

\_\_\_\_\_

**Q14. We are considering reconstructions of the student residence halls. What things would you like to see improved? Choose the three most important.**

1. Most important

2. Second most important

3. Third most important

a. Keeping rents low

b. Room sizes

c. More single rooms (with kitchen/toilet/shower)

d. More shared house rooms

e. Air conditioning

f. Wi-Fi quality

g. Security

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

☉ If there is anything you think important for the new student residence halls apart from categories a to g above, enter details here.

\_\_\_\_\_

**Q15. How did you spend a typical day and week from April to June 2022?**

**A. On average, how many hours did you spend on the following on a weekday (Monday to Friday)?**

① University classes (including watching lectures on screen):

In person \_\_\_\_\_ hours; screen time \_\_\_\_\_ hours

- ② Preparing for and reviewing classes and performing assignments \_\_\_\_\_ hours
- ③ Research \_\_\_\_\_ hours
- ④ Self-directed study outside classes and research \_\_\_\_\_ hours
- ⑤ Sleep \_\_\_\_\_ hours

**B. How much time in total did you spend on the following in a week?**

- ① University classes (including watching lectures on screen):  
     In person \_\_\_\_\_ hours;      screen time \_\_\_\_\_ hours
- ② Preparing for and reviewing classes and performing assignments \_\_\_\_\_ hours
- ③ Research \_\_\_\_\_ hours
- ④ Self-directed study outside classes and research \_\_\_\_\_ hours
- ⑤ Student club activities, volunteer activities, etc. \_\_\_\_\_ hours
- ⑥ Part-time work \_\_\_\_\_ hours

**C. How did you spend your days off? Select the most applicable answer (or multiple answers).**

- 1.  Staying in my room
- 2.  Going out for hobbies/entertainment/shopping
- 3.  Part-time work
- 4.  Extracurricular/student club activities
- 5.  University classes
- 6.  University research
- 7.  Other

Ⓒ If you selected "7. Other", enter details of how you spent your days off.

\_\_\_\_\_

**Q16. Are you satisfied with your daily life in general? Select only one answer.**

- 1.  Very satisfied
- 2.  Fairly satisfied
- 3.  Neutral
- 4.  Fairly dissatisfied
- 5.  Very dissatisfied

**Q17. How have the various restrictions associated with the COVID-19 pandemic affected your life?**

Select one letter for each category.

- 1. Career plan/employment/future study
- 2. Relationships with families and friends
- 3. Mental or physical health
- 4. Income from part-time work or family income
- 5. Extracurricular activities
- 6. How I spend free time



- a. Very positive effect
- b. Some positive effect
- c. Neutral
- d. Some negative effect
- e. Very negative effect

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

### **III. Daily Commuting**

Q18. How do you commute between home and the University? Select all answers that apply for both wet days and dry days.

① **Wet days**

- 1.  Walking
- 2.  Bicycle
- 3.  Motorbike (including scooters)
- 4.  Private car
- 5.  Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
- 6.  Other local bus (including express bus)
- 7.  Tsukuba Express (TX)
- 8.  JR Joban line
- 9.  Rail lines other than 7,8
- 10.  Others

② **Dry days**

- 1.  Walking
- 2.  Bicycle
- 3.  Motorbike (including scooters)
- 4.  Private car
- 5.  Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
- 6.  Other local bus (including express bus)
- 7.  Tsukuba Express (TX)
- 8.  JR Joban line
- 9.  Rail lines other than 7,8
- 10.  Others

Q19. How long does your commute take (for one way) usually except wet days? Select only one answer.

- 1.  Less than 15 minutes
- 2.  15–29 minutes
- 3.  30–44 minutes
- 4.  45–59 minutes

5.  60–89 minutes
6.  90–119 minutes
7.  More than two hours

Q20. How often do you use the campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)?

Select only one answer.

1.  Nearly every day
2.  Two or three times a week
3.  A few times a month
4.  A few times a year
5.  A few times ever
6.  Never

## **IV. Health**

Q21. How has your health been in the past one year? Select all answers that apply.

1.  Good health
2.  Stayed at home for some days due to an illness
3.  Was examined or stayed in hospital due to a physical illness
4.  Was examined or stayed in hospital due to a mental problem
5.  Used a counseling service for a psychological problem
6.  Was examined or stayed in hospital due to injury
7.  Others

Q22. What kinds of problems have you experienced in the past one year? Select all answers that apply.

1.  Lack of progress in study or research
2.  A problem with academic credits
3.  Transferring to a different graduate school, degree program, or major
4.  Taking time off or leaving university
5.  Career choices
6.  Job hunting
7.  Balancing study with a job
8.  Relationships with friends
9.  Relationships with faculty
10.  Problems in the laboratory
11.  Problems in an extracurricular activity or student club
12.  Romantic relationships
13.  Family relationships
14.  My own character
15.  My mental or psychological state
16.  My physical state, such as an illness or injury

- 17.  Money problems
- 18.  Harassment
- 19.  Other
- 20.  Nothing particular

☉ If you selected "19. Other", enter specific details.

---

**Q23. How well do these statements match how you have felt over the past one year? Select only one answer for each statement.**

- 1. I can do what I want to do
- 2. I have some worries
- 3. There are people here who understand me
- 4. Nothing I do goes well
- 5. I feel depressed
- 6. I have wanted to die
- 7. My university life is fulfilling

- a. Definitely
- b. Fairly
- c. Not really
- d. Not at all

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_

## **V. Availability of Advice and Information**

**Q24-1. Who do you talk to about important matters and seek advice from? Select up to three answers, starting with the person who is easiest to approach.**

- 1. Easiest to approach
  - 2. Second easiest
  - 3. Third easiest
- a. Family member
  - b. Romantic partner
  - c. Friend (in the University)
  - d. Friend (outside the University)
  - e. Senior and junior colleagues (in the University)
  - f. Senior and junior colleagues (outside the University)
  - g. Faculty member
  - h. Others

i. Nobody in particular

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**If you selected a to h in Q24-1, answer Q24-2.**

**Q24-2. How often can you talk to the people you identified in Q17-1 (including telephone and email) ?**

**Select only one answer for each person.**

1. The easiest to approach
2. The second easiest
3. The third easiest

- a. Often
- b. Sometimes
- c. Occasionally
- d. Almost never

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**Q25. When you want to find general information about study or university life, to who/where do you usually go? Select all applicable answers.**

1.  Faculty
2.  Admin staff
3.  Friends, etc.
4.  The TWINS message board
5.  The manaba message board
6.  Microsoft Teams
7.  The university website
8.  Website for your research program, degree program, major, etc.
9.  Email group or group chat for your degree program, major, etc.
10.  Social media (Twitter, Instagram, etc.)
11.  Other

**Q26. University of Tsukuba has organizations and systems where you can go for consultation regarding the problems that arise in student life. Have you used them? Select only one answer for each category.**

1. Student Plaza General Consultation Service
2. Kasuga Area General Consultation Service
3. Student Counseling Room
4. Desk for career counseling
5. Work-life balance counseling room "Au"
6. University Health center 1F, Mental Health care (Psychiatry)

7. University Health center 2F, Health consultation (Internal medicine)
8. Desk for LGBT and other sexual minorities (Diversity section in DAC Center)
9. Support service for students with disabilities (Accessibility section in DAC Center)
10. International students consulting room
11. Harassment counseling center

- a. I have used this
- b. I have not used this but I know how to access it
- c. I have not used this but I am aware of it
- d. I have not used this and I was not aware of it

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_  
 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_ 11 \_\_\_\_\_

## **VI. Extra-Curricular Activities**

**Q27. How have you been active in a student group since entering graduate school? Select only one answer.**

1.  I am active as a group official member
2.  I am active as a coach or similar
3.  I am active in a way other than 1 or 2
4.  I used to be active in a student group
5.  I have never been active in a student group

**If you selected any of 1 to 4 in Q29, answer Q29-1.**

**Q27-1. What motivates you to be active in a student group? Select all answers that apply.**

1.  To make friends
2.  To gain knowledge and education
3.  To keep health
4.  To improve skills
5.  To gain experience in group activities
6.  To fill my interests
7.  To make use of leisure time
8.  To fill part of my recreation
9.  To contribute for my chosen career
10.  To contribute getting a job
11.  To continue what I did as an undergraduate
12.  To respond to the invitation
13.  To contribute to society
14.  Others

Q28. Have you been solicited to attend a religious group, a self-improvement seminar or similar? Select only one answer for each category.

1. Since joining the University, I have been solicited on campus
2. Since joining the University, I have been solicited off campus
3. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited on campus
4. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited off campus

- a. Yes
- b. No

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

Q29. Have you participated in volunteer activities since joining the Graduate school? Select all answers that apply.

1.  I have participated through a class or a seminar
2.  I have participated through Tsukuba Action Project (T-ACT)
3.  I have participated through student group activities
4.  I have participated in another way
5.  I have not participated but I would like to participate while I am at the Graduate school
6.  I have no interest in volunteer activities

Q30. Since becoming a graduate student, have you participated in Tsukuba Action Project (T-ACT)? Select all applicable answers. (T-ACT is a student support organization that helps students to try new things.)

1.  I have been a planner or organizer for a T-ACT project.
2.  I have been a participant in a T-ACT project.
3.  I have attended a T-ACT event (such as an activity report meeting or a public symposium).
4.  I have done something else with T-ACT.
5.  I have not participated but I would like to participate while I am at the university.
6.  I have no intention of participating in T-ACT activities.

Q31. Have you used the university's off-campus training facilities (Lake Lodge Yamanaka and Nami Kaze Tateyama)? Select one answer for each.

1. Lake Lodge Yamanaka
2. Nami Kaze Tateyama

- a. I have used it
- b. I have not used it
- c. I don't know anything about it

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_

## **VII. Career and Job Hunting**

**Q32. What will you do after completing your course including your current hope? Select only one answer.**

(A) Further education or similar

1. University of Tsukuba graduate school
2. Another graduate school in Japan
3. A graduate school in another country
4. Researcher, research student or similar (Japan Society for the Promotion of Science research student
5. Others)

(B) Employment

1. In a company
2. University teacher
3. Researcher
4. Teacher in elementary, junior or high school
5. As a public servant
6. Self-employment/entrepreneur
7. Others)

(C) Reinstatement in former position

1. In a company
2. University teacher
3. Researcher
4. Teacher in elementary, junior or high school
5. As a public servant
6. Self-employment
7. Others)

(D) Others

1. Undecided
  4. Haven't really considered
  3. Others)
- 

**Q33. After graduation, do you want to work in another country? (International students: Do you want to work in Japan?) Select only one answer.**

1.  Definitely
2.  I think so
3.  I'm not sure
4.  I think not
5.  Definitely not

**Answer Q34 if you are job-hunting now or have done job-hunting activities.**

**Q34. What are or will be the main factors in choosing your career? Select all answers that apply.**

1.  It will be worthwhile
2.  To contribute to society
3.  Annual income
4.  Stability in life
5.  Good work-life balance
6.  It will suit my skills and talents
7.  Deepening expertise in field
8.  To use what I have learned in graduate school
9.  To make use of my research in graduate school
10.  Social status

- 11.  Long-term prospects
- 12.  Convenient work locations
- 13.  Others

**Q35. How do you feel about your future career (Career development)? Select only one answer for each statement.**

- 1. I think a lot about my future career (Career development)
- 2. I have not thought seriously about working
- 3. My future career plans are not influenced by my surroundings
- 4. Achieving a fulfilling professional life is very much my responsibility
- 5. I have made specific plans for progress in my chosen career
- 6. I have decided what career I want but I have not done anything specific for it

- a. Definitely
- b. I think so
- c. I'm not sure
- d. I think not
- e. Definitely not

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

**Answer Q33 if you are job hunting now or have done job hunting activities.**

**Q36. What are the most useful sources of information for job hunting? Select all applicable answers.**

- 1.  Faculty advisor
- 2.  Career development committee for your degree program or such
- 3.  Other students in seminars
- 4.  Career Development Office/Division of Career Services
- 5.  Website of Career Development Office/Division of Career Services
- 6.  Job hunting guidance in the university
- 7.  Job listings magazine
- 8.  Job listings website
- 9.  Job hunting events outside the university
- 10.  Websites of businesses, government bodies, etc.
- 11.  Internships
- 12.  Alumni visits
- 13.  Social media
- 14.  Other

© If you selected "14. Other", enter details of the most useful source(s) of information.

**Answer Q37 if you are job hunting now or have done job-hunting activities.**



Q37. Have you discussed your career after completing your course with your faculty advisor? Select only one answer.

1.  We often talk about it
2.  We sometimes talk about it
3.  We rarely talk about it
4.  We have never talked about it
5.  I tried to talk about it but my faculty advisor refused
6.  Others

**Answer Q38 if you are job hunting now or have done job hunting activities.**

Q38. Have your job hunting activities interfered with your university studies? Select only one answer.

1.  Not at all
2.  Very little
3.  To some extent
4.  Very much

## **IX. Your Hopes and Expectations of the University of Tsukuba**

Q39. What is your main desire for the University's faculty? Select only one answer.

1.  To be excellent researchers
2.  Well-prepared lecture content
3.  Teaching that is easy to understand
4.  To make time for supervision
5.  Sensitivity to harassment issues
6.  To incorporate their research findings into teaching
7.  Others
8.  Nothing particular

© If you selected 7 (Others) in Q39, specify what you desire.

---

Q40. What factors you like to see improved in our education or educational systems? Select all answers that apply.

1.  Teaching and research staff
2.  Curriculum
3.  Extra-curricular teaching programs such as special lectures
4.  The study abroad system
5.  Job-hunting support
6.  Venues for informal interaction with faculty
7.  Financial support such as scholarships and tuition fee exemptions
8.  Support for volunteer activities

9.  Improvements in support services and administration
10.  Support for mental health
11.  Anti-harassment measures (organizations and processes)
12.  Others

⊙ If you selected 12 (Others) in Q40, specify what you hope to be improved.

---

**Q41. Which campus facilities particularly need to be expanded or improved? Select all applicable answers.**

1.  Teaching rooms and laboratories
2.  Library
3.  Satellite computer rooms
4.  Network environment (campus wireless LAN system, etc.)
5.  Sports and fitness facilities
6.  Facilities for extracurricular activities
7.  Security
8.  Parking
9.  Bicycle parking
10.  On-Campus Transport System (University Loop-line On-campus Bus)
11.  Pedestrian decks
12.  Outside lighting
13.  Other

⊙ If you selected "13. Other", enter specific details of what you want to see expanded or improved.

---

**Q42. How satisfied are you with welfare facilities on campus? Select one letter for each category.**

1. Cafeterias
  2. Coffee shops
  3. Bakeries
  4. Lunchbox sales
  5. Food trucks
  6. Bookshops
  7. Art and craft supplies
  8. Other shops
  9. Vending machines
- 
- a. Very satisfied
  - b. Moderately satisfied
  - c. Neutral

- d. Moderately dissatisfied
- e. Very dissatisfied
- f. I have never used this

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_  
 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_

◎ If you think any of the current welfare facilities are inconvenient or need improvement, enter a number from the following list of categories and a specific comment. You can make more than one comment.

**[List of categories]**

- 1. Cafeterias, 2. Coffee shops, 3. Bakeries, 4. Lunchbox sales, 5. Food trucks, 6. Bookshops,
- 7. Art and craft supplies, 8. Other shops, 9. Vending machines

**[Comment example]**

**5. They should be in more places.**

**1. ...**

Q43. If you have any requests or suggestions about teaching or student life in general at the University of Tsukuba, enter a letter and number from the following list of categories and a specific comment. You can make more than one comment.

**[List of categories]**

- (A) Systems: 1. Curriculum, 2. Student life support, 3. Financial aid, 4. Career and job hunting support, 5. Other
- (B) Faculty: 1. Teaching faculty, 2. Administrative staff, 3. Other
- (C) Facilities: 1. Study and research environment, 2. Network environment, 3. Study systems (TWINS, KdB, manaba, etc.), 4. Library, 5. Student residence halls, 6. Cafeterias and shops, 7. Bicycle parking, 8. pedestrian decks, roads, etc., 9. Other
- (D) Other: 1. Anything else

**[Comment example]**

**C4. Opening times should be longer.**

**A1. ...**

This is the end of the survey. Thank you very much for your assistance.

## 筑波大学学生生活実態調査(大学院) 回答率について

回答率については、前回は23.1%であったが、今回は21.6%である。調査方法は、前回同様 manaba を用いた Web 調査で実施したが、回答率は1.5ポイント減少した。引き続き Web 調査での回答率向上のために周知方法等をさらに改善していく必要がある。

研究群別の回答率は、生命地球科学研究群、人文社会科学研究群で高く、グローバル教育院で低かった。

令和4年度 筑波大学学生生活実態調査(大学院) 回答率

課程		研究群	人文社会科学 研究群	数理物質科学 研究群	システム情報 工学研究群	生命地球 科学研究群	人間総合 科学研究群	グローバル 教育院	合計	
在籍学生数 (令和四年九月一日現在)	修士課程	修士課程1年次 博士前期1年次 一貫制博士1年次	138	281	528	313	589	12	1,861	
		修士課程2年次 博士前期2年次 一貫制博士2年次	135	296	559	366	617	17	1,990	
		小計	273	577	1,087	679	1,206	29	3,851	
	博士課程	博士後期1年次 一貫制博士3年次 3年制博士課程1年次	49	74	107	124	227	11	592	
		博士後期2年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程2年次	28	63	99	99	224	21	534	
		博士後期3年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程3年次	26	50	81	59	223	21	460	
		小計	103	187	287	282	674	53	1,586	
	合計			376	764	1,374	961	1,880	82	5,437
	回収票数	修士課程	修士課程1年次 博士前期1年次 一貫制博士1年次	54	69	148	153	204	3	631
			修士課程2年次 博士前期2年次 一貫制博士2年次	36	61	99	104	126	3	429
小計			90	130	247	257	330	6	1,060	
博士課程		博士後期1年次 一貫制博士3年次 3年制博士課程1年次	5	11	18	22	42	1	99	
		博士後期2年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程2年次	2	0	0	0	7	0	9	
		博士後期3年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程3年次	5	0	0	1	0	2	8	
		小計	12	11	18	23	49	3	116	
合計			102	141	265	280	379	9	1,176	
回収率		修士課程	修士課程1年次 博士前期1年次 一貫制博士1年次	39.1%	24.6%	28.0%	48.9%	34.6%	25.0%	33.9%
			修士課程2年次 博士前期2年次 一貫制博士2年次	26.7%	20.6%	17.7%	28.4%	20.4%	17.6%	21.6%
	小計		33.0%	22.5%	22.7%	37.8%	27.4%	20.7%	27.5%	
	博士課程	博士後期1年次 一貫制博士3年次 3年制博士課程1年次	10.2%	14.9%	16.8%	17.7%	18.5%	9.1%	16.7%	
		博士後期2年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程2年次	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	1.7%	
		博士後期3年次 一貫制博士4年次 3年制博士課程3年次	19.2%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	9.5%	1.7%	
		小計	11.7%	5.9%	6.3%	8.2%	7.3%	5.7%	7.3%	
	合計			27.1%	18.5%	19.3%	29.1%	20.2%	11.0%	21.6%

# 第1章 あなた自身について

## 問1. 社会人の経験について

- ◎ 全体の3割が社会人の経験あり。
- ◎ 社会人経験者の約44%が在職または休職中であり、約44%は退職している。
- ◎ 在職・休職者の大半が、大学院入学に関して、職場から一定の理解を得られている。

「社会人の経験はありますか」の問いに対する回答は、「ある」が30.1%、「ない」が「69.9%」となり、大学院生全体の3割が社会人を経験していることが分かった。前回調査（平成29年度）および前々回調査（平成24年度）では、社会人経験が「ある」とした回答はそれぞれ23.1%と19.7%であったことから、この10年間で10ポイントほど増加したことになる。

研究群別でみると、社会人経験が「ある」と回答した割合は、人間総合科学研究群（43.8%）と人文社会科学研究群（39.4%）が全体平均を上回っており、逆に数理工学物質科学研究群（13.6%）とシステム情報工学研究群（18.7%）は社会人経験者が少なかった。

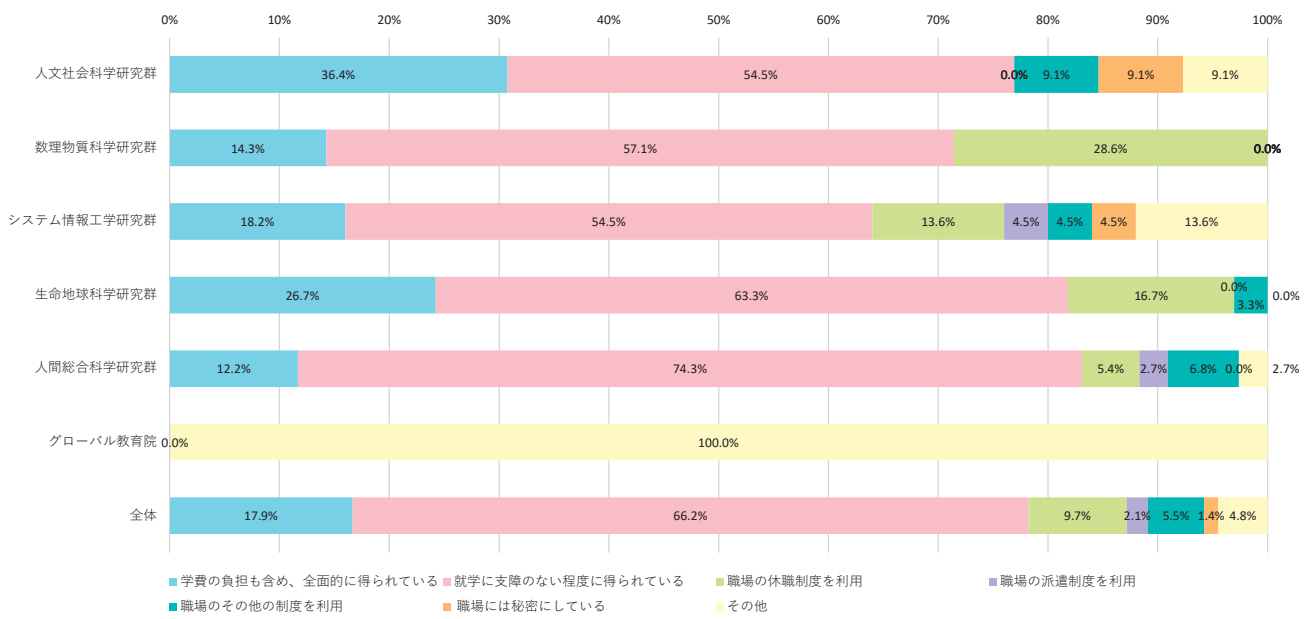
学年別でみると、博士前期（修士）課程は社会人経験者が25%程度なのに対し、博士後期課程の1、2年次では70%近くになった。一方3年次になると、社会人経験者は14.3%まで急落しているが、これは社会人大学院生が早期修了プログラムを適用して2年未満で修了しているケースが影響していると考えられる。

また社会人経験をもつ大学院生に対して、現在の在職状況について尋ねたところ、「在職中」が35.7%、「休職中」が7.8%であり、「退・辞職し、現在、定職はない」は44.4%だった。このように社会人経験のある大学院生は、職場に籍を残したままのケースと、職を辞めたケースに二分されている。なお「在職中」または「休職中」と回答した学生に対して、本学入学に関して職場の理解が得られているか尋ねたところ、「就学に支障のない程度に得られている」66.2%、「学費の負担も含め、全面的に得られている」17.9%、「職場の休職制度を利用」9.7%だった。研究群別では、人文社会科学研究群で学費の負担を受けている割合が36.4%と高かった。

表 1.1 社会人経験の有無【研究群等別、学年別、男女別、全体】

	社会人経験はない		社会人経験がある													
	回答数	回答率	在職中		休職中		退・辞職し、 現在、定職はない		定職はなかった		その他		無回答			
			回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
人文社会科学研究群	57	60.6%	37	39.4%	9	24.3%	2	5.4%	22	59.5%	3	8.1%	1	2.7%	0	0.0%
数理工学物質科学研究群	114	86.4%	18	13.6%	5	27.8%	2	11.1%	9	50.0%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
システム情報工学研究群	204	81.3%	47	18.7%	16	34.0%	6	12.8%	19	40.4%	3	6.4%	3	6.4%	0	0.0%
生命地球科学研究群	190	72.2%	73	27.8%	21	28.8%	9	12.3%	29	39.7%	9	12.3%	5	6.8%	0	0.0%
人間総合科学研究群	200	56.2%	156	43.8%	67	42.9%	7	4.5%	68	43.6%	6	3.8%	8	5.1%	0	0.0%
グローバル教育院	7	77.8%	2	22.2%	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
男性	496	76.3%	154	23.7%	65	42.2%	9	5.8%	63	40.9%	12	7.8%	5	3.2%	0	0.0%
女性	276	60.7%	179	39.3%	54	30.2%	17	9.5%	85	47.5%	11	6.1%	12	6.7%	0	0.0%
全体	772	69.9%	333	30.1%	119	35.7%	26	7.8%	148	44.4%	23	6.9%	17	5.1%	0	0.0%

図 1.1 職場の理解【研究群等別、全体 (%)】



## 問2. 筑波大学大学院を志望した理由について

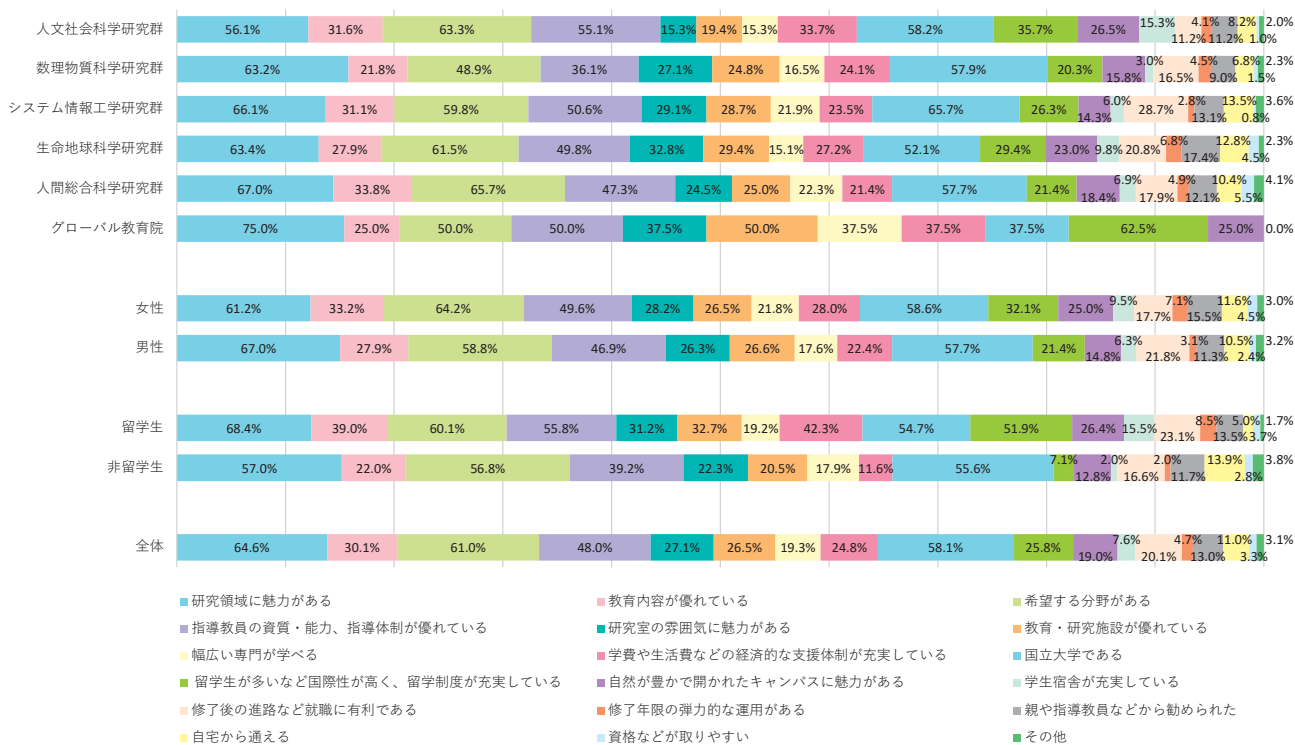
◎ 志望理由として過半数が、「研究領域に魅力がある」、「希望する分野がある」、「国立大学である」を選んだ。

◎ 大学院生は、主に研究環境に魅力を感じて本学に進学している。

筑波大学大学院を志望した理由について、18の選択肢からあてはまるものすべてを選んでもらった。志望理由の上位は「研究領域に魅力がある」64.6%、「希望する分野がある」61%、「国立大学である」58.1%、「指導教員の資質・能力、指導体制が優れている」48%であり、次いで「教育内容が優れている」30.1%、「研究室の雰囲気の魅力がある」27.1%、「教育・研究施設が優れている」26.5%、「留学生が多いなど国際性が高く、留学制度が充実している」25.8%、「学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している」24.8%と続いた。この順位は5年前の前回調査とほぼ一致しており、研究群別、学年別、男女別で比較しても大きな違いはみられなかった。

なお、今回の調査から同様の質問を学群生に対しても行っており、こちらの志望理由の上位は「国立大学である」87%、「希望する分野がある」の64.3%、「幅広い専門が学べる」の41.4%となった。以上の結果から、大学院生は主に「研究環境（テーマ・指導者・施設など）」に魅力を感じて本学に進学したのに対し、学群生は「幅広い専門分野を学べる国立大学」として、本学を選択している傾向が浮かび上がった。

図 1.2 志望理由【研究群等別、男女別、外国人学生・日本人学生別、全体 (%)】



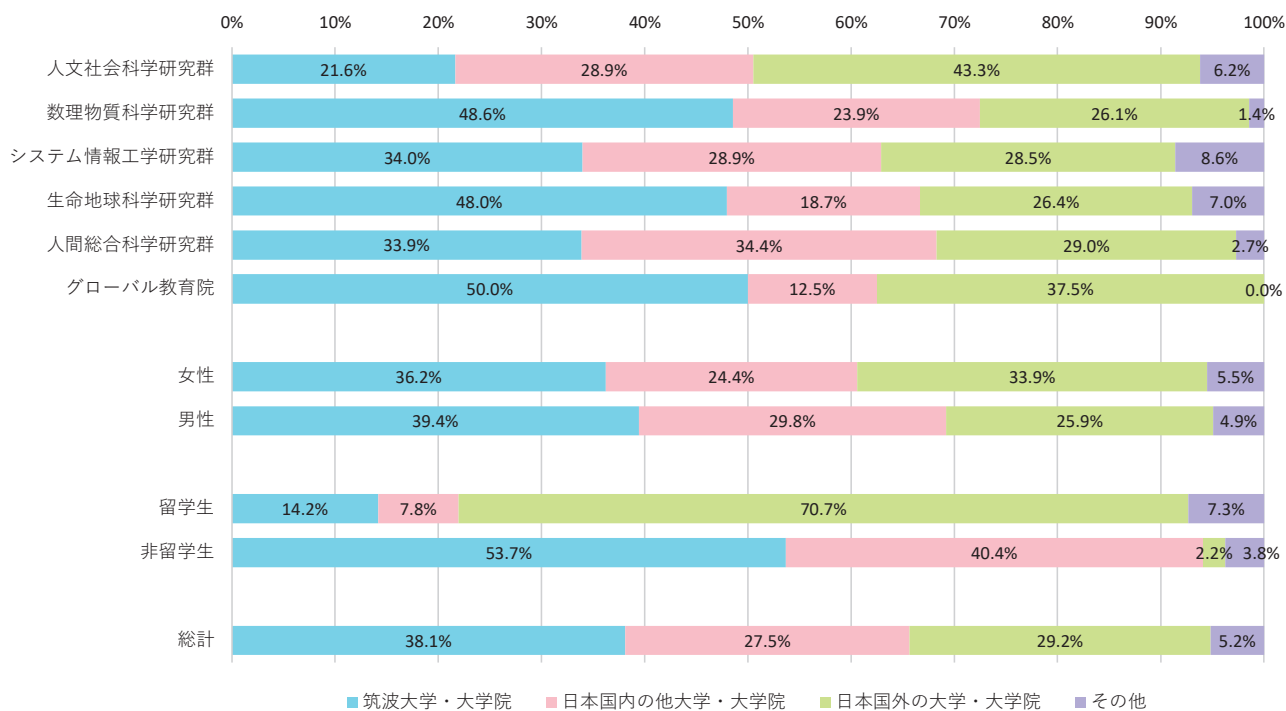
### 問3. 筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について

- ◎ 全体の約4割が「筑波大学・大学院」出身。
- ◎ 海外からの入学者の割合は、5年前の調査から9ポイント増加した。

筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について、4つの選択肢から選んでもらった。最も多かった回答は、「筑波大学・大学院」38.1%で、続いて「日本国外の大学・大学院」29.2%と「日本国内の他大学・大学院」の27.5%がほぼ同率で並んだ。前回調査（平成29年度）では、それぞれ49.2%、19.9%、30.8%であったことから、5年間で筑波大学・大学院出身者の割合が11ポイント減少し、逆に海外からの入学者の割合は9ポイント増加したことになる。

研究群別でみると、数理物質科学研究群と生命地球科学研究群及びグローバル教育院は「筑波大学・大学院」出身者が半数近くを占めたのに対し、人文社会科学研究群はその割合が21.6%と最も低く、代わりに「日本国外の大学・大学院」出身者が43.3%と高かった。

図1.3 入学前の在籍大学または大学院【研究群等別、男女別、外国人学生・日本人学生別、全体（%）】





## 第2章 生活全般について

### 問4. あなたの家族の主たる家計支持者について

- ◎ 主たる家計支持者は「父」が57.8%でもっとも多く、これに「母」の43.8%、「本人」の41.9%が続く。
- ◎ 前回の調査で「本人」を選択したのは24.3%であったから、学生本人が主たる家計支持者となる割合が15ポイント以上増加している。
- ◎ この傾向は、修士課程でも博士課程でもみられる。

主たる家計支持者について、「父」「母」「本人」「兄弟姉妹」「祖父母」「配偶者」「その他」という7つの選択肢から、当てはまるものをすべて選択してもらった。「父」が57.8%でもっとも多く、これに「母」の43.8%、「本人」の41.9%が続く。他の選択肢はいずれも10%を下回っていた。本人と両親が主たる家計支持者であることがわかる。なお、前回の調査で「本人」（前回調査のワーディングでは「あなた自身」）を選択したのは24.3%であったから、学生本人が主たる家計支持者となる割合が15ポイント以上増加していることは注目に値する。

この傾向は、修士課程でも博士課程でもみられる。具体的には、前回調査において修士課程で「本人」を選択したのは14.3%であったが、本調査では修士課程1年次で35.4%、同2年次で42.2%と、20ポイントほど増加している。また、前回調査において博士課程で「本人」を選択したのは53.0%であったが、本調査では博士課程1年次で74.7%、同2年次で77.8%、同3年次で87.5%であり、こちらも20～30ポイント増加している。

表2.1 主な家計支持者【課程別、外国人留学生・日本人学生別、全体】

	修士課程相当		博士課程相当		外国人留学生		日本人学生		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
本人	401	38.2%	88	75.9%	171	37.3%	318	44.4%	489	41.9%
配偶者	45	4.3%	21	18.1%	22	4.8%	44	6.1%	66	5.7%
父親	657	62.5%	17	14.7%	224	48.8%	450	62.8%	674	57.8%
母親	497	47.3%	14	12.1%	193	42.0%	318	44.4%	511	43.8%
両親以外の親族	32	3.0%	3	2.6%	12	2.6%	23	3.2%	35	3.0%
その他	82	7.8%	9	7.8%	88	19.2%	3	0.4%	91	7.8%

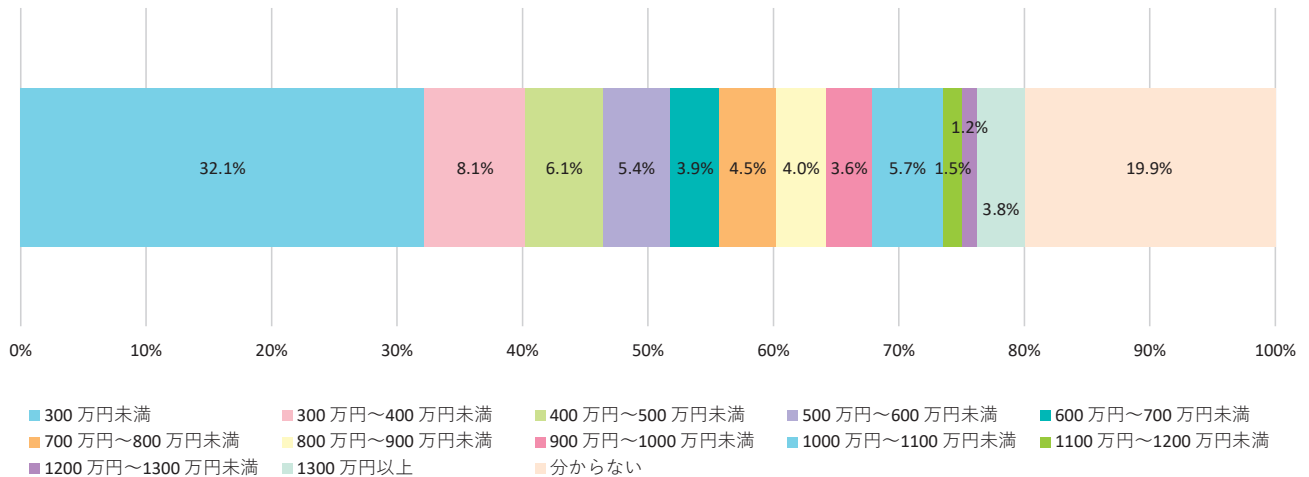
## 問5. 主たる家計支持者の昨年の年収について

- ◎ 主たる家計支持者の昨年の年収は、300万円未満が32.1%でもっとも多い。
- ◎ この傾向は、「グローバル教育院」と「人文社会科学研究群」で顕著である。
- ◎ 学年が上がるごとに、300万円未満の割合も高くなる。

主たる家計支持者の昨年の年収について、300万円未満から1300万円以上までの13択で尋ねた。全体では、300万円未満が32.1%でもっとも多く、300万円～400万円未満が8.1%、400万円～500万円未満が6.1%、1000万円～1100万円未満が5.7%と続く。「分からない」と言う学生も19.9%みられた。

主たる家計支持者の昨年の年収が300万円未満であった学生の割合を研究群ごとに見ると、「グローバル教育院」と「人文社会科学研究群」で50%を上回っていた。また、主たる家計支持者の昨年の年収が300万円未満であった学生の割合は、学年が上がることに高くなる点は特徴的である。具体的には、修士課程の1年次で28.4%、同2年次で34.2%、博士課程1年次で41.4%、同2年次で44.4%、同3年次で87.5%であった。これは、学年が上がるごとに、主たる家計支持者が学生本人になるためかもしれない。

図 2.1 生計支持者の昨年の年収【全体 (%)】



## 問6. 大学に希望する経済支援について

### 問6-1. 一時貸付金を希望する理由について

- ◎ 全体の82.2%は何らかの経済支援を希望している。
- ◎ もっとも多いのは64.0%が希望する「給付型（返還義務なし）奨学金」であり、これに「授業料免除」の61.6%が続く。
- ◎ 「一時貸付金」を希望する者のうち73.7%は、「生活費のため」にこれを希望している。

大学に希望する経済支援について、複数回答で選択をしてもらった。選択肢は、「給付型（返還義務なし）奨学金」「貸与型（返還義務あり）奨学金」「授業料免除」「一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）」「その他」「特に希望しない」の6つである。

全体の82.2%は、何らかの支援を希望している。具体的には、「給付型（返還義務なし）奨学金」が64.0%でもっとも希望する学生が多く、これに「授業料免除」の61.6%が続く。「貸与型（返還義務あり）奨学金」「一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）」「その他」を選択する者は、それぞれ10%を下回る。前回調査とほぼ同一の傾向である。

また、「一時貸付金」を選択した者に対しては、それを希望する理由を「授業料のため」「生活費のため」「その他」の3つの中から全て選択してもらっている。もっとも多いのは73.7%が選択した「生活費のため」であり、これに「授業料のため」の59.6%が続く。「その他」を選択する者は、14.0%に留まる。

表 2.2 希望する経済支援【外国人留学生・日本人学生別、全体】

	外国人留学生		日本人学生		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
給付型（返還義務なし）奨学金	313	68.2%	435	60.7%	748	64.0%
貸与型（返還義務あり）奨学金	16	3.5%	87	12.1%	103	8.8%
授業料免除	321	69.9%	399	55.6%	720	61.6%
一時貸付金	17	3.7%	40	5.6%	57	4.9%
その他	21	4.6%	18	2.5%	39	3.3%
上記何らかの経済支援を希望	414	90.2%	554	77.3%	961	82.2%
特に希望しない	45	9.8%	163	22.7%	208	17.8%

## 問7. 1か月の平均的な収入について

- ◎ 1か月の平均的な収入は「6万円未満」が38.1%でもっとも多い。
- ◎ 前回調査とほぼ同一の傾向である。
- ◎ 修士課程では博士課程と比較して「6万円未満」の割合が高い。

1ヶ月の平均的な収入について尋ねた。全体では、「6万円未満」が38.1%でもっとも多く、「6～9万円」の18.0%、「9～12万円」の11.9%と続く。30万円以上という学生も、6.2%みられた。前回調査で「6万円未満」の割合は35.4%、「6～9万円」が19.8%、「9～12万円」が15.0%、「30万円以上」が5.3%であったから、おおむね傾向は変わっていないことがわかる。

課程ごとにみると、修士課程では博士課程と比較して「6万円未満」の割合が高いのが特徴である。具体的には、修士課程1年次では42.5%、同2年次では37.0%であるが、博士課程1年次では17.9%、同2年次では11.1%、同3年次では14.3%であった。

図 2.2 1ヶ月の収入【全体 (%)】

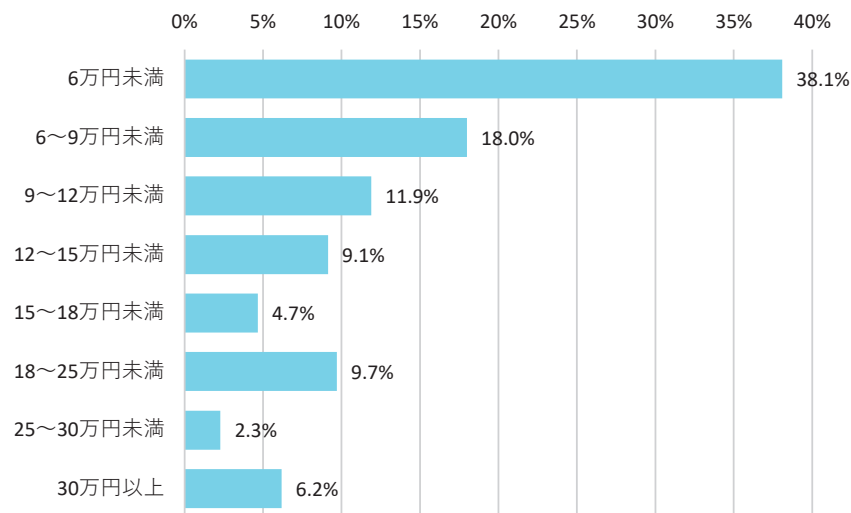
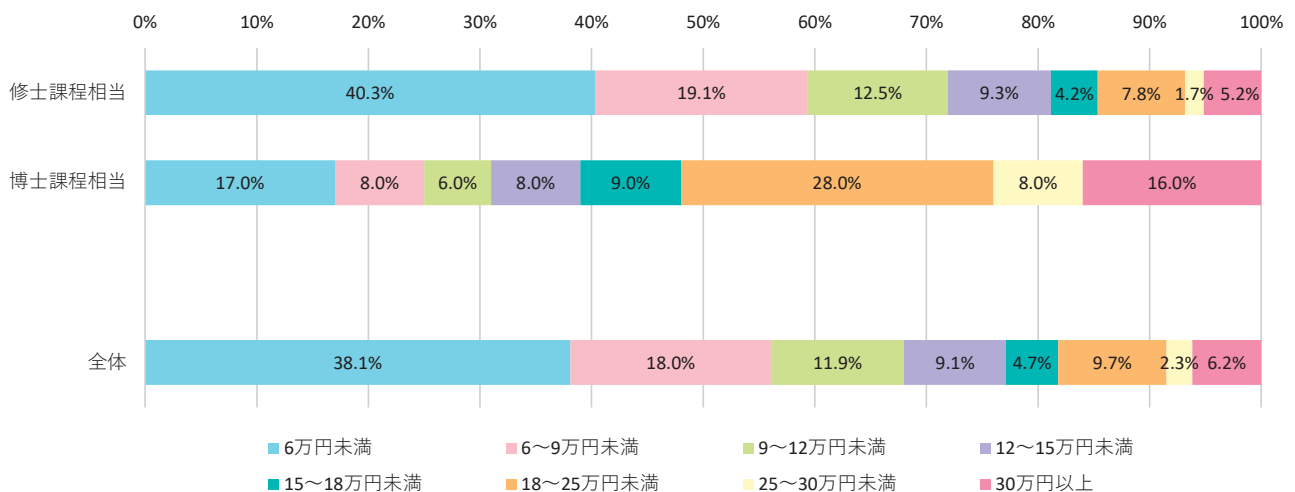


図 2.3 1ヶ月の収入【課程別、全体 (%)】



## 問8. 収入源について

- ◎ 収入源としては、「仕送り」が35.3%でもっとも多い。
- ◎ 「奨学金」「筑波大学でのTA・TF（ティーチング・アシスタント、ティーチングフェロー）」「筑波大学以外での定常的なアルバイト」を選択する者の割合も20%を上回る。
- ◎ 博士後期課程では、専門知識を活かしたアルバイトを行う者の割合が全体の平均を上回っている。

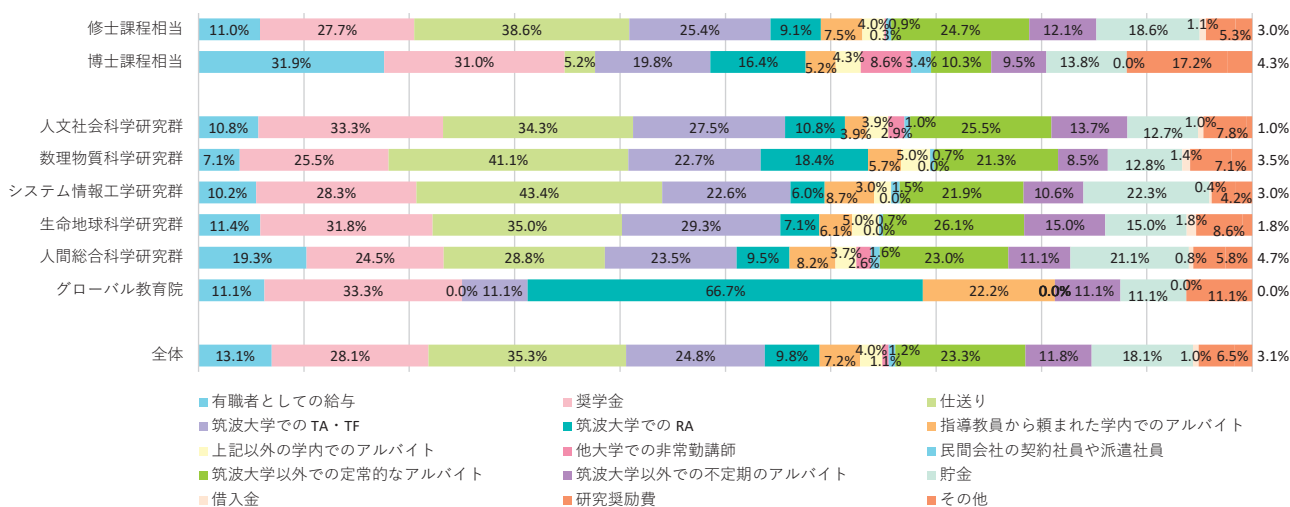
収入源について、「有職者としての給与」「奨学金」「仕送り」「筑波大学でのTA・TF（ティーチング・アシスタント、ティーチングフェロー）」「筑波大学でのRA（リサーチ・アシスタント）」「指導教員から頼まれた学内でのアルバイト」「『4』～『6』以外の学内でのアルバイト」「他大学での非常勤講師」「民間会社の契約社員や派遣社員」「筑波大学以外での定期的なアルバイト」「筑波大学以外での不定期のアルバイト」「貯金」「借入金」「研究奨励費」「その他」から当てはまるものを全て選択してもらった。

全体では「仕送り」が35.3%でもっとも多く、これに「奨学金」の28.1%、「筑波大学でのTA・TF（ティーチング・アシスタント、ティーチングフェロー）」の24.8%、「筑波大学以外での定常的なアルバイト」の23.3%、「貯金」の18.1%、「有職者としての給与」の13.1%、「筑波大学以外での不定期のアルバイト」の11.8%が続く。仕送り、奨学金、アルバイトの3つがとりわけ重要な収入源であることがわかる。前回調査では「仕送り」が42.1%、「奨学金」が35.4%であったから、いずれもやや減少していることがわかる。

研究群等別にみると、グローバル教育院では「仕送り」がなく、「筑波大学でのRA（リサーチ・アシスタント）」が66.7%、「指導教員から頼まれた学内でのアルバイト」が22.2%と相対的に高い。ただし、前回調査で見られた、「奨学金」が突出して高いという傾向はみられなくなっている。また、システム情報工学研究群と数理物質科学研究群では、「仕送り」を選択する者の割合が全体の平均と比較してやや多い。

学年ごとにみると、博士課程3年次で「筑波大学でのTA・TF（ティーチング・アシスタント、ティーチングフェロー）」「筑波大学でのRA（リサーチ・アシスタント）」「指導教員から頼まれた学内でのアルバイト」「他大学での非常勤講師」を選択する者の割合が、全体と比較して10ポイント以上高い。一方、「筑波大学以外での定常的なアルバイト」を選択する者の割合は全体と比較して10ポイント以上低く、専門知識を活かして収入を得るとともに、修了後のキャリア形成につなげている様子が見える。

図 2.4 収入源【課程別、研究群等別、全体（%）】



## 問9. 1か月の生活費や研究活動費の充足度について

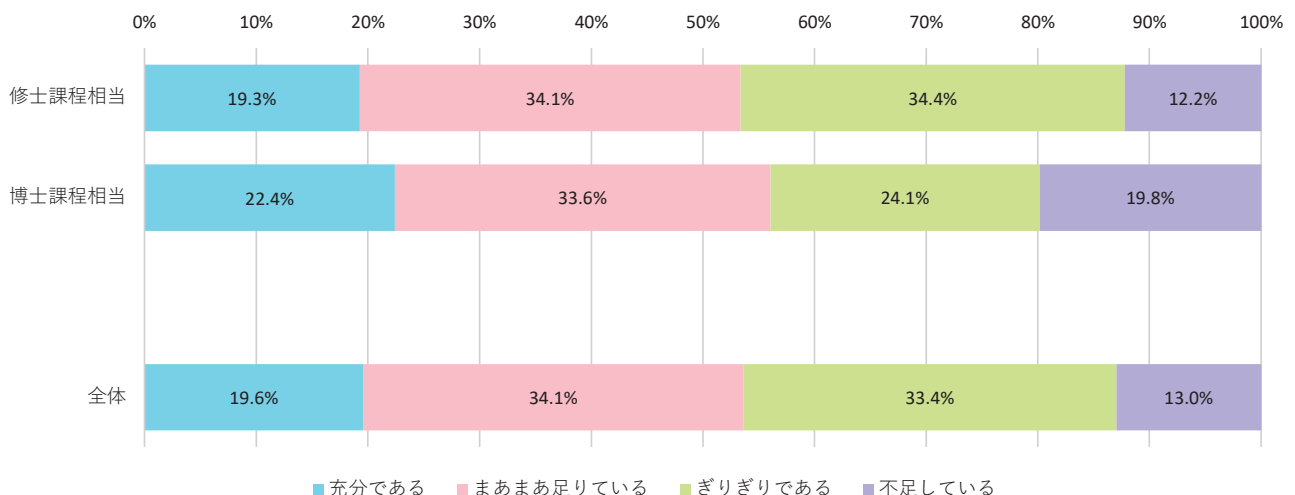
- ◎ 生活費や研究活動費の充足度については、全体で46.4%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答している。
- ◎ 前回調査とおおむね横ばいかやや改善傾向である。
- ◎ 研究群ごとにみると、人間総合科学研究群では52.0%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答している。

平均的な1か月の生活費や研究活動費の充足度について、「充分である」「まあまあ足りている」「ぎりぎりである」「不足している」の4つの中から、当てはまるものを1つだけ選択してもらった。

調査の結果、全体では46.4%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答していることが示された。前回調査では52.4%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答していたから、おおむね横ばいかやや改善傾向であることがわかる。

研究群ごとにみると、人間総合科学研究群では52.0%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答しており、不足感が全体の平均よりもやや強い。また、前回調査では修士課程の学生よりも、博士課程の学生で不足感が顕著であったが、本調査からはそのような傾向はみられない。

図 2.5 生活費や研究活動費の充足度【課程別、全体 (%)】



## 問9-1. 生活費や研究活動費などで不足しているものについて

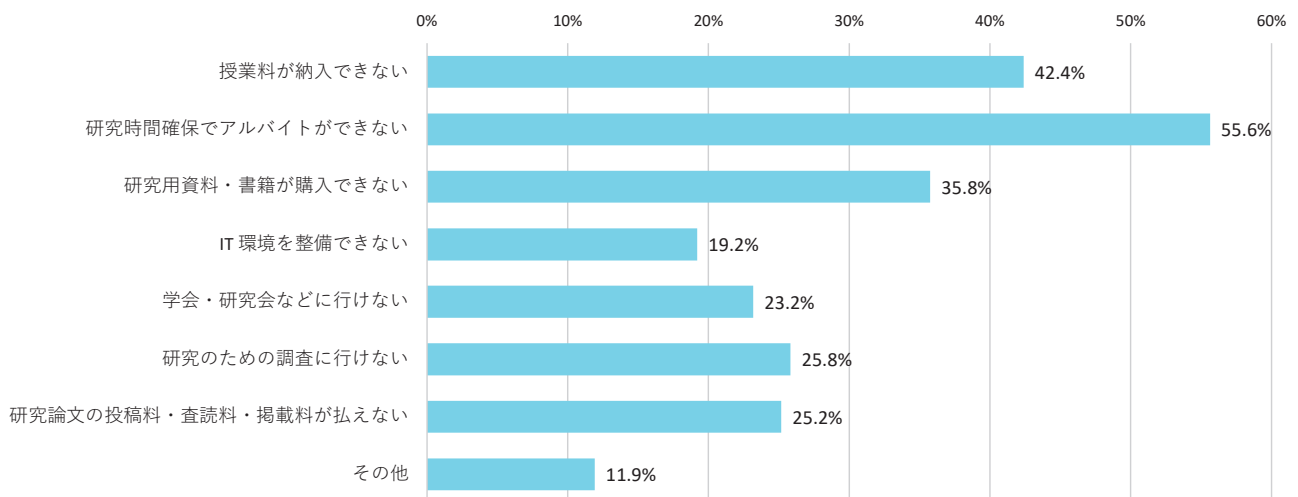
- ◎「研究時間確保でアルバイトができない」が55.6%でもっとも多く、これに「授業料が納入できない」の42.4%、「研究用資料・書籍が購入できない」の35.8%が続く。
- ◎ 前回調査と比較すると、研究用資料・書籍が購入できなかつたり、学会・研究会などに行けなかつたりする学生の割合は、10ポイント以上減少している。

問9で生活費や研究活動費などが「不足している」と回答した者に対して、具体的に何が不足しているのかを尋ねた。具体的な項目は、「授業料が納入できない」「研究時間確保でアルバイトができない」「研究用資料・書籍が購入できない」「IT環境を整備できない」「学会・研究会などに行けない」「研究のための調査に行けない」「研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない」「その他」である（複数回答可）。

この結果、「研究時間確保でアルバイトができない」が55.6%でもっとも多く、これに「授業料が納入できない」の42.4%、「研究用資料・書籍が購入できない」の35.8%、「研究のための調査に行けない」の25.8%、「研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない」の25.2%、「学会・研究会などに行けない」の23.2%が続く。

前回調査では、「研究時間確保でアルバイトができない」が57.1%、「研究用資料・書籍が購入できない」が48.8%、「学会・研究会などに行けない」が41.9%で多かったから、研究用資料・書籍が購入できなかつたり、学会・研究会などに行けなかつたりする者の割合は、10ポイント以上減少していることがわかる。ただし、前回31.3%であった「授業料が納入できない」と回答した者の割合は、10ポイントほど増加していた。

図 2.6 生活費や研究活動費などで不足しているものの内訳【全体 (%)】



## 問 10. アルバイトの種類について

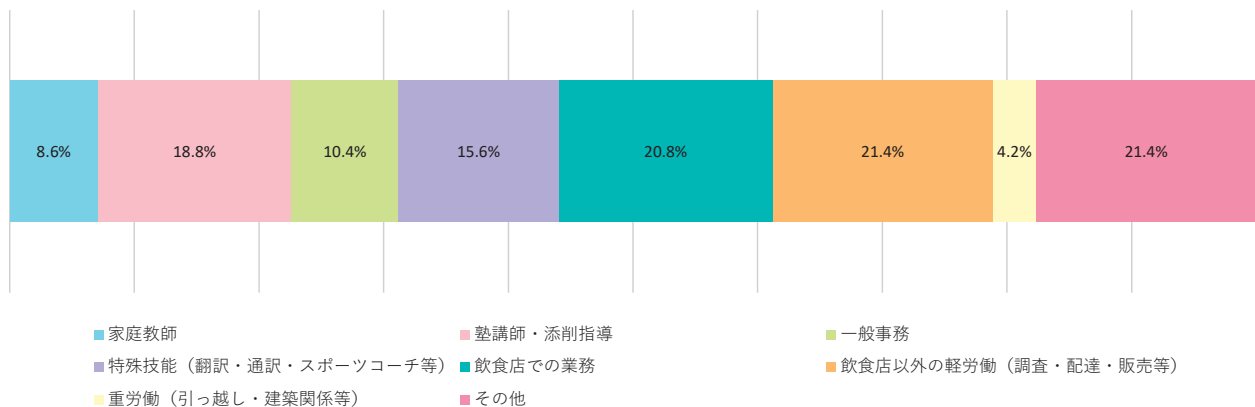
- ◎「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」と「その他」でそれぞれ 21.4%でもっとも多い。
- ◎「家庭教師」「塾講師・添削指導」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」等の教育・特殊技能関連があわせて 42.9%であった。
- ◎ 前回調査でもっとも多かったのは「飲食店での業務」で 29.2%であったが、本調査では 10 ポイントほど減少していた。

調査年の 4 月以降に筑波大学以外でアルバイトをした学生に対して、その種類を「家庭教師」「塾講師・添削指導」「一般事務」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」「飲食店での業務」「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」「重労働（引っ越し・建築関係等）」「その他」から複数選択してもらった。

その結果、「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」と「その他」がそれぞれ 21.4%でもっとも多く、次いで「飲食店での業務」の 20.8%、「塾講師・添削指導」の 18.8%、「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」の 15.6%が続くことが示された。「家庭教師」「塾講師・添削指導」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」等の教育・特殊技能関連があわせて 42.9%であり、重要なアルバイト先となっていることがわかる。前回調査でもっとも多かったのは 29.2%が選択した「飲食店での業務」であったが、本調査では 10 ポイントほど少なかった。新型コロナウイルス感染症の流行によって、飲食店でのアルバイトの求人が減少した影響かもしれない。

また、学年が上がるごとに「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」を用いたアルバイトに従事する割合が上がるのは特徴的である。とくに博士課程では専門性を活かして収入を得ていることがわかる。

図 2.7 アルバイトの種類【全体 (%)】





## 問 11. アルバイトをする理由について

## 問 12. アルバイトの学修への影響について

- ◎ アルバイトをする理由としては、「生活費のため」が81.5%でもっとも多く、これに「レジャー・旅行のため」の31.5%、「学費のため」の29.9%が続く。
- ◎ ただし、博士課程では「レジャー・旅行のため」を選択する割合が学年を問わず15%を下回っている。
- ◎ 50.6%の学生は、アルバイトが学修の妨げになっていると感じている。

調査年の4月以降に筑波大学以外でアルバイトをした方に対して、その理由を「学費のため」「生活費のため」「サークル活動費のため」「レジャー・旅行のため」「技術を得るため」「友人を得るため」「その他」から複数選択してもらった。

その結果、「生活費のため」が81.5%でもっとも多く、それに「レジャー・旅行のため」の31.5%、「学費のため」の29.9%、「技術を得るため」の23.7%が続くことが示された。課程別にみると、博士課程では「レジャー・旅行のため」を選択する割合が学年を問わず15%を下回っており、修士課程とは15ポイントから30ポイントほどの違いがある。

また、調査年の4月以降に筑波大学以外でアルバイトをした学生に対して、それが研究・学修の妨げになっているかどうかを「とても妨げになっている」「すこし妨げになっている」「あまり妨げになっていない」「全く妨げになっていない」の4段階で尋ねた。その結果、50.6%の学生が、「とても妨げになっている」あるいは「すこし妨げになっている」と感じていることが示された。

図 2.8 アルバイトをする理由【全体 (%)】

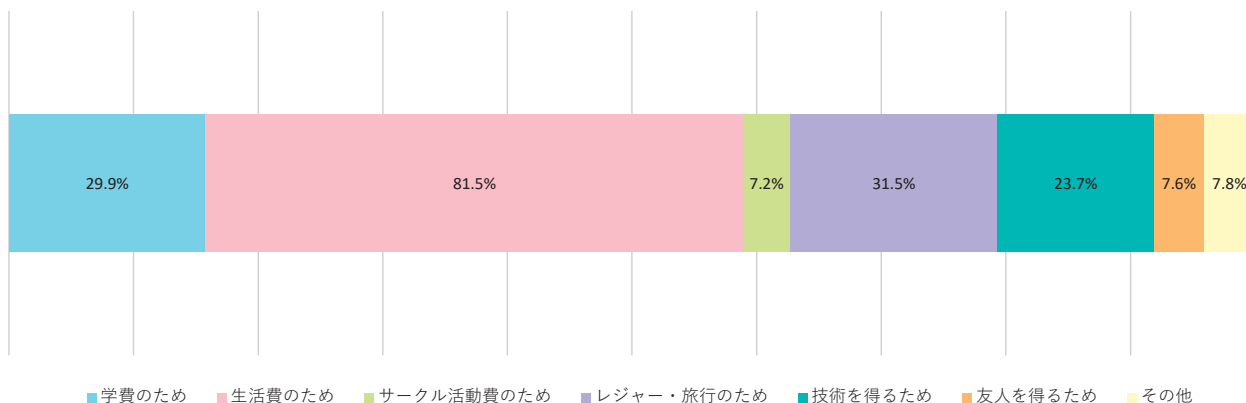
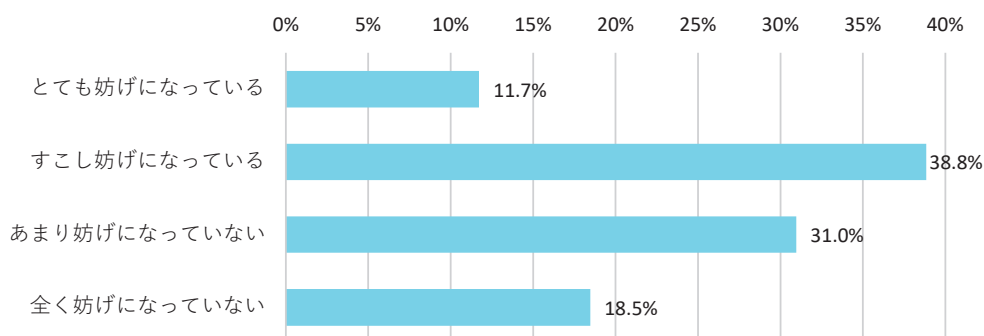


図 2.9 アルバイトの学修への影響【全体 (%)】



### 問 13. 現在の住まいについて

#### 問 13-1. 学生宿舎への入居希望について

#### 問 13-2. 現在の居住地について

- ◎ 現在の住まいは、「民間のアパート・マンションなど」が60.8%でもっとも多い。
- ◎ 学生宿舎に入居していない学生のうち、88.9%は入居を希望していない。
- ◎ 学生宿舎に入居していない学生のうち、約半数の学生が天久保か春日に居住している。

現在の住まいを、「学生宿舎」「民間のアパート・マンションなど」「親と同居」「親戚・知人宅」「その他」から選択してもらった。「民間のアパート・マンションなど」が60.8%でもっとも多く、これに「学生宿舎」の24.1%、「親と同居」の10.4%が続く。前回調査では「学生宿舎」への入居率が高まっていることが指摘されているが（前回調査で「学生宿舎」を選択したのは18.1%）、本調査でもこのような傾向が継続していることが確認できる。

さらに、問13で「学生宿舎」以外を選択した学生に対して、学生宿舎への入居希望と現在の居住地を尋ねた。学生宿舎の入居希望を「希望する」「希望しない」の2択で尋ねたところ、88.9%が「希望しない」ことが示された。また、現在の居住地については、「学生宿舎以外でつくば市内（天久保、春日、桜、柴崎、吾妻、その他）」「つくば市以外で茨城県内（県南地域、県西地域、その他）」「茨城県外で関東地方（東京都、千葉県、埼玉県、その他）」「その他」で尋ねた。

全体としては、「学生宿舎以外でつくば市内」が71.9%でもっとも多く、これに「茨城県外で関東地方」の14.6%、「つくば以外で茨城県内」の5.6%が続く。「学生宿舎以外でつくば市内」のなかでもっとも多いのは「天久保」の29.0%であり、これに「春日」の20.2%、「つくば市内その他」の13.1%、「桜」の8.3%が続く。約半数の学生が天久保か春日に居住しているが、これは前回調査と同様の傾向である。

図 2.10 現在の住まい【男女別、外国人留学生・日本人学生別、全体（%）】

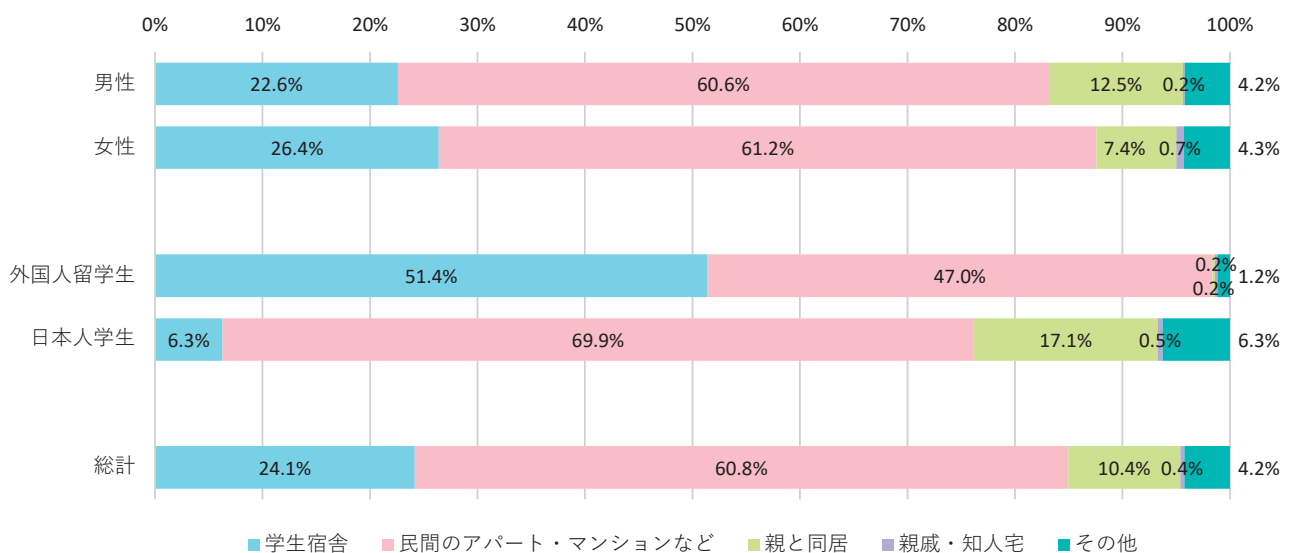


図 2.11 学生宿舎への入居希望【男女別、外国人留学生・日本人学生別、全体 (%)】

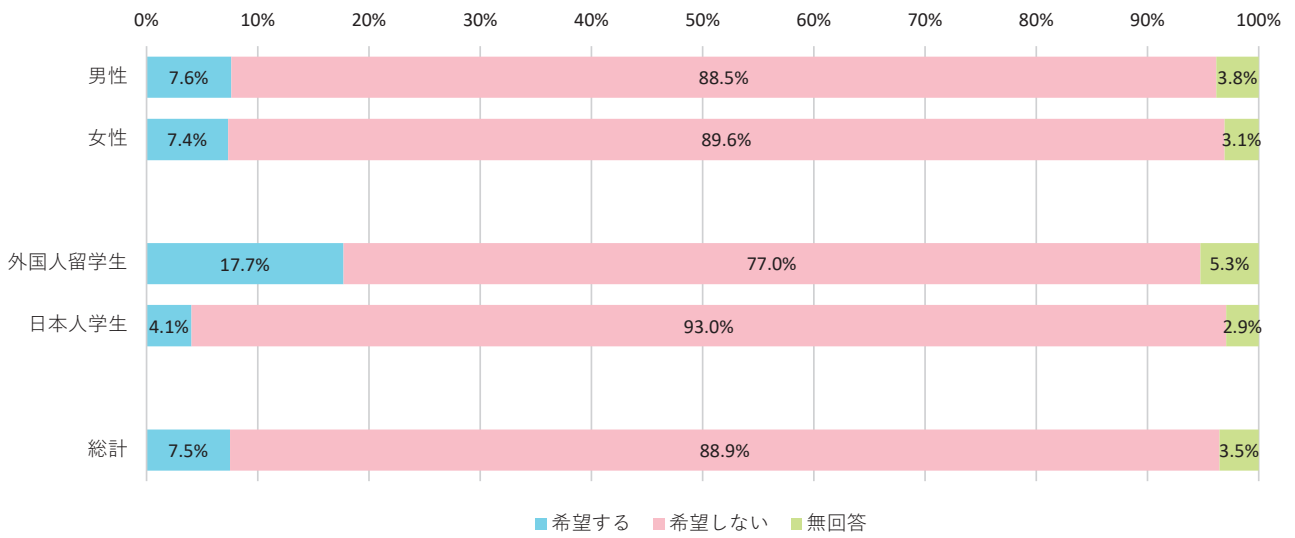
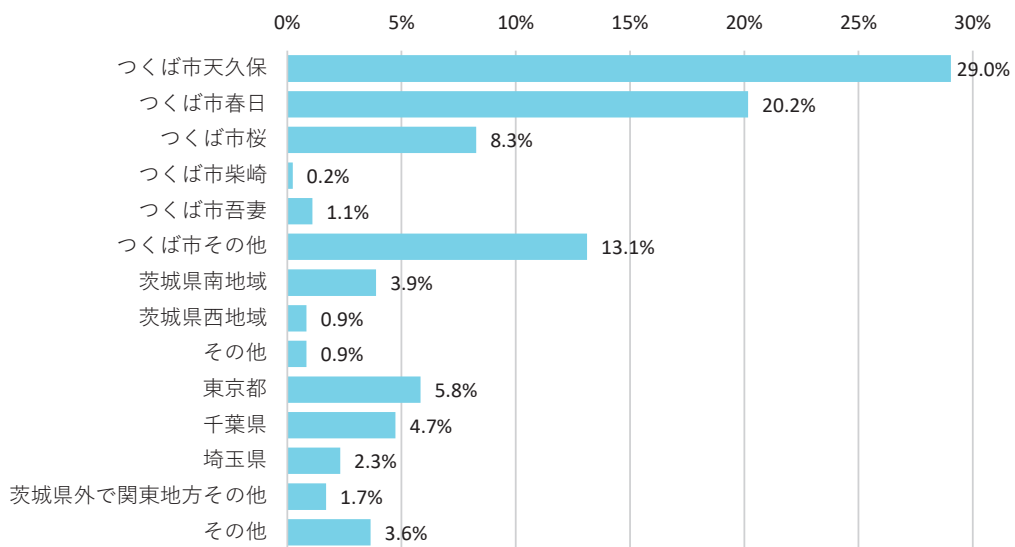


図 2.12 現在の居住地【全体 (%)】



### 問 13-3. 入居している学生宿舎について

### 問 13-4. 学生宿舎の満足度について

- ◎ 48.9%が「一の矢地区」に居住している。
- ◎ 74.6%が学生宿舎に満足している（「かなり満足」と「おおむね満足」の合計）。前回調査と比較して、満足度は20ポイントほど上昇している。
- ◎ 「料金」「居室」「セキュリティ」「管理事務所の対応」に対する満足度がとりわけ高い。

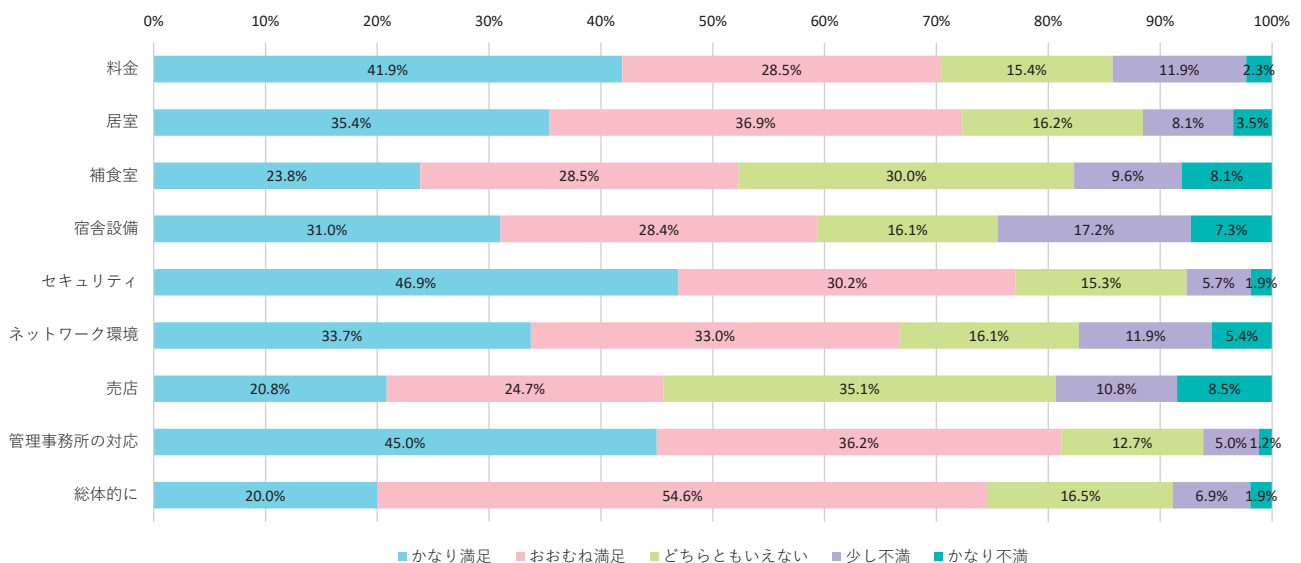
問 13で「学生宿舎」に入居していると回答した学生に対して、入居地区を「一の矢地区」「平砂地区」「追越地区」「春日地区」の4択で尋ねた。

全体では「一の矢地区」が48.9%でもっとも多く、これに「追越地区」の26.7%、「平砂地区」の19.1%が続く。また、居室タイプを「单身宿舎」「世帯宿舎」「二人室（单身使用）」「シェアハウス（グローバルヴィレッジ）」の4択で尋ねたところ、「单身宿舎」が69.8%でもっとも多く、これに「シェアハウス（グローバルヴィレッジ）」の13.0%、「二人室（单身使用）」の10.7%が続いた。

学生宿舎に入居している学生に、宿舎の満足度について、「かなり満足」「おおむね満足」「どちらともいえない」「少し不満」「かなり不満」の5段階で尋ねた。尋ねたのは、「料金」「居室」「捕食室」「宿舎設備（エアコン・トイレ・洗濯室・コインシャワー等）」「セキュリティ」「ネットワーク環境」「売店」「管理事務所の対応」「総体的に」の9項目である。

総体的にみると、「かなり満足」が20.0%、「おおむね満足」が54.6%、「どちらともいえない」が16.5%、「少し不満」が6.9%、「かなり不満」が1.9%であり、74.6%が満足している（「かなり満足」と「おおむね満足」の合計）ことがわかる。前回調査で総体的に「かなり満足」あるいは「おおむね満足」と回答した割合は54.6%であったから、満足度が20ポイントほど上昇していることがわかる。「かなり満足」と「おおむね満足」の合計の割合を施設別にみると、「売店」が45.6%でもっとも低いですが、その他の項目はいずれも50%を上回っている。とりわけ、「料金」「居室」「セキュリティ」「管理事務所の対応」では、満足度が70%を超えている。

図 2.13 学生宿舎満足度【全体 (%)】



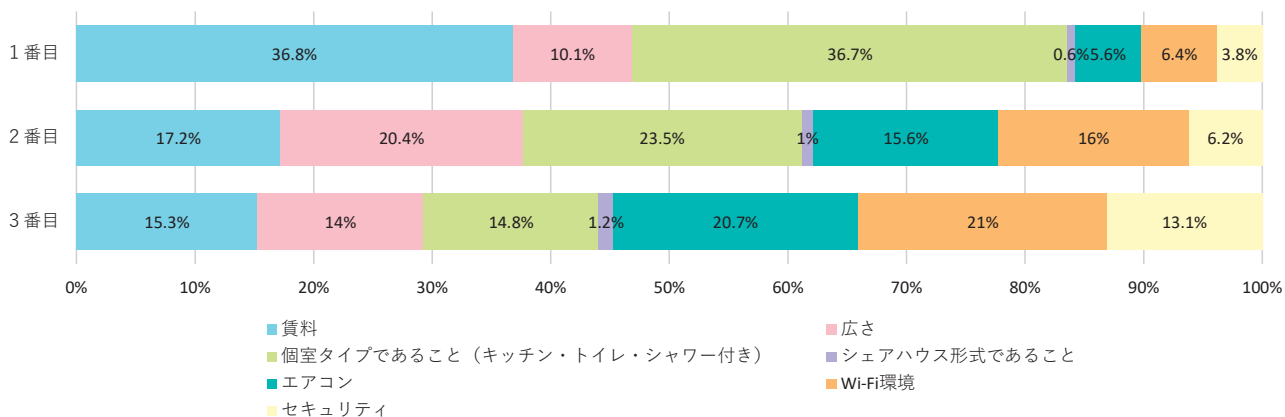
## 問 14. 学生宿舎のリニューアルについて

- ◎ 1 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、「賃料」であった。
- ◎ 2 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは「個室タイプであること (キッチン・トイレ・シャワー付き)」、3 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは「Wi-Fi 環境」であった。

学生宿舎のリニューアルについて、新しい宿舎に求める項目を重視する順に3つまで選択してもらった。選択肢は「賃料」「広さ」「個室タイプであること (キッチン・トイレ・シャワー付き)」「シェアハウス形式であること」「エアコン」「Wi-Fi 環境」「セキュリティ」である。

1 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは「賃料」であり、36.8%がこれを選択していた。次いで、「個室タイプであること (キッチン・トイレ・シャワー付き)」の36.7%、「広さ」の10.1%が続く。2 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、23.5%が選択した「個室タイプであること (キッチン・トイレ・シャワー付き)」、3 番目に重視する項目としてもっとも多かったのは21.0%が選択した「Wi-Fi 環境」であった。

図 2.14 新しい宿舎に求める項目【全体 (%)】



## 問 15. 平均的な 1 日または 1 週間の過ごし方について

### A. 平均的な 1 日について

- ◎ 平均的な 1 日を見ると、「大学の授業の時間【対面】」「大学の授業の時間【動画視聴】」「授業の予習・復習・課題を行う時間」はそれぞれ 0 時間がもっとも多い。
- ◎ 一方、「研究の時間」は 5 時間以上 7 時間未満が 17.0% でもっとも多い。

平均的な平日の 1 日の過ごし方について、「大学の授業の時間【対面】」「大学の授業の時間【動画視聴】」「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自主学習のための時間」「睡眠時間」に区別をして尋ねた。

「大学の授業の時間【対面】」「大学の授業の時間【動画視聴】」「授業の予習・復習・課題を行う時間」はそれぞれ 0 時間がもっとも多いが、「研究の時間」は 5 時間以上 7 時間未満が 17.0% でもっとも多い。とりわけ数理物質科学研究群ではこの傾向が顕著であり、23.9% が 5 時間以上 7 時間未満、33.6% が 7 時間以上 10 時間未満、13.4% が 10 時間以上も研究に従事している。また、「睡眠時間」は 6 時間以上 7 時間未満が 34.5% でもっとも多く、これに 7 時間以上 8 時間未満の 28.4%、8 時間以上 9 時間未満の 11.2% が続く。

図 2.15 平均的な 1 日の過ごし方【全体 (%)】

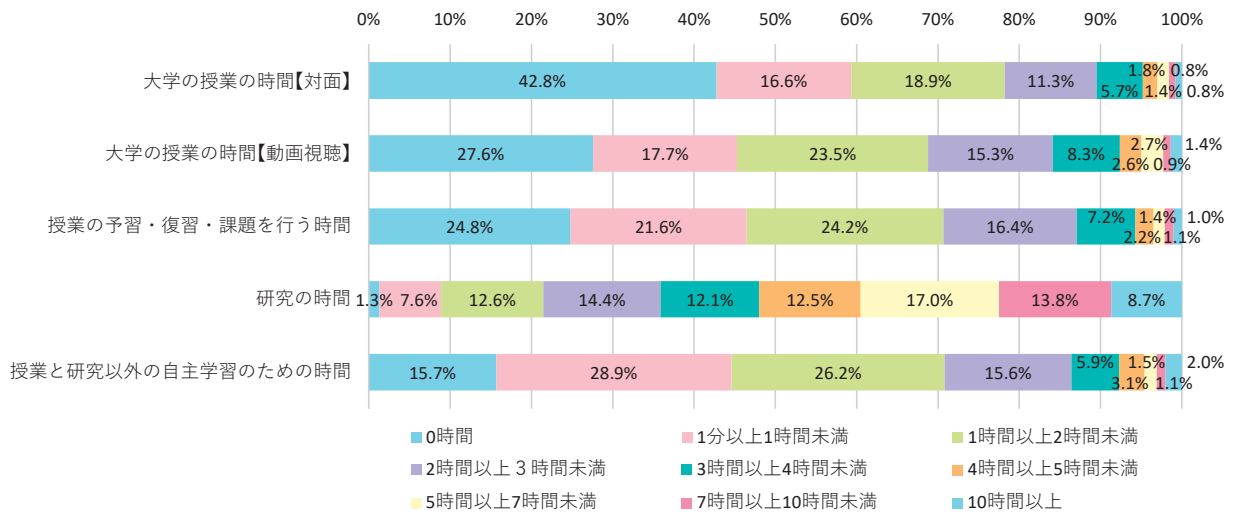
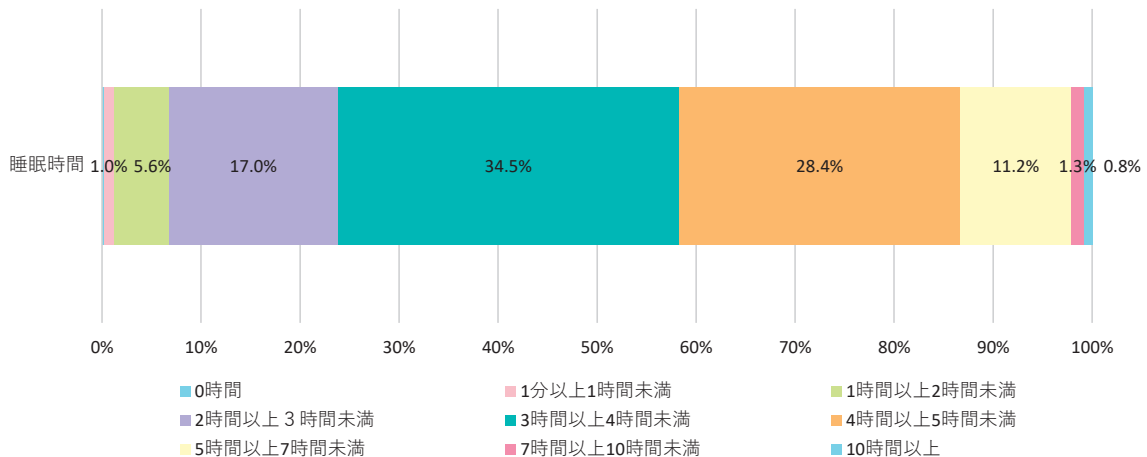


図 2.16 平均的な睡眠時間【全体 (%)】



## B. 平均的な1週間の過ごし方

## C. 平均的な休日の過ごし方

- ◎ 平均的な1週間について「研究の時間」をみると、10時間未満が15.6%でもっとも多いものの、45時間以上も11.5%おり、ばらつきが大きい。
- ◎ 数理物質科学研究群とグローバル教育院では、1週間に40時間以上研究に充てる学生の割合が30%を上回っている。
- ◎ 平均的な休日としては、83.3%が「自宅で過ごす」を選択している。これに「趣味・娯楽・買い物のための外出」の66.9%、「大学の研究」の57.2%が続く。

平均的な1週間の過ごし方を「大学の授業の時間【対面】」「大学の授業の時間【動画視聴】」「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自学自習のための時間」「サークル・ボランティアなどの活動時間」「アルバイト時間」に区別して尋ねた。

全体としては、大学の授業の時間【対面】」「大学の授業の時間【動画視聴】」「授業の予習・復習・課題を行う時間」「授業の予習・復習を行う時間」は10時間未満がおおむね60%を上回っている。いっぽう、「研究の時間」については、10時間未満が15.6%でもっとも多いものの、45時間以上も11.5%おり、ばらつきが大きい。研究群ごとにみると、数理物質科学研究群とグローバル教育院では、1週間に40時間以上研究に充てる学生の割合が30%を上回っている。

また、「アルバイト時間」についても2時間未満が41.7%でもっとも多いものの、16時間以上の学生も10.7%みられるなど、ばらつきがある。「サークル・ボランティアなどの活動時間」については、88.9%が4時間未満（「2時間未満」と「2時間以上4時間未満」の合計）であると回答している。

また、休日の過ごし方について、「自宅で過ごす」「趣味・娯楽・買い物のための外出」「仕事・アルバイト」「部活動・サークル活動」「大学の授業」「大学の研究」「その他」の7つから当てはまるものを全て選択してもらった。全体では「自宅で過ごす」が83.3%でもっとも多く、次いで「趣味・娯楽・買い物のための外出」の66.9%、「大学の研究」の57.2%が続く。

図 2.17 平均的な1週間の過ごし方【全体 (%)】

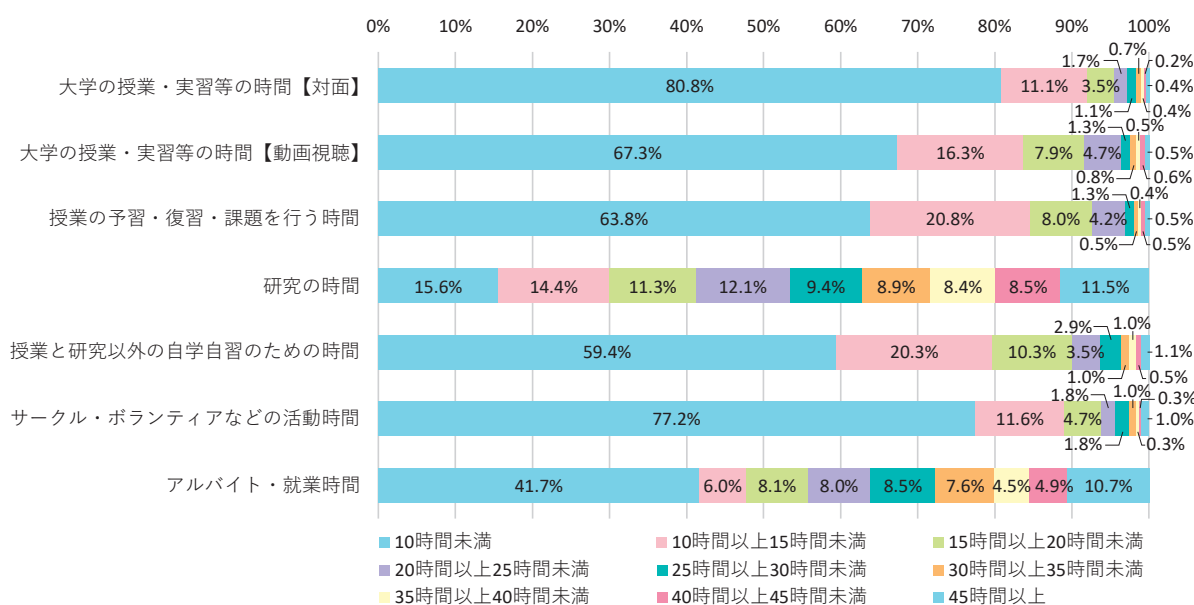
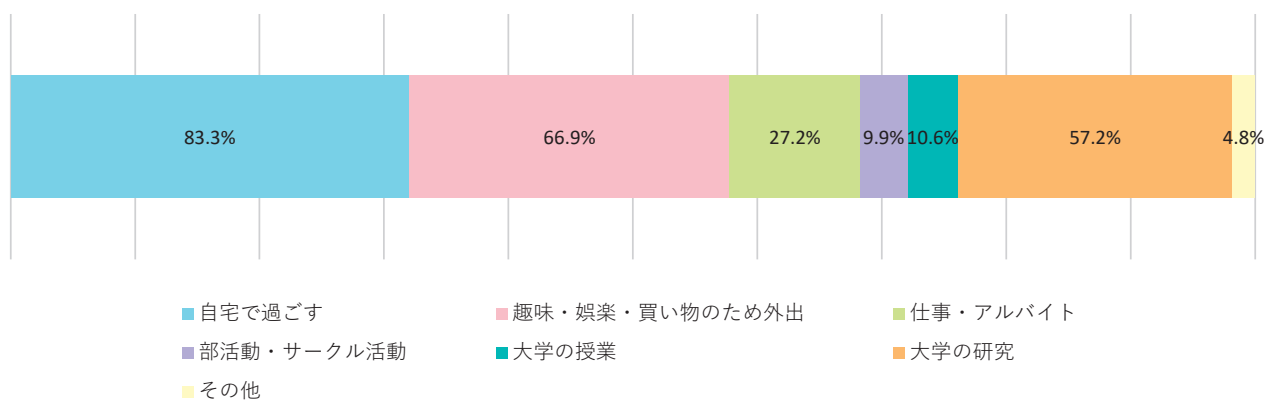


図 2.18 平均的な休日の過ごし方【全体 (%)】





## 問 16. 日常生活の満足度について

◎ 学群生に比べ、「かなり満足」と「おおむね満足」の割合が低い。

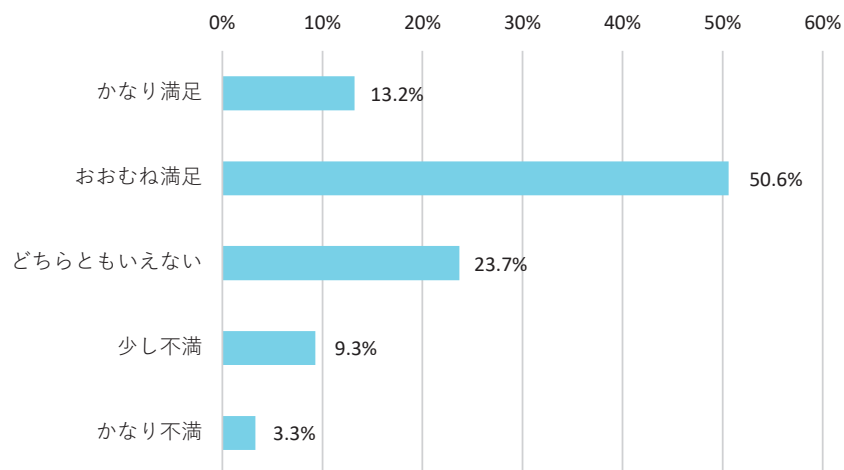
現在の日常生活に対する満足度を、「かなり満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「少し不満」、「かなり不満」の5択で尋ねた。全体では、「かなり満足」13.2%(14.1%)、「おおむね満足」50.6%(57.0%)、「どちらともいえない」23.7%(17.1%)、「少し不満」9.3%(8.6%)、「かなり不満」3.3%(2.9%)であった。( )は学群生の結果で、院生の方が満足度が低いことが分かる。

前回に比べ、「かなり満足」(8.0% → 13.2%)、「おおむね満足」(47.6% → 50.6%)が上がっており、新型コロナが良い効果を生んでいる。これは予想外の結果であった。講義がオンラインになったため、実技・実験がやり易くなったのではないかと想像される。

男女別では、男性が「かなり満足」または「おおむね満足」と回答した割合が女性よりも若干高く、学群生と同じ傾向を示した(前回は集計無し)。

修士課程の方が博士課程よりも満足度が高いことも分かった(前回は集計無し)。

図 2.19 日常生活の満足度【全体 (%)】



## 問 17. 新型コロナの影響について

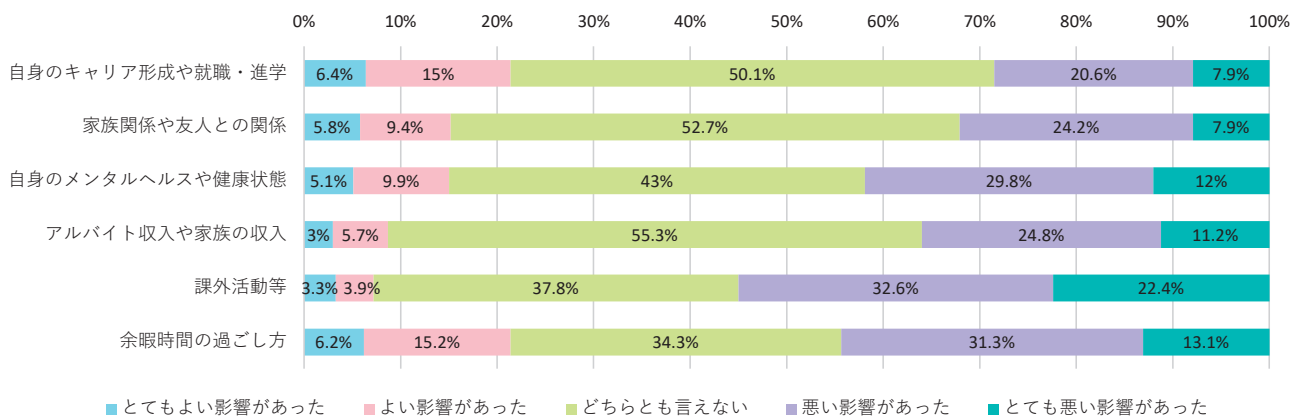
- ◎ 予想に反し、新型コロナの影響はあまり大きくなかった。
- ◎ 負の影響が見られたのは、「課外活動」と「余暇時間の過ごし方」であった。
- ◎ 収入に関しては、若干の悪い影響がみられた。

学群生と異なり、新型コロナによる影響はあまり大きくなかった。この結果は予想外だが、授業がオンラインになったために、実験・実技がやり易くなったためではないかと推測される。学群生は対面講義の方が望ましい傾向を示したが、研究室での実験・実技が主な院生の場合は、コロナ後でもオンラインを併用した方がよいのではないかと感じた。

「課外活動等」については、「悪い影響があった」の回答が、他の項目よりも高い。この傾向は、学群生と同じ。

「収入」に関しても、「悪い影響があった」が若干高い。この結果は、あまり不満がなかった学群生とは大きく異なる。院生はRA や TA など大学からの金銭的援助があるにも関わらず、なぜ学群生よりも不満が高いのか不明である。

図 2.20 コロナ禍の制限が生活に与えた影響【全体 (%)】



### 第3章 通学等について

#### 問 18. 通学時の交通手段について

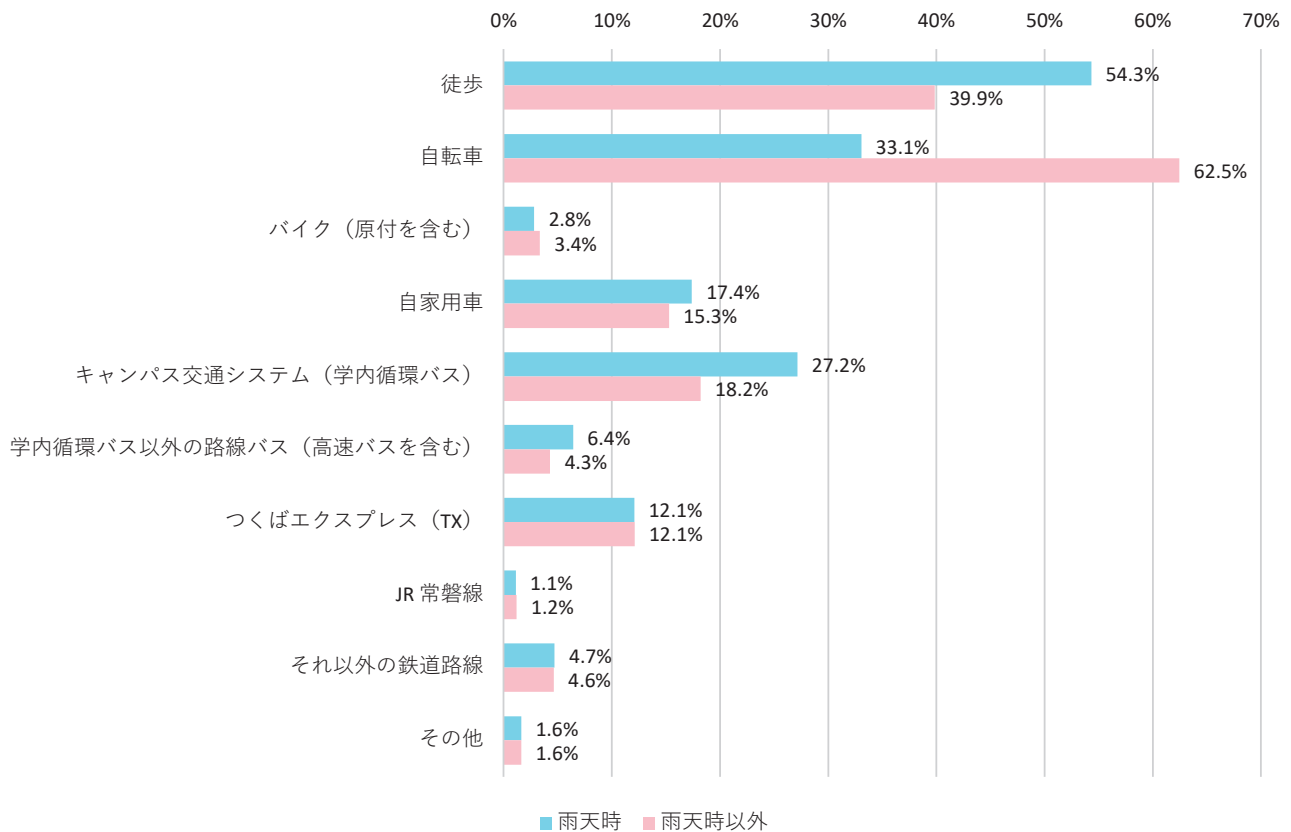
- ◎ 雨天時は徒歩が多く、雨天時以外は自転車が多くなる。
- ◎ 学内循環バス利用者は雨天時の方が多い。
- ◎ 学内循環バスの利用は天候に関係なく、また前回の調査結果よりも高い。

雨天時以外は「自転車」が62.5%(85%)と最も高いが、この結果は前回63.6%(86.6%)とほぼ同じである。  
 ( )は学群生の結果で(以下同)、院生になると自転車の利用が減ることが分かる。

雨天時には「徒歩」が54.3%(66.4%)と、「自転車」の33.1%(52.2%)を上回った。前回は、雨天時の「徒歩」が48.4%、雨天時以外の「徒歩」が35.1%で、今回は雨天時の「徒歩」が顕著に増えていることが分かる。

徒歩と自転車以外の通学方法の割合は、前回とほぼ同じであった。「学内循環バス」が非常に混んでいるように感じるのは、大学・つくばセンター間の路線バスの減便が大きく影響しているためであろう。

図 3.1 通学時の交通手段【全体 (%)】



## 問 19. 雨天時以外の通学時間について

- ◎ 15分未満の学生は50.9%で、前回(58.2%)よりも少し減少した。
- ◎ 30分未満の学生は77.0%で、前回(78.9%)とほぼ同じ。
- ◎ 1時間以上の学生は約14%で、前回(約16%)よりも少し減った。

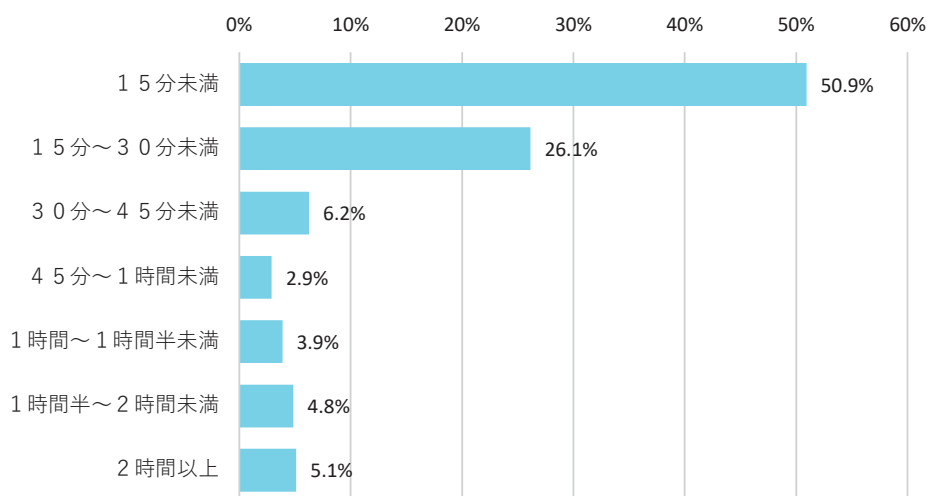
通学時間が15分未満の学生は50.9%で、前回(58.2%)よりも減少した。この傾向は学群と同じ(72.0% → 65.0%)。30分未満ではあまり顕著な変化は見られず、これも学群(84.7% → 80.5%)と同じ傾向。学群生同様に、徒歩や自転車などを交通手段にしている宿舎や近隣アパート・マンションから通学している学生が多いことに依ると思われる。

1時間以上かかる学生は減っており、これは学群生とは逆の傾向(10.5% → 13.9%)だが、割合は共に約14%なので、ほぼ同じ。院生は実験・実技で朝早かったり、帰宅が夜遅くなるため、遠方からの通学を避けていると推測される。

15分未満はM1(55.0%)とD3(62.5%)が顕著に多い。B4からM1進学に際し、近隣のアパートに移る学生が多いのかもしれない。また、実験・実技や論文で切羽詰まったD3がより研究室に近いアパートに移っているのではなかろうか。45分以上のD3が皆無であることもそれを示唆する。

男女での割合の違いはほとんどなかった。学群生も同様。

図 3.2 雨天時以外の通学時間【全体 (%)】



## 問 20. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について

- ◎ 「ほぼ毎日」「週に2～3回」の利用者が前回より減り、併せても2割を切った。
- ◎ 「いままでに数回」、「利用したことがない」が約35.9%と前回よりも増えた。
- ◎ 女性の方が男性よりも多く利用している。

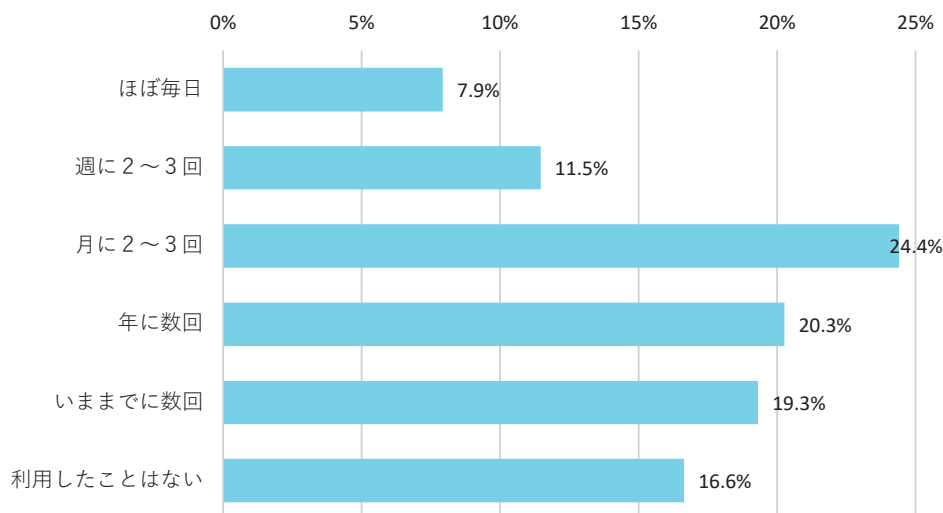
「ほぼ毎日」と「週に2-3回」の利用者は19.4%で、前回(27.6%)よりも減った。学群生では約19%で変化が見られなかったのとは異なる。「いままでに数回」と「利用したことはない」は35.9%で、コロナ前の前回(26.3%)よりも明らかに増えており、予想通りであった。この傾向は学群生でも見られた(25.1% → 36.2%)。

「月に2～3回」と「年に2～3回」は併せて44.7%で、前回(46.1%)とあまり変わらなかった。学群生では逆に55.4% → 44.9%と大きく減っており、傾向が異なる。

D3は利用者が極端に低く、「ほぼ毎日」、「週に2～3回」、「月に2～3回」は全てゼロで驚いた。「年に数回」が90%近くを占めていることから、徒歩や自転車で通学しているD3が多い。循環バスの本数が少ない、早朝・夜間の本数が少ないことも影響していると推測される。

女性の方が利用頻度が高い。特に、「週に2～3回」での差が大きい。

図 3.3 キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度【全体（%）】



## 第4章 健康状態について

### 問 21. 過去1年間の健康状態について

- ◎ 全体の約 65%は身体的に健康である。
- ◎ 全体的に見て、男性よりも女性の方が心身ともに健康状態が良くない傾向がある。
- ◎ 精神的・心理的問題で受診や相談の経験があるものは、それぞれ全体の約 6%である。

過去1年の身体的および心理的・精神的健康状態についてあてはまるものすべてを選択させた。健康であると回答したものは全体の約 65%であり、受診を伴わない日常的な体調不良を選択したものが約 26%であった。前回調査で「健康である」と回答したのは約 57%、前々回は約 65%、その前は約 58%であり、概ねこれまでと同等の傾向であると言える。男性のほうが女性よりも「健康である」を選択するものが多かった。また、D2とD3の学生は、回答者数自体が少ないとはいえ、「健康である」が他と比べて著しく低かった。

また、受診や入院を要する疾病に罹患したものは 14.7%、入院や受診を要する負傷をしたものは 2.6%で、前回調査とほぼ同程度であった。

一方、精神的な問題で受診・入院したと回答したのは全体の 6.3%、心理的問題を感じて相談機関を利用したのは 6.6%で、いずれも M1 より M2 が高い割合となっている。この2項目はいずれも男性より女性のほうが高い値となっている。「健康である」該当者の差を考えると、女子学生の心身の健康さに注意を払う必要があると考えられる。

表 4.1 過去1年間の健康状態【学年別、男女別、全体】

	M1	M2	D1	D2	D3	男性	女性	全体
健康である	69.6%	59.9%	60.6%	33.3%	25.0%	68.2%	59.6%	64.7%
健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）	22.1%	28.4%	32.3%	77.8%	37.5%	21.8%	31.6%	25.8%
身体の病気で受診・入院した	14.5%	14.8%	14.1%	11.1%	37.5%	12.6%	17.8%	14.7%
精神的な問題で受診・入院した	4.5%	9.2%	5.1%	0.0%	25.0%	5.5%	7.5%	6.3%
心理的な問題で相談機関を利用した	4.9%	9.2%	6.1%	11.1%	0.0%	5.9%	7.5%	6.6%
けがで受診・入院した	2.4%	3.1%	3.0%	0.0%	0.0%	2.2%	3.3%	2.6%
その他	1.0%	1.6%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.5%	1.2%

## 問 22. 過去 1 年間の困り事・悩み事について

- ◎ 困り事悩み事としてあげられた最も多い項目は「学業や研究の不振」であった。
- ◎ 「進路」「就職」も 35%～37%の学生が悩んでいる。
- ◎ 自分の性格や精神的・心理的問題についても 2～3 割が該当した。

最も多く見られた悩みは「学業や研究の不振」で、全体の 52.4%であった。学年と性別、すべての属性において最も多く選択されていたが、M1 よりも M2 のほうが、D1 よりも D2、D3 と学年が上がるほうが高くなる傾向がある。また、「進路」や「就職」の悩みも約 35～37%の学生が選択しており、特に「就職」は M2 の 43.8%、D3 の 37.5%と多くが悩みを抱えていると推測される。次いで多いのが「自分の精神的・心理的状态」で、前回の 28.0%よりもやや多い 34.7%が選択した。この悩みも M1 より M2、D1 より D2、D3 と徐々に高くなる傾向が見られた。「経済状態」の悩みも 27.0%の学生が選択しており、これは前回調査の 30.2%と同じ程度と言えよう。また、「学業・研究の不振」は男女ほぼ同程度なのに対し、「家族関係」「自分の性格」「自分の精神的・心理的状态」「自分の身体的病気・けが等の状態」は女性の方が多く見られていた。

ハラスメントについては、全体の 3.5%が悩んでいると回答している。D2、D3 の回答者が少なく表からは読み取りづらいが、修士課程全体 (2.9%) よりも博士課程全体 (7.8%) のほうが、男性 (2.4%) よりも女性 (5.1%) のほうが回答者が多い傾向にある。ただハラスメントに関しては、数字の多寡にかかわらず、看過すべきでない問題と言えるだろう。

表 4.2 過去 1 年間の困り事・悩み事【学年別、男女別、全体 (%)】

	M1	M2	D1	D2	D3	男性	女性	全体
学業や研究の不振	46.4%	58.8%	57.6%	77.8%	87.5%	74.5%	37.1%	52.4%
単位修得の問題	12.1%	7.4%	9.1%	0.0%	0.0%	16.9%	5.1%	10.0%
学術院・研究群の学位プログラムまたは専攻の移籍	3.9%	2.9%	2.0%	11.1%	0.0%	5.5%	1.9%	3.4%
休学・退学	1.1%	6.4%	13.1%	11.1%	12.5%	5.1%	3.7%	4.2%
進路	38.3%	33.3%	28.3%	44.4%	50.0%	49.8%	26.0%	35.8%
就職	35.1%	43.8%	23.2%	11.1%	37.5%	56.3%	23.7%	37.1%
学業と仕事の両立	14.4%	15.2%	36.4%	55.6%	12.5%	24.5%	11.6%	16.9%
友人との関係	15.2%	14.8%	8.1%	11.1%	12.5%	21.5%	9.4%	14.4%
教員との関係	10.8%	11.9%	12.1%	22.2%	37.5%	16.2%	8.4%	11.6%
研究室内の問題	10.7%	13.6%	12.1%	55.6%	37.5%	19.2%	7.6%	12.4%
部活動・サークル内の問題	6.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	2.4%	3.8%
恋愛関係	13.3%	13.1%	2.0%	0.0%	12.5%	19.8%	6.8%	12.1%
家族関係	12.5%	12.9%	14.1%	22.2%	12.5%	15.2%	11.2%	12.8%
自分の性格	18.6%	20.0%	14.1%	0.0%	25.0%	23.8%	15.0%	18.6%
自分の精神的・心理的状态	31.7%	39.5%	30.3%	44.4%	50.0%	44.3%	27.9%	34.7%
自分の身体的病気・けが等の状態	12.6%	13.8%	15.2%	11.1%	12.5%	14.6%	12.4%	13.3%
経済状態	27.2%	26.2%	26.3%	55.6%	37.5%	38.2%	19.3%	27.0%
ハラスメント	2.4%	3.8%	9.1%	0.0%	0.0%	3.4%	3.5%	3.5%
その他	2.1%	2.6%	1.0%	11.1%	0.0%	2.1%	2.4%	2.3%
特になし	12.5%	11.7%	8.1%	0.0%	12.5%	17.7%	7.5%	11.7%

## 問 23. あなたの感じ方について

- ◎「自分のやりたいことができている」といったポジティブな項目は7～8割が該当。
- ◎一方、「何となく不安になることがある」に該当するものも同様に高い。
- ◎「気分が憂鬱である」は11.1%、「『死にたい』と思ったことがある」は5.4%が高頻度で該当。

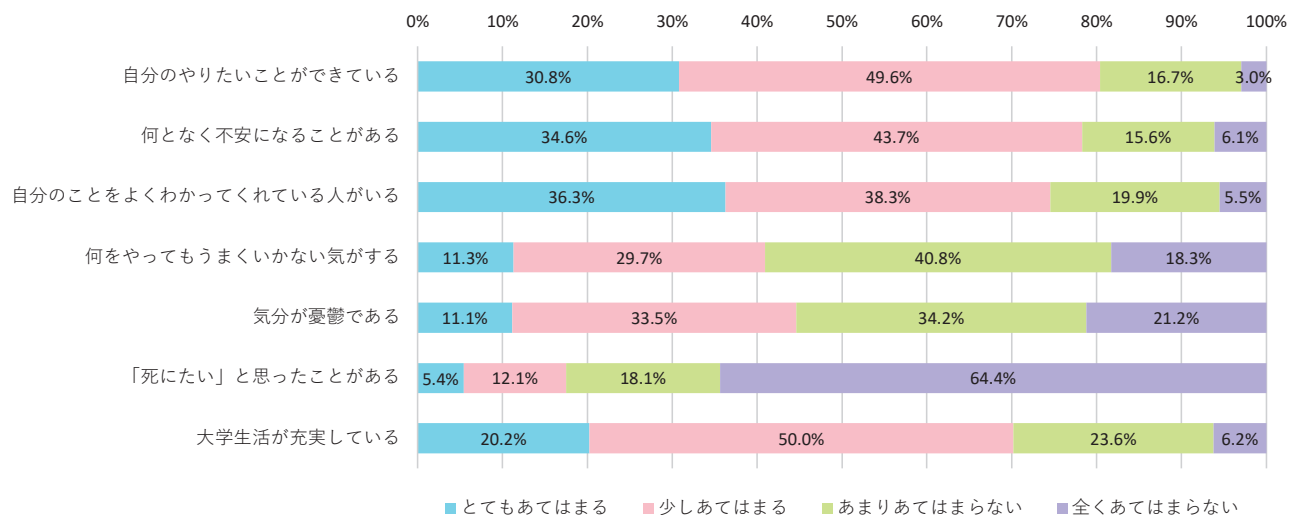
本項目では心理的健康度に関するいくつかの指標について、「とてもあてはまる」から「全くあてはまらない」の4件法で尋ねた。「自分のやりたいことができている」「大学生活が充実している」「自分のことをよくわかってくれている人がいる」の3項目はどれも約7～8割程度がYES群（注参照）に該当していた。

一方、「何となく不安になることがある」に78.3%がYES群として回答しており、8割近くの学生が漠然とした不安を感じている。また、「気分が憂鬱である」は44.6%で、「何をやってもうまくいかない気がする」は40.9%であった。また、「『死にたい』と思ったことがある」という希死念慮にYES群として該当するものは17.5%で、5.4%は「とてもあてはまる」と回答している。

また前回調査と比較すると、「『死にたい』と思ったことがある」はほぼ同数（17.6%→17.5%）であるものの、他の項目については、ポジティブな質問は約3～7%の減少、ネガティブな質問は約3～6%の増加が見られており、本学の大学院生の心理的健康状態の悪化が懸念される結果であった。

注) 把握しやすいよう、YESは「とてもあてはまる」「少しあてはまる」を合算し、Noは「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」を合算した。

図 4.1 過去1年間の精神的な健康状態【全体 (%)】





## 第5章 相談相手・情報の得方について

### 問 24. 主な相談相手について

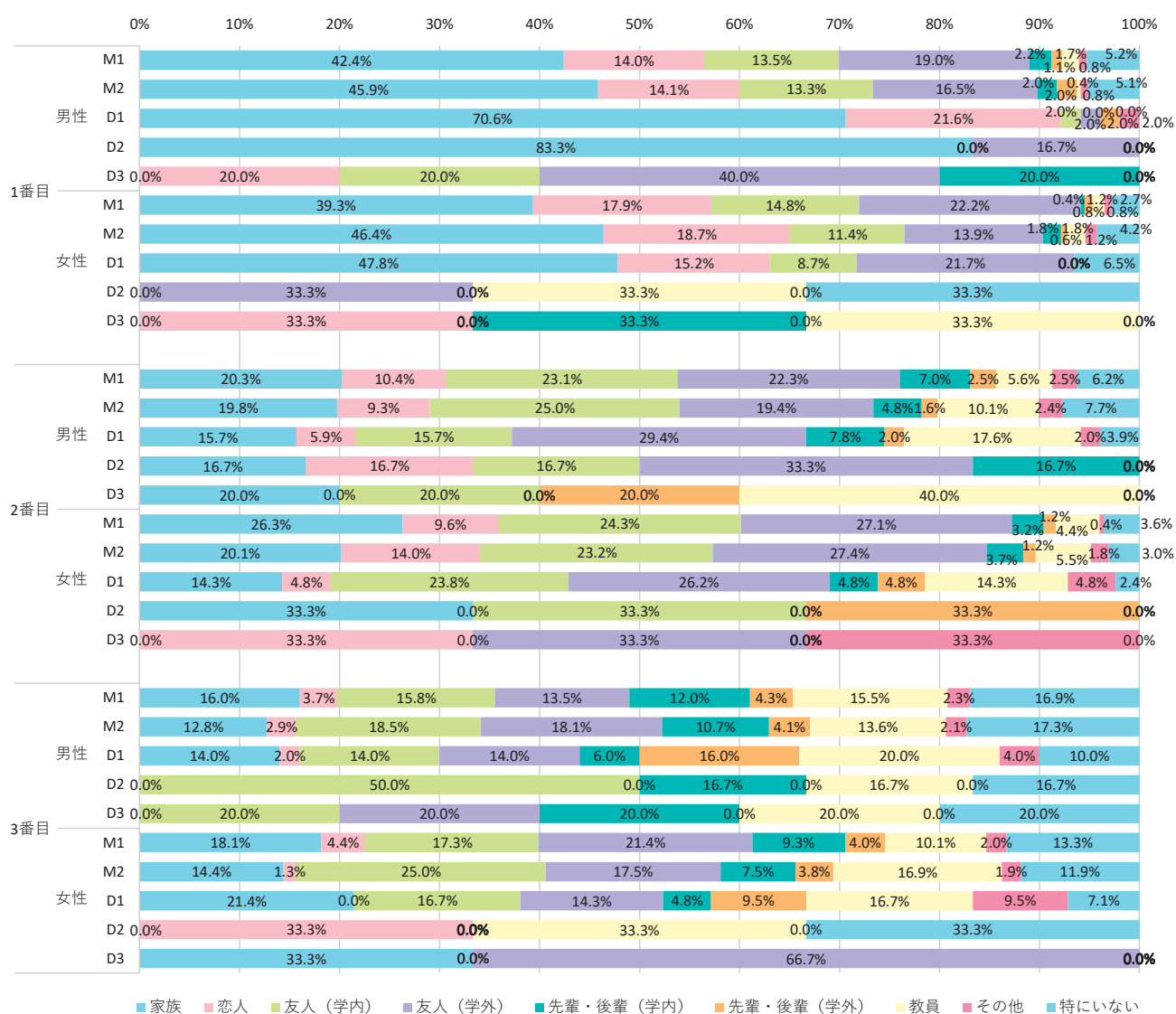
- ◎ 総じて相談相手として最も選ばれやすいのは家族である。
- ◎ 学群生と同様、前回調査よりも学外の友人が相談相手として選ばれやすくなっている。
- ◎ 男性は相談相手を持たない者が女性より多い。

重要なことを話したり、悩みを相談する人として、該当する上位3番目までを選択させた。どの属性においても、1番目に最も多く選ばれるのは「家族」で、全体の44.3%が該当した。回答者数の少ないD2、D3を除くと、学年が上がるほど割合が高くなる傾向がある。次いで「友人（学外）」「恋人」「友人（学内）」が選ばれている。前回調査では2番目に「恋人」、3番目に「友人（学内）」が選ばれていたが、「友人（学外）」の順位が上がっていることは学群生と同じであった。前回調査においても、大学院生は学群生と比べ、学外の友人を相談相手に選ぶ割合が高いことが指摘されていたが、その傾向がコロナ禍によってより強まっている可能性がある。

主な相談相手が家族、友人、恋人であるのは学群生と同じである一方、「教員」を相談相手として選ぶ割合は大学院生のほうが高い傾向にあり、特に2番目、3番目として選んだものは7.3%、14.3%となっている。学生生活において学業・研究活動の比重が高い大学院生にとって、研究の進捗やそれを踏まえた進路設計など、指導教員との相談を要する事柄が増える。相談相手としての教員の重要性が示されたと言える。

1番目の相談相手を「特にない」と答えたのは全体の4.3%で、学群生と同じ割合であった。大学院生においても男性のほうが女性よりもやや高い傾向があり、注意が必要な点である。

図 5.1 相談相手【男女別、学年別 (%)】



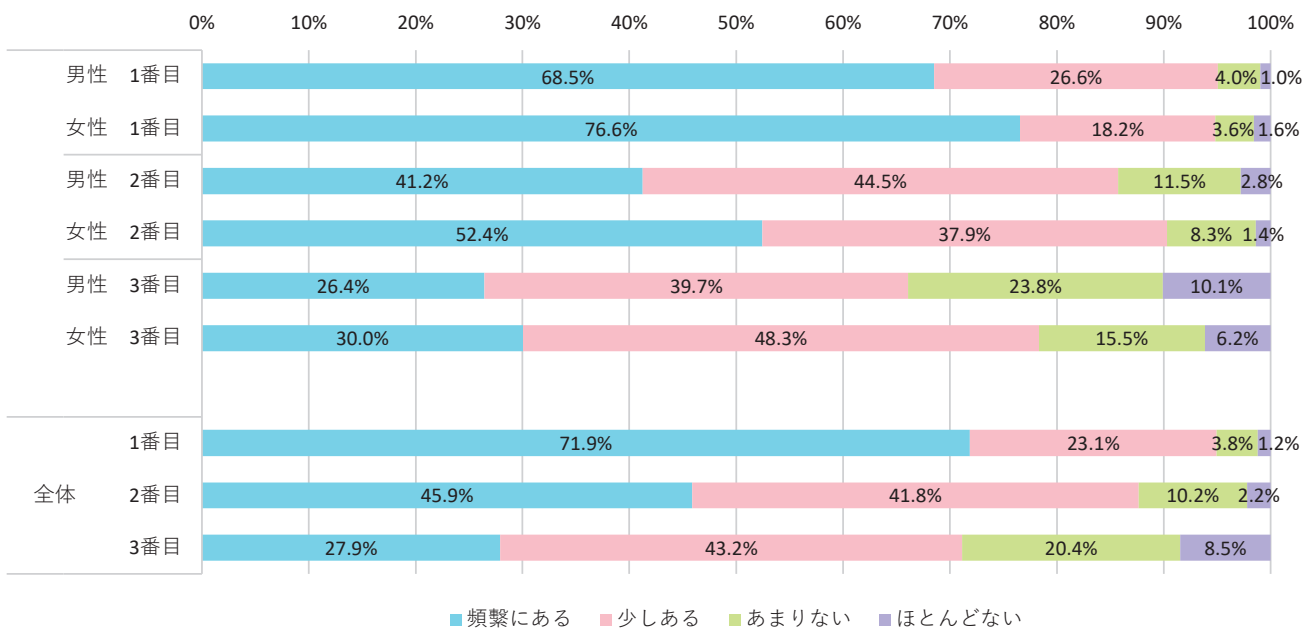
## 問 24-1. 相談相手と話す機会について

- ◎ ほとんどの回答者が、相談相手として1番目に選択した人に話す機会を持っている。
- ◎ 前回調査時よりも多くの回答者が、話す機会があると回答した。
- ◎ 男性は女性に比べて相談相手と話す機会が少なく、悩みを話せる機会が限られやすい。

重要なことを話したり、悩みを相談する相手として選択した上位3番目までのそれぞれの人に対して、どのくらい話をする機会があるかを尋ねた。全体では、95.0%（前回調査は88.8%）とほとんどの学生が1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答した。2番目の相談相手は87.7%（同81.7%）、3番目に選択した相談相手は71.1%（同66.2%）となっており、前回調査と比べ、より多くの学生が相談相手と話す機会を持っていると言える。また、学群生と比較してもより高い割合となっており、コロナ禍の状況にあっても、コミュニケーションの機会を持っていたことがうかがえる。ただ、そこには電話やメール等の非対面の方法も含まれると思われるが、今回の調査ではコミュニケーションの手段の変化やその影響については尋ねていない。

男女別でみると、相談相手と話す機会を持っている者であっても、「頻繁にある」の割合は女性が高く、「少しある」は男性が高い傾向がある。また、2番目、3番目の相談相手と話す機会が「ほとんどない」を選ぶ割合も男性に高いことから、男性は悩みを相談したり、人と話す機会が比較的少ないと考えられる。

図 5.2 相談相手と話す機会【男女別、全体（%）】



## 問 25. 情報の得方について

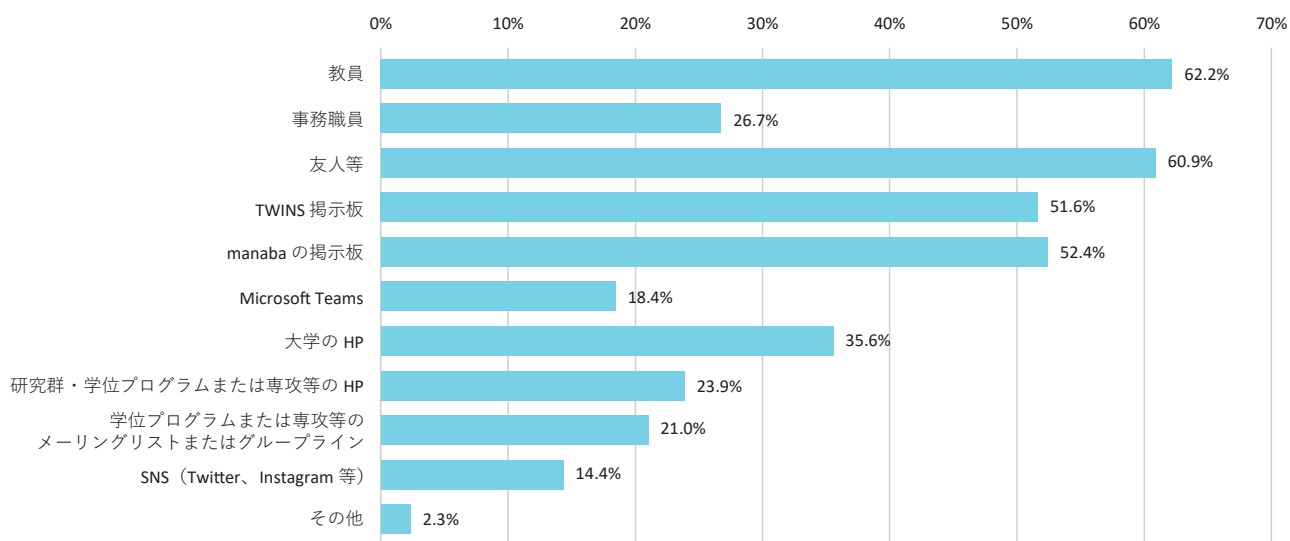
- ◎ 大学院生にとっての主な情報取得源は「教員」「友人等」「manaba の掲示板」「TWINS 掲示板」。
- ◎ manaba の掲示板や TWINS の掲示板の利用者が増えている。

学生生活に関わる情報を得ようとするとき、どういった情報源にアクセスするかを複数回答で尋ねた。オンライン授業の導入等により学生の利用ツールが変わったことを受けて、前回調査の選択肢にあった「Web 掲示板」がなくなり、代わりに「manaba の掲示板」と「Microsoft Teams」が追加された。

全体では、選択された割合が多い順から「教員」「友人等」「manaba の掲示板」「TWINS 掲示板」であった。前回調査も「友人等」と「指導教員」がほぼ同等で最も多く、両者が重要な情報の取得先であることに変わりはないが、「manaba の掲示板」と「TWINS 掲示板」も半数以上の回答者が選択した。特に「TWINS 掲示板」は前回の 23.2% から 51.6% と大幅に上昇しており、学生が日常的にチェックする情報源として定着してきていることがうかがえる。オンライン授業導入の影響も考えられるだろう。

「SNS (Twitter、Instagram 等)」は 14.4% と、前回 (18.1%) 同様一定数の学生が選択しているが、学群生 (42.0%) と比べると割合は低い。その一方、「教員」の選択者は学群生の 17.4% よりも遥かに多く、問 24 - 1、問 24 - 2 の結果をふまえても、大学院生にとって指導教員の役割がいかに重要であるかが読み取れる。

図 5.3 情報取得源【全体 (%)】



## 問 26. 相談機関について

◎「総合相談窓口」「学生相談室」「保健管理センター」「キャリア・就職相談」は、大学院生の周知率・利用率ともに高く、ニーズの高さを感じさせる。

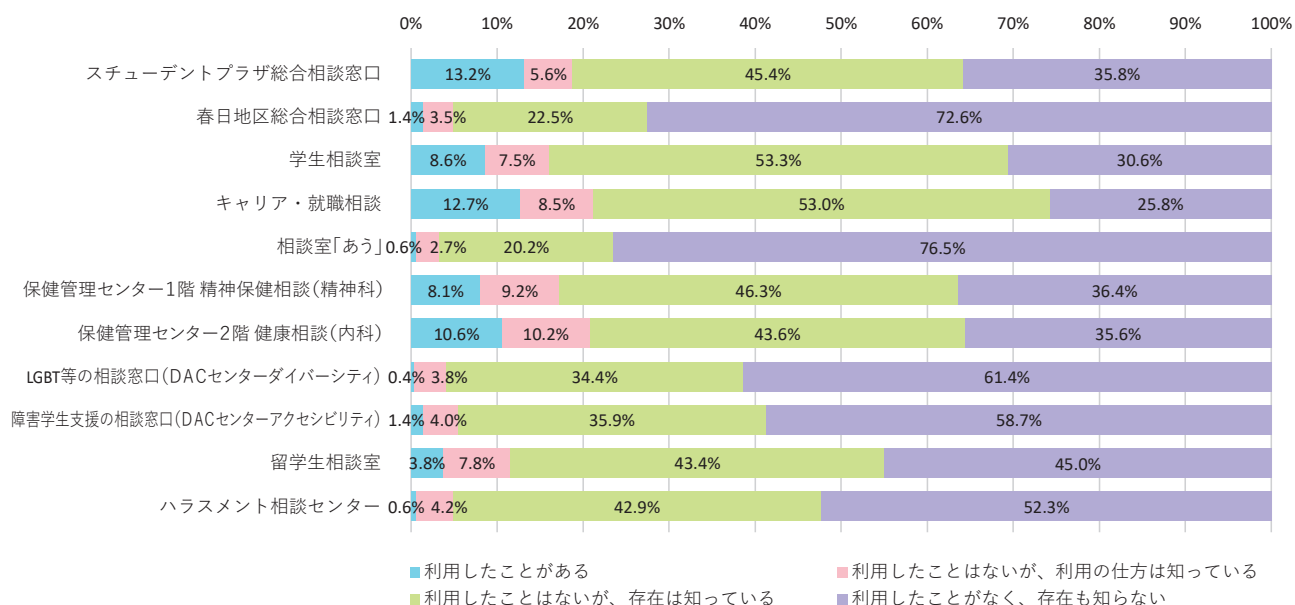
◎学内相談機関の存在を知っている、利用方法までは知らない学生が多い。

学内にある相談機関の周知状況や利用状況について尋ねた。「利用したことがある」と回答された割合を「利用率」、利用率に「利用したことはないが、利用の仕方は知っている」と回答された割合を足したものを「利用方法の周知率」、利用方法の周知率に「利用したことはないが、存在は知っている」と回答された割合を足したものを「存在の周知率」とする。

存在および利用方法の周知率、利用率が高かったのは「スチューデントプラザ総合相談窓口」「学生相談室」「キャリア・就職相談」「保健管理センター1階 精神保健相談（精神科）」「保健管理センター2階 健康相談（内科）」であった。全般的に、存在の周知率に比較して利用方法の周知率が低いという結果は学群生と同様であり、利用方法も含めた周知には課題が残ると言える。

学群生に比較して、「留学生相談室」「ハラスメント相談センター」「相談室『あう』」の周知率が高い。これは、外国人留学生の在籍率の高さや研究室での関係性が密になること、ワーク・ライフ・バランスを考える年代であることなどを考えると、妥当な結果と言える。一方、半数以上の学生が存在を知らない機関も存在しており、潜在的なニーズを取りこぼさないために、より一層広報や受け入れ態勢を充実させていく必要があるだろう。

図 5.4 相談機関の周知率、利用率【全体（％）】



## 第6章 課外活動について

### 問 27. サークル活動について

- ◎ 大学院生の約2割がサークル活動をしている。
- ◎ 人間総合科学研究群はコーチとして参加している割合が顕著。

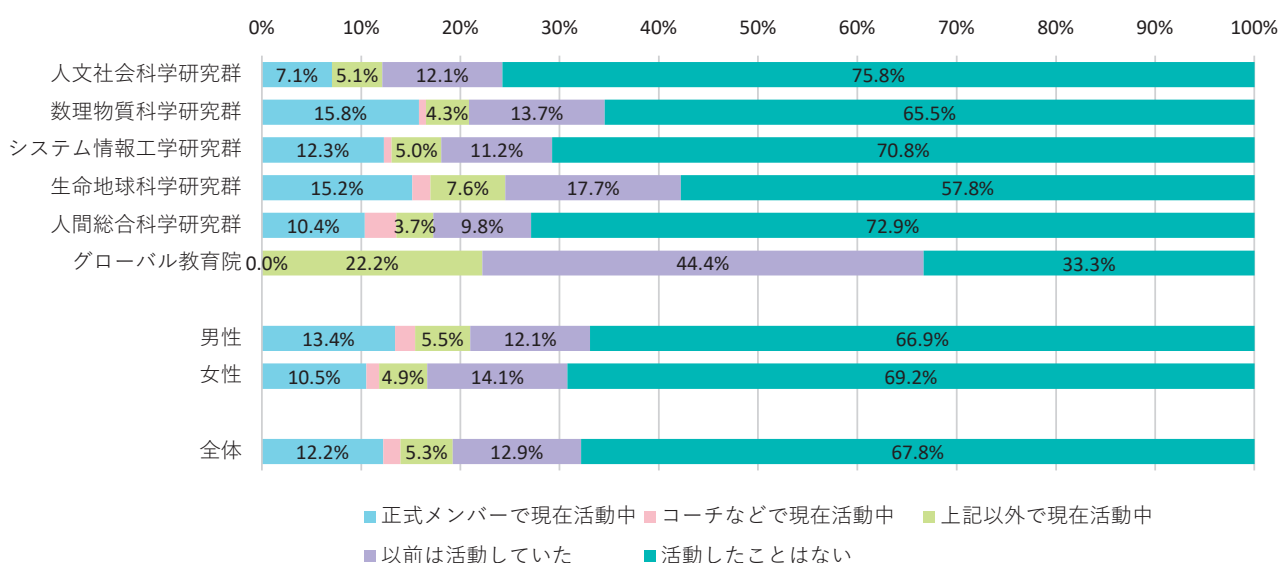
大学院生になってからのサークル活動への参加について、「正式なメンバーで現在活動中」「コーチなどで現在活動中」「それら以外で現在活動中」「以前は活動していた」「活動したことはない」の5項目から1つを選択する質問をした。

全体では、「活動中(正式なメンバー、コーチなど、その他)」と回答した学生の割合は19.2%で、前回19.7%、前々回18.4%とほぼ同様である。学群生による現在活動中との回答は57.9%であるため、大学院生の参加率は学群生に比べて約33%である。学群生の参加率が減少したため、相対的に大学院生の参加率は前回調査の約20%より上昇している。

研究群別にみると、数理物質科学研究群(20.9%)、生命地球科学研究群(24.5%)の参加率が20%をこえている。また、人間総合科学研究群ではコーチとして参加している学生の割合(3.2%)が他の研究群全体の2倍程度いる。

課程別・学年別にみると、修士課程相当の学生は1年が22.6%、2年が17.0%、博士課程相当の学生は1年生が9.3%が現在活動中である。

図 6.1 サークル活動への参加【研究群等別、男女別、全体 (%)】



## 問 27-1. サークル活動の動機について

◎ サークル活動の動機は「趣味と一致」「友人がほしくて」。

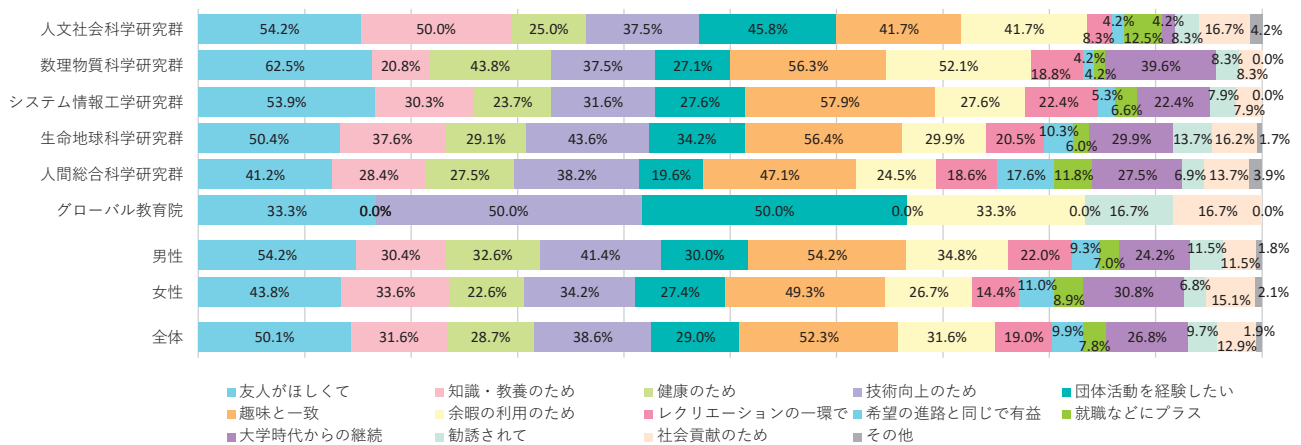
現在、サークル活動をしている、あるいは、以前していた学生を対象に、サークル活動の動機について、複数回答で調査した。

全体では、「趣味と一致」が52.3%で最も多く、次いで「友人がほしくて」の50.1%、「技術向上のため」の38.6%の順になる。これは前回の傾向と同じである。

研究群別にみると、数理物質科学研究群で「友人がほしくて」が62.5%、「余暇の利用のため」が52.1%と突出して多い。

課程別にみると、博士課程後期相当の1年生は「余暇の利用のため」が44.0%、「レクリエーションの一環」が40.0%と修士相当学生に対してやや多い。

図 6.2 サークル活動の動機【研究群等別、男女別、全体 (%)】



## 問 28. 宗教団体・啓発セミナーなどについて

- ◎ 宗教団体・啓発セミナーなどに学内で約 1 割、学外で 2 割強の学生が勧誘を受けた。
- ◎ 留学生より非留学生の方が勧誘を受けた経験が多い。

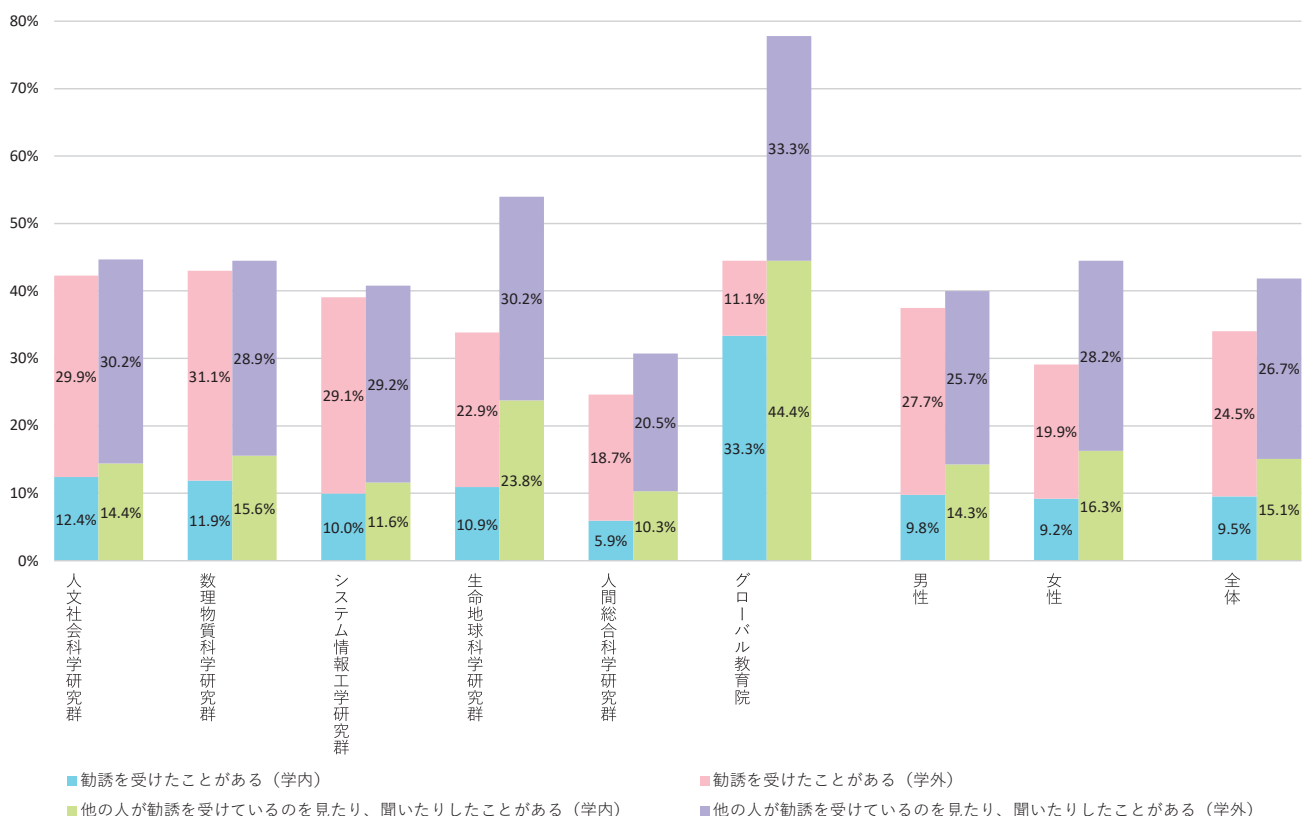
大学入学後の宗教団体や自己啓発セミナーなどからの勧誘経験の有無などを質問した。

大学内で勧誘を受けたことがある学生は 9.5%、学外では 24.5% であった。これらは前回調査の 10.7%、24.6% と同様である。

他の人が勧誘したり勧誘されたりしたのを見たことがあるかどうかを質問したが、キャンパス内では 15.1%、キャンパス外では 26.7% の学生に目撃経験がある。前回調査では 17.3%、23.9% であるのでこれも前回と同様である。

留学生・非留学生区分でみると、学内で勧誘を受けた学生の割合が留学生では 8.6%、非留学生では 10.1% であり、学外では 21.5%、26.4% と非留学生の方が多い。勧誘を目撃した割合も学内では留学生 12.6%、非留学生 16.6%、学外では留学生 23.8%、非留学生 28.6% とこちらも非留学生の方が多い。これらは前回の結果とは逆転している。

図 6.3 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘【研究群等別、男女別、全体 (%)】





## 問 29. ボランティア活動について

- ◎ 4 分の 1 の学生はボランティア経験がある。
- ◎ 3 割弱の学生はボランティア活動に参加したいと考えている。

大学院入学後のボランティア活動について、「授業やゼミを通じて参加したことがある」「つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある」「サークル活動を通じて参加したことがある」「その他の機会に参加したことがある」「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」「ボランティア活動に参加する予定はない」の 6 項目から選択する質問をした。

全体では何らかのボランティア活動をした経験がある学生は 24.1% であった。前回調査結果の 26.6% とほぼ同様である。今後ボランティア活動に参加したいと回答した学生は 28.0% である。52.1% の学生が何らかのボランティア活動に参加した経験があるか、あるいは今後参加したいと考えていることになる。これは前回の 44.9% より大幅に増加している。

研究群別にみると、人間総合科学研究群 (31.0%)、人文社会科学研究群 (30.6%) はボランティア経験のある学生の割合が 3 割を超えている。また人文社会科学研究群 (33.7%) と生命地球科学研究群 (31.5%) は在学中にボランティアに参加したいと考えている学生が 3 割を超えている。

表 6.1 ボランティア活動について【全体】

	回答数	回答率
授業やゼミを通じて参加したことがある	122	10.8%
つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある	24	2.1%
サークル活動を通じて参加したことがある	48	4.2%
その他の機会に参加したことがある	166	14.6%
ボランティア活動に参加したことがある (上記いずれかに該当した者)	273	24.1%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	318	28.0%
ボランティア活動に参加する予定はない	543	47.9%

### 問 30. つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について

- ◎ T-ACT の活動に関わった学生は約 5%。
- ◎ その約半数は参加者としての経験。

大学院入学後のつくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動への興味や参加経験などについて複数選択で質問した。

全体では 4.9% の学生が何らかの形で T-ACT に参加している。参加経験のある学生のうち、発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) の経験がある学生が 23.6%、参加者 (パーティシパント) 経験がある学生は 47.3%、T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある学生は 30.9%、その他の機会に関わったことがある学生は 45.5% である。

また、T-ACT の活動に関わったことがない学生のうち 27.7% は在学中に参加したいと考えている。

研究群別にみると、人文社会科学研究群 (7.2%)、生命地球科学研究群 (5.6%)、人間総合科学研究群 (5.0%) ですでに参加しているという学生が 5% 以上であった。

表 6.2 T-ACT の活動について【全体】

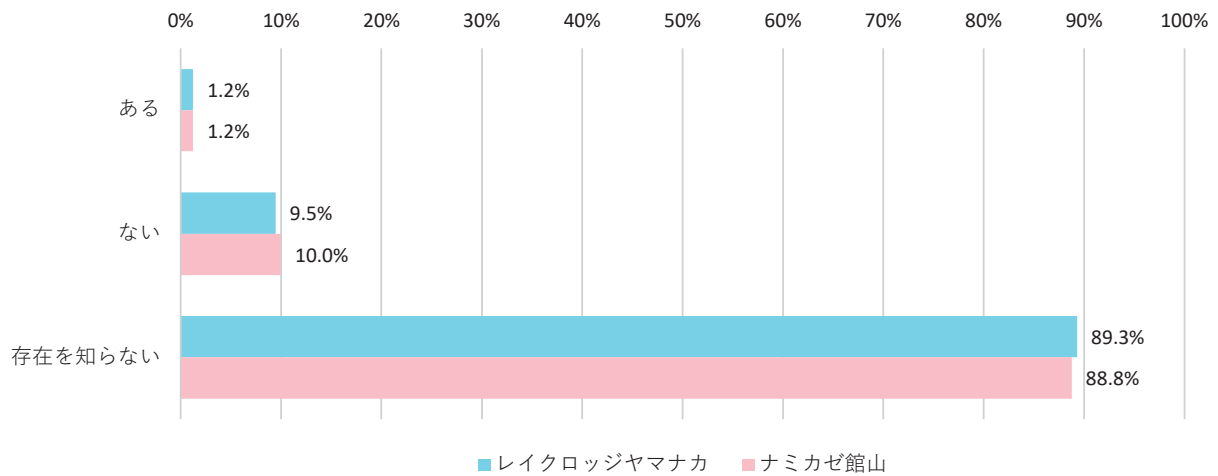
	回答数	回答率
T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある	13	1.2%
T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある	26	2.3%
T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある	17	1.5%
その他の機会に T-ACT に関わったことがある	25	2.2%
ボランティア活動に参加したことがある (上記いずれかに該当した者)	55	4.9%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	294	26.3%
T-ACT の活動に参加する予定はない	769	68.8%

### 問 31. 学外研修施設について

- ◎ 学外研修施設の認知度はほとんどない。
- ◎ 利用経験者は 1.2%。

筑波大学の学外研修施設(レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山)の利用経験や認知度に関して質問した。どちらの施設も利用経験者は 1.2% であり、存在を知らない学生が 85% 前後であった。

図 6.4 学外研修施設利用の有無【全体 (%)】



## 第7章 進路や就職活動について

### 問 32. 修了後の進路について

- ◎ 修了後の進路は進学希望 20.8%、就職希望 60.7%、復職 5.2%。
- ◎ 修士課程相当は「企業」42.4%、博士課程相当は「研究員」18.1%が最多。

大学院修了後の進路は、20.8%が進学、60.7%が就職と回答している。進学では、筑波大学大学院への進学が進学者中の60.8%と大半を占めており、筑波大学大学院での研究の継続を志向していることが明らかである。就職では、「企業」への就職が就職者中の65.4%と最も多く、次いで「大学教員」が9.8%、僅差で「研究員」9.5%と続いた。

表 7.1 修了後の進路【課程別、研究群等別、男女別、全体】

	回答数	進学計	就職計	復職計	未決定 その他
修士課程相当	1,060	21.9%	60.7%	5.0%	10.4%
博士課程相当	116	11.2%	61.2%	6.9%	16.4%
人文社会科学研究群	102	29.4%	50.0%	4.9%	12.7%
数理物質科学研究群	141	24.8%	62.4%	4.3%	7.1%
システム情報工学研究群	265	14.7%	72.1%	4.2%	6.8%
生命地球科学研究群	280	20.0%	63.9%	5.4%	8.9%
人間総合科学研究群	379	21.9%	52.2%	6.3%	16.6%
グローバル教育院	9	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
男性	696	21.1%	62.6%	5.3%	8.5%
女性	480	20.4%	57.9%	5.0%	14.6%
全体	1,176	20.8%	60.7%	5.2%	11.0%

表 7.2 修了後の進路【課程別、研究群等別、男女別、全体 (%)】

		修士課程相当	博士課程相当	人文社会科学 研究群	数 理 物 質 科 学 研 究 群	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 群	生 命 地 球 科 学 研 究 群	人 間 総 合 科 学 研 究 群	グ ロ ー バ ル 教 育 院	男性	女性	全体
進学等	筑波大学大学院	14.1%	0.0%	19.2%	13.7%	9.3%	13.1%	13.9%	0.0%	13.3%	12.6%	13.0%
	国内の他大学大学院	1.5%	1.7%	2.0%	2.2%	2.3%	1.1%	1.1%	0.0%	1.8%	1.3%	1.6%
	海外の大学院	3.1%	0.0%	4.0%	2.2%	2.3%	2.2%	3.8%	0.0%	2.1%	4.0%	2.9%
	研究員、研究生等	3.0%	9.5%	5.1%	7.2%	1.2%	3.6%	3.5%	22.2%	4.4%	2.8%	3.7%
	その他	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.3%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%
就職	企業	42.4%	15.5%	20.2%	50.4%	62.5%	44.4%	24.2%	44.4%	47.0%	31.5%	40.6%
	大学教員	4.7%	17.2%	14.1%	2.9%	2.7%	2.2%	10.3%	11.1%	4.4%	8.5%	6.1%
	研究員	4.4%	18.1%	4.0%	5.8%	6.2%	9.1%	3.5%	22.2%	5.6%	6.4%	5.9%
	小・中・高校の教員	3.1%	0.9%	5.1%	1.4%	0.0%	0.7%	6.8%	0.0%	2.1%	4.3%	3.0%
	公務員	4.0%	4.3%	6.1%	2.2%	1.5%	7.6%	3.5%	0.0%	3.7%	4.7%	4.1%
	自営・起業	0.4%	2.6%	0.0%	0.7%	0.0%	0.7%	1.1%	0.0%	0.9%	0.2%	0.6%
	その他	1.7%	2.6%	2.0%	0.0%	0.8%	0.4%	4.3%	0.0%	0.6%	3.6%	1.8%
復職	企業	1.8%	0.0%	3.0%	1.4%	2.3%	1.5%	1.1%	0.0%	1.9%	1.3%	1.7%
	大学教員	0.8%	1.7%	2.0%	1.4%	0.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.7%	0.0%	0.9%
	研究員	0.7%	0.9%	0.0%	0.7%	0.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.4%	0.7%
	小・中・高校の教員	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.1%	0.6%	0.3%
	公務員	0.8%	2.6%	0.0%	0.0%	1.2%	1.5%	1.4%	0.0%	0.9%	1.3%	1.0%
	自営	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.6%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.9%	0.0%	0.9%	0.4%	0.7%
その他	決まっていない	7.1%	7.8%	9.1%	5.0%	4.6%	6.5%	10.3%	0.0%	5.7%	9.6%	7.3%
	まだ考えていない	1.2%	6.0%	2.0%	1.4%	0.8%	0.7%	3.3%	0.0%	1.3%	2.3%	1.7%
	その他	2.1%	2.6%	2.0%	0.7%	1.5%	1.8%	3.5%	0.0%	1.6%	3.0%	2.2%

### 問 33. 修了後の外国での就労希望について

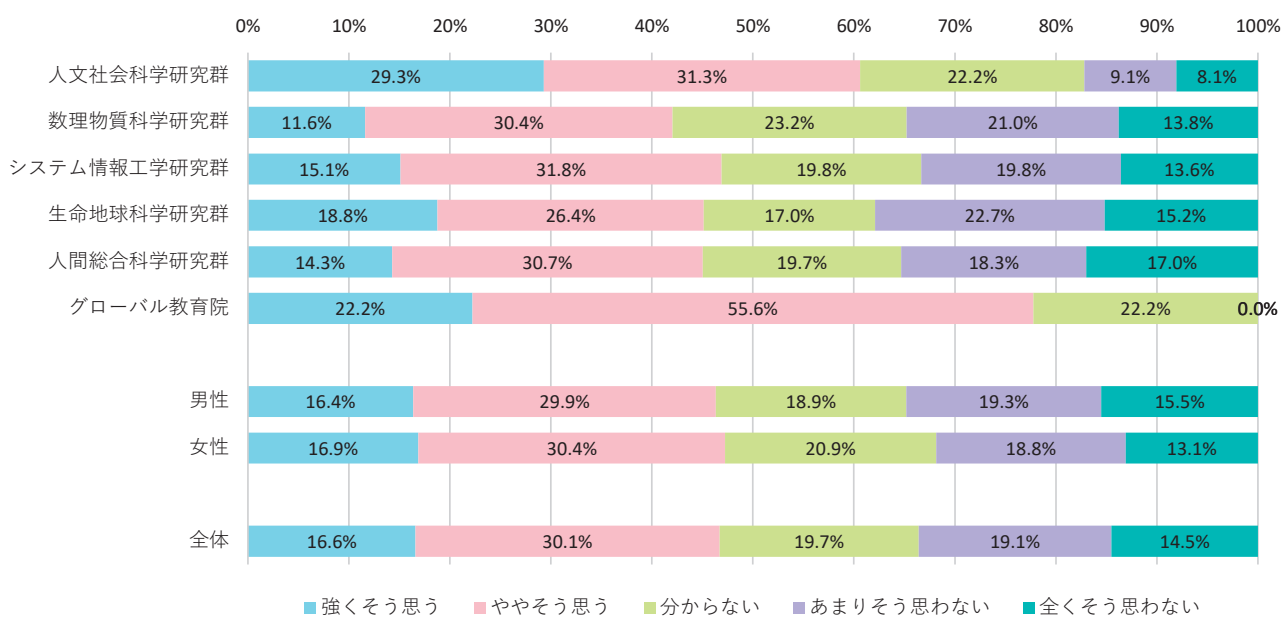
- ◎ 46.7% の学生が「外国での就労」を希望。
- ◎ 大学院生は学群生より高い国際志向がある。

修了後の外国での就労希望について尋ねたところ、「強くそう思う」「ややそう思う」で 46.7% と、半数近い大学院生が外国での就労を視野に入れていることがわかった。グローバル教育院を除いた研究群別では、人文社会科学研究群が 60.6% と半分以上の大学院生が将来的に外国就労を希望している。また、他の研究群は概ね 4 割強で並んでおり、大きな違いは見られなかった。

学群生と大学院生を比較すると、外国就労を視野に入れている学生の割合は、大学院生 46.7%、学群生 29.9% と、17 ポイント近くの差があり、大学院生が高い。この結果は、外国人留学生が学群生よりも大学院生の方が多いことが影響していると考えられる。

外国人留学生が修了後に日本での就労希望があるかどうかの結果であるが、「強くそう思う」「ややそう思う」の割合の合計が 76.1% と非常に高い。現在、大学院の外国人留学生の日本での就職は、修了生の約 3 割であり、外国人留学生の国内定着に向けた支援プログラムの充実が課題である。

図 7.1 修了後の外国での就労希望【研究群等別、男女別、全体 (%)】



### 問 34. 進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について

- ◎ 進路は、「自分の能力や適性」「年収」「安定した生活」を考えて決定。
- ◎ 「大学院での学修の活用」「大学院での研究の活用」を重視する割合は低い。
- ◎ 半数以上の大学院生が「ワーク・ライフ・バランス」を重視している。

進路選択の理由について、「就職活動を行った」「就職活動中」の者に限定して複数回答を求めたところ、全体では「自分の能力や適性」62.3%が最も多く、次いで「年収」61.9%、「安定した生活」60.8%、「ワーク・ライフ・バランス」53.9%があげられた。「ワーク・ライフ・バランス」については、前回調査から9ポイントを超えて上昇しており、働きやすさを重視することが定着していることがうかがえる。一方で「大学院での学修の活用」26.2%、「大学院での研究の活用」30.0%と、自分の専門分野を進路決定の理由とすることは少ない。

男女別に見ると、差が最も大きいのが「ワーク・ライフ・バランス」で、女性が働きやすさを男性よりも強く重視していることが明らかとなった。一方で「年収」は重視する男性の方が多い。

研究群別にみると、「自分の能力や適性」はいずれの研究群でも高い水準であるが、「年収」については、システム情報工学研究群が突出して高い。

表 7.3 進路決定の理由【研究群等別、男女別、全体】

	人文社会科学 研究群	数 理 物 質 科 学 研 究 群	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 群	生 命 地 球 科 学 研 究 群	人 間 総 合 科 学 研 究 群	グ ロ ー バ ル 教 育 院	男 性	女 性	全 体
集計母数※	52	108	202	225	232	3	495	327	822
やりがい	61.5%	52.8%	49.5%	50.2%	56.5%	66.7%	51.9%	54.4%	52.9%
社会的貢献	30.8%	41.7%	35.1%	44.9%	37.5%	33.3%	39.6%	38.2%	39.1%
年収	57.7%	58.3%	77.7%	58.7%	54.3%	33.3%	65.3%	56.9%	61.9%
安定した生活	48.1%	60.2%	63.9%	65.3%	57.3%	33.3%	60.8%	60.9%	60.8%
ワーク・ライフ・バランス	53.8%	56.5%	52.0%	56.0%	52.2%	66.7%	49.7%	60.2%	53.9%
自分の能力や適性	59.6%	63.0%	64.9%	60.4%	61.6%	100.0%	60.2%	65.4%	62.3%
専門知識を深める	30.8%	32.4%	33.7%	32.0%	37.1%	33.3%	33.7%	33.9%	33.8%
大学院での学修の活用	28.8%	25.0%	22.8%	27.6%	28.0%	0.0%	25.7%	26.9%	26.2%
大学院での研究の活用	28.8%	28.7%	31.2%	29.8%	29.7%	66.7%	30.9%	28.7%	30.0%
社会的評価	13.5%	25.9%	22.3%	20.0%	19.8%	0.0%	22.8%	17.7%	20.8%
将来性	44.2%	39.8%	48.5%	45.8%	37.1%	66.7%	44.2%	41.6%	43.2%
地理的利便性	21.2%	24.1%	31.2%	28.4%	17.7%	33.3%	25.3%	24.8%	25.1%
その他	0.0%	0.9%	2.0%	2.7%	1.3%	0.0%	1.8%	1.5%	1.7%

※集計母数は無回答を除く回答者数

### 問 35. 将来の進路への感じ方について

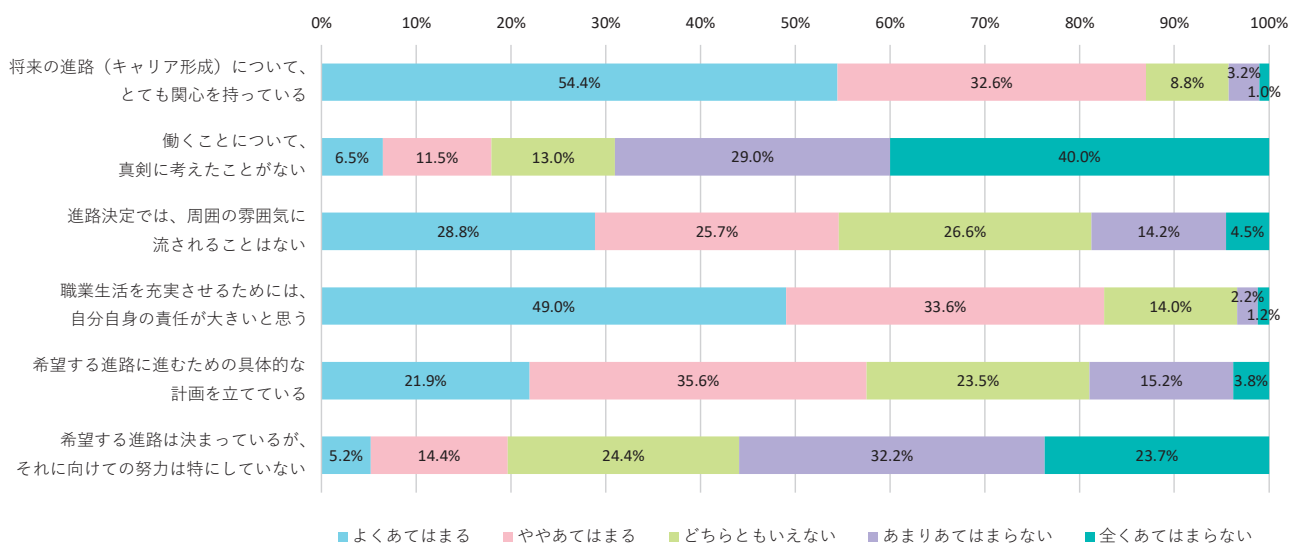
- ◎ 将来の進路について関心を持っている者は 87.0%。
- ◎ 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと感じている者は 82.6%。
- ◎ 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている者は 57.5%

「就職活動を行った」「就職活動中」の者に限定して、将来の進路についての感じ方を尋ねたところ、進路への関心程度については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 87.0%であった。働くことについて真剣に考えた経験についての肯定的な回答では、設問が反転項目のため「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計で 69.0%と、将来への関心の高さと比較して、働くことへの関心はやや低い結果となっている。

進路決定や職業生活に対する自立の程度を尋ねたところ、進路決定場面における自立度については「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は 54.5%であった。職業生活全体における自立度においては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は 82.6%であり、職業生活を充実させるためには自立が重要であると認識されていた。

進路を実現するための計画や実行の程度を尋ねたところ、計画の具体性については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 57.5%で、学群生よりも高い結果であった。

図 7.2 将来の進路についての感じ方【全体 (%)】





### 問 36. 就職活動に役立った情報源について

- ◎ 就職活動の情報源として最も役立ったのは、「就職情報サイト」「インターンシップ」。
- ◎ 修士課程相当の1年次では特に「インターンシップ」を重視。

就職活動に役立った情報源について、「就職活動を行った」「就職活動中」の者に限定して複数回答で尋ねた。最も高かったのは「就職情報サイト」48.3%、次いで「インターンシップ」42.3%、「ゼミの同輩・先輩」39.4%、「企業・自治体等のHP」33.4%が挙げられている。

修士課程相当1年次では、特に「インターンシップ」の割合が「就職情報サイト」とほぼ同程度であり、企業等と直に触れる機会を重視している傾向が見られた。

学群生に比べて「SNS」を情報源とする割合は低く、大学院生は企業・自治体等の公式な情報を重視していることが明らかとなった。

表 7.4 就職活動に役立った情報取得源【研究群等別、男女別、全体】

	人文社会科学 研究群	数 理 物 質 科 学 研 究 群	シ ス テ ム 情 報 工 学 研 究 群	生 命 地 球 科 学 研 究 群	人 間 総 合 科 学 研 究 群	グ ロ ー バ ル 教 育 院	男 性	女 性	全 体
集計母数※	52	108	202	225	232	3	495	327	751
指導教員	15.4%	21.3%	25.2%	25.3%	29.3%	33.3%	25.7%	24.8%	27.7%
学位プログラムなどの就職委員	7.7%	8.3%	10.4%	6.7%	11.6%	0.0%	8.3%	10.7%	10.1%
ゼミの同輩・先輩	28.8%	37.0%	42.6%	37.8%	30.2%	0.0%	38.4%	32.4%	39.4%
就職課	19.2%	16.7%	17.3%	13.3%	16.4%	0.0%	14.5%	18.0%	17.4%
就職課 HP	15.4%	18.5%	10.9%	13.8%	11.2%	0.0%	13.1%	12.8%	14.2%
学内の就職ガイダンス	13.5%	16.7%	14.4%	12.9%	10.8%	33.3%	13.3%	13.1%	14.5%
就職情報誌	7.7%	10.2%	6.9%	9.3%	8.6%	0.0%	9.1%	7.6%	9.3%
就職情報サイト	44.2%	50.0%	49.0%	49.8%	32.3%	0.0%	48.5%	37.6%	48.3%
学外の就職イベント	25.0%	25.0%	27.2%	34.2%	19.0%	0.0%	26.1%	26.6%	28.8%
企業・自治体等のHP	17.3%	33.3%	33.2%	36.0%	25.0%	0.0%	33.1%	26.6%	33.4%
インターンシップ	21.2%	38.9%	53.5%	39.1%	28.9%	66.7%	44.4%	30.0%	42.3%
OB・OG 訪問	9.6%	10.2%	12.9%	12.9%	10.8%	0.0%	11.5%	11.9%	12.8%
SNS	25.0%	13.9%	15.8%	16.0%	22.0%	66.7%	16.0%	21.4%	19.8%
その他	5.8%	13.9%	15.8%	16.0%	22.0%	66.7%	16.0%	21.4%	19.8%

※集計母数は無回答を除く回答者数

### 問 37. 進路決定の際の指導教員への相談について

- ◎ 全体では 35.0%が指導教員に相談。
- ◎ 人文社会科学研究群では 5 割近くが指導教員に相談。

「就職活動を行った」「就職活動中」の者に限定して、進路について指導教員にどの程度相談しているかを尋ねたところ、全体では、指導教員に「たびたび相談した」と「時々相談した」をあわせると 35.0%という結果となり、3分の1強の大学院生が指導教員に相談していることが明らかとなった。

研究群別に見ると、指導教員に相談している割合が高いのは、人文社会科学研究群 47.8%。一方で低いのは、システム情報工学研究群 30.8%であった。

「相談しようとしたが断られた」は、数理物質科学研究群、人間総合科学研究群でわずかに見られた。

表 7.5 進路決定の際の指導教員への相談【研究群等別、男女別、全体】

	人文社会科学研究群	数理物質科学研究群	システム情報工学研究群	生命地球科学研究群	人間総合科学研究群	グローバル教育院	男性	女性	全体
集計母数※	46	103	195	203	204	3	465	289	754
たびたび相談した	6.5%	5.8%	6.7%	8.4%	8.3%	0.0%	6.7%	8.7%	7.4%
時々相談した	41.3%	26.2%	24.1%	27.6%	28.4%	33.3%	28.0%	27.0%	27.6%
ほとんど相談していない	23.9%	26.2%	31.8%	27.6%	30.9%	0.0%	29.2%	28.7%	29.0%
相談はしていない	26.1%	40.8%	36.9%	32.5%	27.9%	66.7%	34.4%	31.5%	33.3%
相談しようとしたが断られた	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.6%	1.0%	0.8%
その他	2.2%	0.0%	0.5%	3.9%	2.0%	0.0%	1.1%	3.1%	1.9%

※集計母数は無回答を除く回答者数

### 問 38. 就職活動の学修・研究への影響について

◎ 46.2%が「学修・研究に支障あり」と回答。

学生の学修環境確保の観点から、数年前に、就職・採用活動時期の見直しが行われ、現在も支障が出ない時期の模索が続いているが、前回調査と同様に、就職活動によって学修・研究に支障が出ているか、対象を「就職活動を行った」「就職活動中」の者に限定して尋ねたところ、「支障がとてでもでている」11.3%、「支障が多少はでている」34.9%で、前回調査に比べ「支障が多少はでている」が3.6ポイント下がったが、「支障がとてでもでている」は2ポイント上昇し、合わせて46.2%の学生が学修や研究に支障があったと回答している。

研究群別に見ると、「支障がとてでもでている」「支障が多少はでている」とする割合が相対的に高いのが生命地球科学研究群の52.3%で、相対的に低いのは人文社会科学研究群32.6%であった。

男女別でみると、「支障がとてでもでている」「支障が多少はでている」とする割合が男性（48.4%）よりも女性（42.4%）の方が相対的に少なく、就職活動による影響を感じていない者が多かった。

表 7.6 就職活動の学修・研究への影響【研究群等別、男女別、全体】

	人文社会科学研究群	数理物質科学研究群	システム情報工学研究群	生命地球科学研究群	人間総合科学研究群	グローバル教育院	男性	女性	全体
集計母数※	46	103	195	203	204	3	465	289	754
支障は全くでていない	39.5%	16.7%	18.8%	22.3%	20.4%	0.0%	18.8%	24.7%	21.0%
支障はあまりでていない	27.9%	35.3%	38.0%	25.4%	34.6%	66.7%	32.8%	32.8%	32.8%
支障が多少はでている	25.6%	36.3%	35.9%	38.1%	31.9%	33.3%	35.7%	33.6%	34.9%
支障がとてでもでている	7.0%	11.8%	7.3%	14.2%	13.1%	0.0%	12.7%	8.9%	11.3%

※集計母数は無回答を除く回答者数

## 第8章 本学への期待や要望等について

### 問 39. 教員に最も期待することについて

- ◎ 多くの学生が、教員に対して「優れた研究者であってほしい」と望んでいる。
- ◎ 「研究指導時間の確保」や「解りやすい授業」を求める声も多かった。
- ◎ 自由記述には、「優れたリーダーであってほしい」という意見も寄せられた。

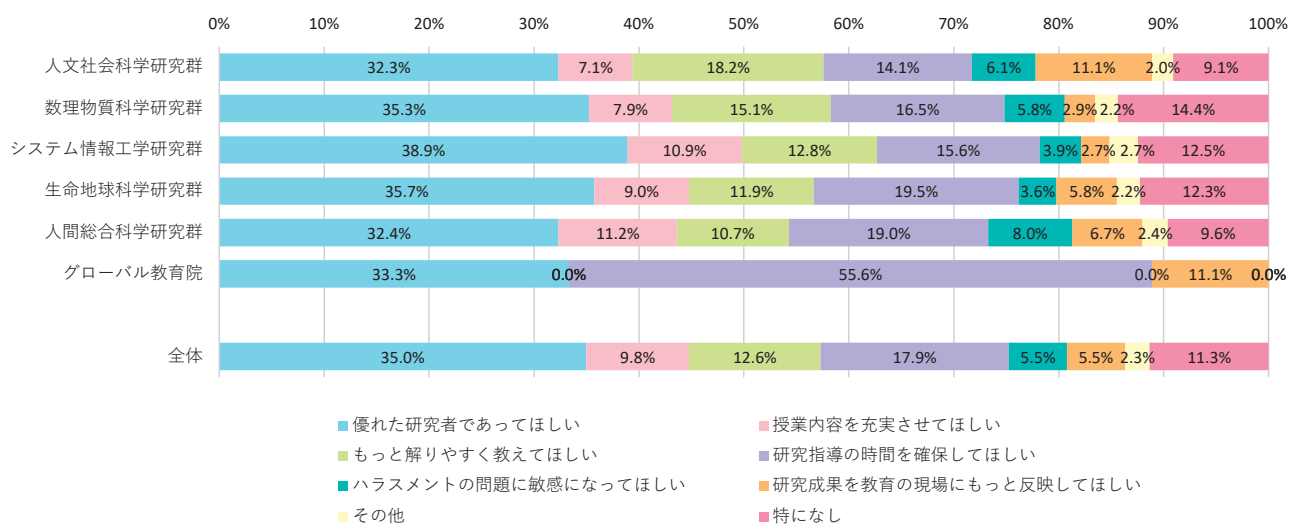
筑波大学の教員に最も期待することを、8つの選択肢から1つ選ぶ設問であり、「優れた研究者であってほしい」が35%で第1位、「研究指導の時間を確保してほしい」が17.9%で第2位、「もっと解りやすく教えてほしい」が12.6%で第3位となった。この傾向は前回調査とほぼ変わらなかった。

研究群別にみると、人文社会科学研究群は唯一、2位と3位の順位が入れ替わっており、また「研究成果を教育の現場にもっと反映してほしい」を選んだ学生の割合も、11.1%と全体平均の5.5%に比べて高かった。

「その他」を選んだ2.3%による自由記述には、「優れたリーダーであってほしい（研究室主宰者としての素質や人格の面で）」、「就活や部活動など研究以外の時間も学生の正式な活動として容認してほしい」という要望や、「学生を教員の研究テーマの実験補助者として扱うこと」を問題視する意見が寄せられた。

また「特になし」という11.3%の回答には、「何も期待していない」という否定的な意味と「すでに十分に期待に応えられている」という肯定的な意味の両方が含まれる可能性がある。実際に自由記述には、「現状でとても満足している」という意見もみられた。

図 8.1 教員に期待すること【研究群等別、全体 (%)】



## 問 40. 教育面や制度面で充実してほしい点について

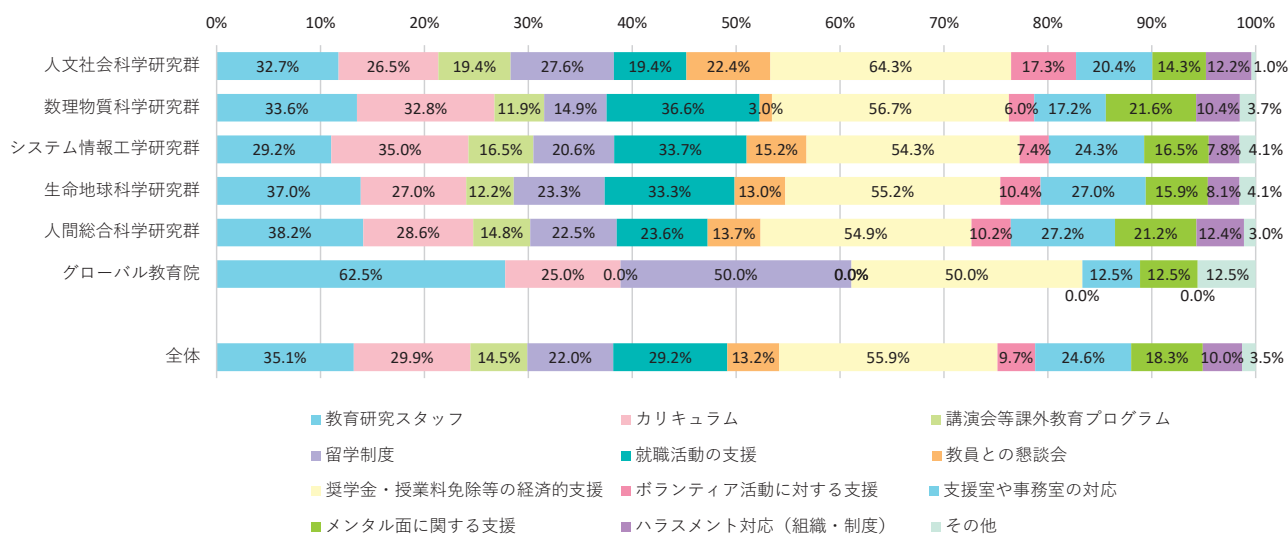
- ◎ 最多は「奨学金・授業料免除等の経済的支援」で、約 56%が選択。
- ◎ 自由記述では、事務手続きの簡素化や研究室間の交流を求める声が上がった。
- ◎ 留学生からは授業や事務手続きを英語で行ってほしいとの意見が寄せられた。

教育面や制度面で充実してほしい点について、12の選択肢からあてはまるものすべてを選ぶ設問である。唯一、過半数の55.9%が選択したのは、「奨学金・授業料免除等の経済的支援」で、前回調査でも59.9%と最多だった。次いで「教育研究スタッフ」35.1%、「カリキュラム」29.9%、「就職活動の支援」29.2%、「支援室や事務室の対応」24.6%と続き、この順位と割合も前回調査とほぼ同様である。

研究群別にみると、人文社会科学研究群では「奨学金・授業料免除等の経済的支援」が平均より10ポイント近く高く、理系分野に比べて経済支援の充実を求める声大きい。また同研究群では「ボランティア活動に対する支援」を選択した割合が17.3%と全体平均の9.7%を大きく上回っており、積極的なボランティア活動への取り組みがうかがえる。

なお「その他」の自由記述として、「各種事務手続きの簡素化」、「他研究室の交流」、「学生支援サイトの統合」を求める声や、「教員の過重労働による健康への影響」を心配する声も聞かれた。また留学生からは、「授業やセミナーの英語化」や「事務担当者の英語での対応」に関する意見が寄せられた。

図 8.2 教育面や制度面で充実してほしい点【研究群等別、全体 (%)】



## 問 41. 整備・充実してほしい施設等について

- ◎ ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）の改善の要望が増加。
- ◎ 図書館の整備・充実も課題。

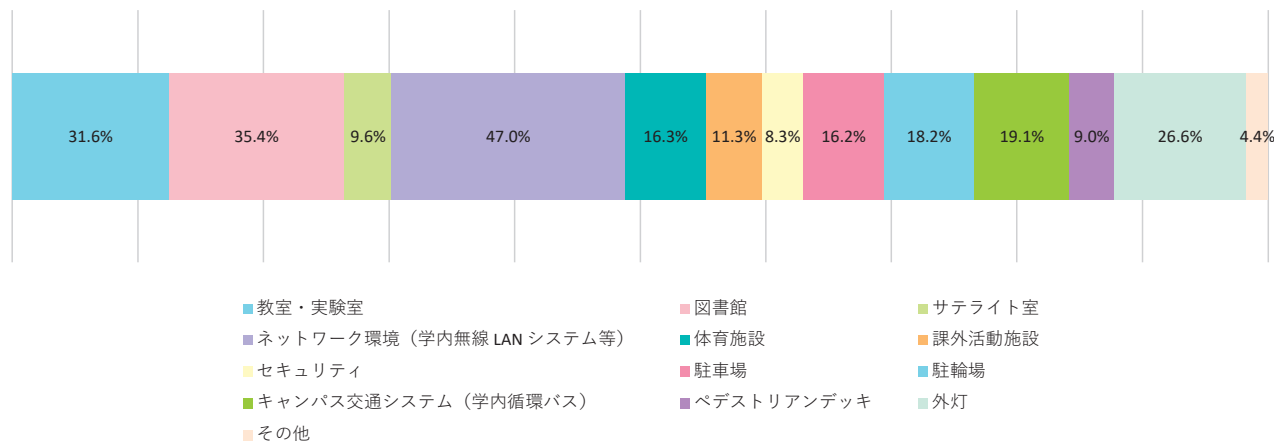
整備・充実してほしい施設等について、おおよそ前回調査と同じ項目で、選択数を制限せずに調査した。前回調査時の「IT 環境」の項目については、令和 2 年度以降授業のオンライン化に伴う影響が想定されることから、「サテライト室」「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」の 2 つに分けて質問をした。

最も要望が多かったのは「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」であり、前回調査（「IT 環境」）の 30% から 47% と大幅に上昇し、学群での回答内容とほぼ同じ傾向にある。学内の広い範囲で学内無線 LAN システムが設置されているものの、建物や教室によっては接続できない場所があるため、これらの整備をはかっていくことが必要である。

次に多かったのは「図書館」であり、図書館を比較的多く利用すると考えられる人文社会科学研究群の学生からの要望の割合が 5 割程度と高くなっている。また、学生が図書館でインターネットを利用して研究を行う点を考慮すると、図書館とネットワーク環境への要望には相関性があると考えられる。図書館とネットワーク環境への要望は、概して修士課程 2 年次や博士課程 3 年次の割合が高くなる傾向にあり、学位論文執筆時に利用機会が増えるものと思われる。

その他に要望が多かったものとしては、「教室・実験室」、「外灯」、「キャンパス交通システム」が挙げられる。「教室・実験室」に関しては、数理工学系研究群や生命地球科学研究群など、実験施設を使用する研究群からの要望が 4 割程度と高くなっている。「教室・実験室」「セキュリティ」「駐輪場」「ペDESTリアン」については、前回調査時よりも選択が少なくなっており、これらは施設が改善されたというよりも学生のキャンパスの利用頻度に影響があるものと想定される。

図 8.3 整備・充実してほしい施設等【全体（%）】



## 問 42. 学内の福利厚生施設の満足度について

- ◎ 不満の割合は減少したが、利用頻度が少なくなったことが想定される
- ◎ 学群と比較すると、大学院では食堂以外の施設やテイクアウトの利用頻度が高い

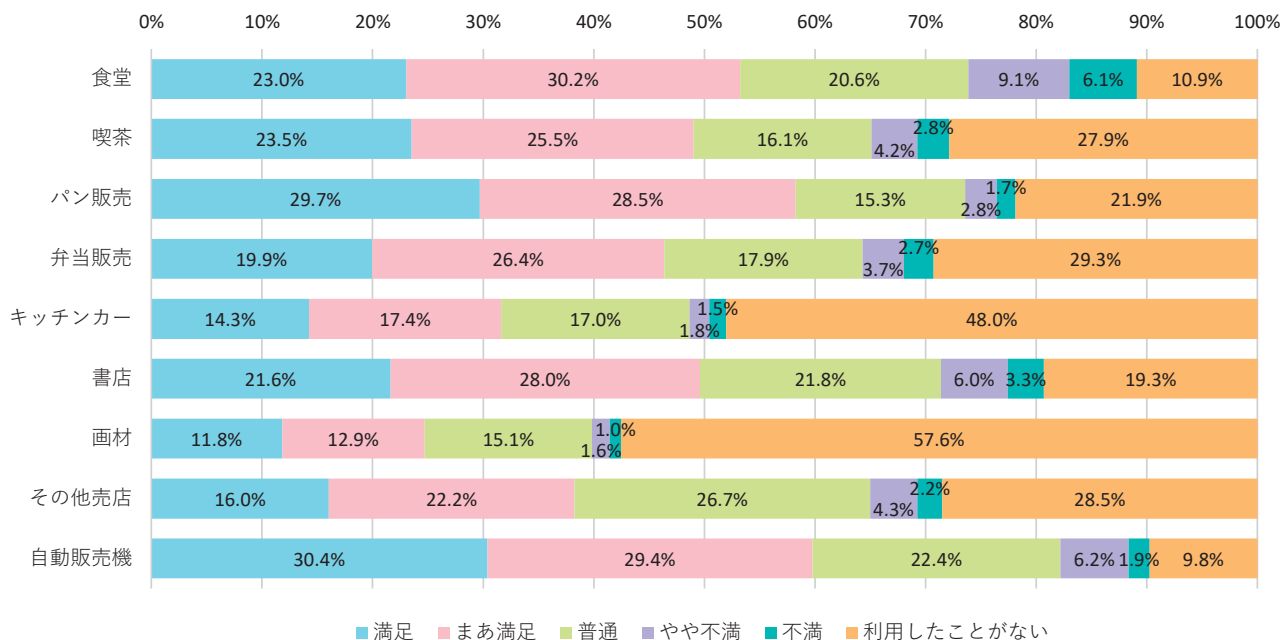
学内の福利厚生施設の満足度について、前回調査とおおよそ同様の項目で調査を行った。令和2年度以降の授業のオンライン化に伴い、福利厚生施設の利用頻度が少ない学生がいると想定されたことから、今回新たに回答項目として「利用したことがない」を追加した。

全体として「不満」「やや不満」と回答した学生の割合は2割未満であり、施設を利用する学生の多くはおおむね満足していると考えられる。「不満」の割合は、前回調査時よりも減少傾向にあり、特に「食堂」に関しては13.7%から6.1%に減少した。食事を提供する施設の中では、「パン販売」は「満足」「やや満足」を合わせると6割近くになり、満足度が高いことが読み取れる。これには、他の施設と比較した際に、パンの種類や価格、営業時間帯などの要因があるだろう。「自動販売機」も学内各所に設置されており、6割程度の学生が満足していることがうかがえる。また、「喫茶」「弁当販売」「その他売店」については、学群と比較すると利用者も多く満足度が10%程度高くなっており、大学院生は食堂以外の施設やテイクアウトの利用頻度が高いと想定される。

一方、「キッチンカー」に関しては、半数近くの学生が利用したことがないことがわかった。「画材」についても、6割程度の学生が「利用したことがない」と答えている。

今後、大学の授業形態が対面授業へと全面的に戻ることを考慮すると、昼食時などの混雑の解消に努め、適正な価格でサービスを提供することが望まれる。

図 8.4 福利厚生施設の満足度【全体 (%)】



## 問 43. 筑波大学への要望や提言等について

筑波大学への要望や提言について、(A) 制度等に関する要望、(B) 教職員に対する要望、(C) 施設に対する要望、(D) その他の4つの大項目に分けて尋ねた。自由記述には354名からの意見があり、以下はそれぞれの項目にあげられた意見等の概要である。

### A. 制度等に関する要望

#### A1. カリキュラム (39件)

授業の充実や科目の追加の要望がある一方で、修了要件となる単位数が多すぎる、研究時間の確保のために授業を減らしてほしいとの声が4件ほどあった。対面授業とオンライン授業の併用を望む声が5件、コンピタンス達成度制度に対する苦情が6件、英語による授業を望む声が4件などとなっている。

#### A2. 学生生活支援 (12件)

留学生支援（とくに英語による支援）の充実を求める声が3件あった。ハラスメントや外国人を差別するような言動があるとの指摘もあった。

#### A3. 経済支援 (48件)

経済支援の充実を求める声が多数にのぼった。その中では、授業料免除の基準を下げる（4件）、給付型の奨学金を増やす（3件）などの要望に加え、博士課程の学生、文系の大学院生、留学生、社会人など特定の層に対する支援を望む声がそれぞれ数件ずつあった。確実な周知方法や申請の簡略化を求める声も10件を超えた。

#### A4. キャリア・就職支援 (20件)

留学生向けの支援の充実を求める声が5件あった。インターンシップの充実、経験豊かな相談員の確保などを求める声もあった。

#### A5. その他 (7件)

ハラスメント委員会が機能していないとの指摘、留学生に対する特別な配慮を求める声などがあった。

### B. 教職員に対する要望

#### B1. 教員に対して (34件)

分野によって教員が少ないところがあるので、教員数をしっかり確保してほしいとの要望が9件あった。教員の業務を減らして、学生に対する指導や面談の時間を増やしてほしいとの声が11件、質のよい授業を実施してほしいとの要望が5件あった。ハラスメントに関する指摘も3件あった。

#### B2. 事務職員に対して (20件)

窓口対応に対する苦情、不愛想な職員がいるなどの指摘が11件あった。英語を話せる職員が必要との声が2件あった。

#### B3. その他 (2件)

情報発信は早めにとの要望などがあがった。

### C. 施設に対する要望

#### C1. 学修・研究環境 (26件)

オンライン面談用の部屋などを含めた自習スペースがほしいとの要望が5件、冷暖房に関する要望が3件、サテライト室に関する要望が3件などとなっている。また、トレーニング場の利用再開を求める声も3件あった。



## C2. ネットワーク環境 (46 件)

Wi-Fi がつながらない、ネットワーク環境を強化してほしいとの要望が 31 件、具体的な場所を挙げて強化を求める声が 10 件あった。さらに、Wi-Fi のアクセス方法の簡略化を求める声が 3 件あった。

## C3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba 等) (22 件)

TWINS、KdB、manaba の改善を求める声がそれぞれ 6 件、5 件、3 件ずつあがった。また、この 3 つのシステムを統一してほしいとの要望が 6 件あった。

## C4. 図書館 (47 件)

24 時間の開館を要望する 2 件を含め、開館時間の延長を望む声が 33 件にのぼった。蔵書、ジャーナル、DVD の充実を望む声が 5 件、オンライン会議に使える個室と空調の整備を望む声がそれぞれ 2 件ずつあった。

## C5. 宿舎 (29 件)

部屋が狭すぎるとの指摘、部屋の衛生面の向上、空調設備、一の矢宿舎の改善などを望む声がそれぞれ数件ずつあった。

## C6. 食堂・売店 (26 件)

営業時間の延長を望む声が 10 件、店舗の増加、価格の引き下げ、ハラル食に関する要望がそれぞれ 2 件ずつあった。

## C7. 駐輪場 (6 件)

駐輪場の増加、放置自転車の廃棄、屋根付き駐輪場の整備を求める声がそれぞれ 2 件ずつあった。

## C8. ペDESTリアンデッキ・道路等 (34 件)

道路の凸凹の補修を求める声が 8 件、ペDESTリアンデッキが自転車が多すぎて危険であるとの指摘が 4 件、ペDESTリアンデッキが滑りやすく危険との指摘が 3 件あった。また、外灯の整備を求める声が 8 件あった。

## C9. その他 (33 件)

駐車場の整備を訴える声が 9 件、スポーツ施設の整備を求める声が 3 件、お祈りのスペースを求める声が 3 件などとなっている。

## D. その他 (18 件)

循環バスに関する要望が 4 件、自転車マナーの向上を望む声が 2 件、今回の実態調査に関する注文が 2 件などとなっている。

【資料】

## 令和4年度筑波大学 学生生活実態調査（大学院）データ集計表＜全体＞

### I. あなた自身について

#### 1. 社会人経験

	回答数	回答率
1 社会人の経験がある	333	30.1%
2 社会人の経験はない	772	69.9%
合計	1,105	

#### 1-1-1. 職場の理解（複数選択）

	回答数	回答率
1 学費の負担も含め、全面的に得られている	26	17.9%
2 就学を支障のない程度に得られている	96	66.2%
3 職場の休職制度を利用	14	9.7%
4 職場の派遣制度を利用	3	2.1%
5 職場のその他の制度を利用	8	5.5%
6 職場には秘密にしている	2	1.4%
7 その他	7	4.8%
無効・無回答	3	
合計	159	

#### 1-1. 在職状況

	回答数	回答率
1 在職中	119	35.7%
2 休職中	26	7.8%
3 退・辞職し、現在、定職はない	148	44.4%
4 定職はなかった	23	6.9%
5 その他	17	5.1%
合計	333	

#### 2. 志望理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 研究領域に魅力がある	723	64.6%
2 教育内容が優れている	337	30.1%
3 希望する分野がある	683	61.0%
4 指導教員の資質・能力、指導体制が優れている	537	48.0%
5 研究室の雰囲気に魅力がある	303	27.1%
6 教育・研究施設が優れている	297	26.5%
7 幅広い専門が学べる	216	19.3%
8 学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している	277	24.8%
9 国立大学である	650	58.1%
10 留学生が多いなど国際性が高く、留学制度が充実している	289	25.8%
11 自然が豊かで開かれたキャンパスに魅力がある	213	19.0%
12 学生宿舎が充実している	85	7.6%
13 修了後の進路など就職に有利である	225	20.1%
14 修了年限の弾力的な運用がある	53	4.7%
15 親や指導教員などから勧められた	146	13.0%
16 自宅から通える	123	11.0%
17 資格などが取りやすい	37	3.3%
18 その他	35	3.1%
合計	5,229	

#### 3. 入学前

	回答数	回答率
1 筑波大学・大学院	376	38.1%
2 日本国内の他大学・大学院	315	27.5%
3 日本国外の大学・大学院	334	29.2%
合計	1,025	

## Ⅱ. 生活全般について

### 4. 家計支持者

	回答数	回答率
1 父	674	57.8%
2 母	511	43.8%
3 本人	489	41.9%
4 兄弟姉妹	16	1.4%
5 祖父母	19	1.6%
6 配偶者	66	5.7%
7 その他	91	7.8%
合計	1,866	

### 5. 生計支持者の年収（合計）

	回答数	回答率
1 300万円未満	353	32.1%
2 300万円～400万円未満	89	8.1%
3 400万円～500万円未満	67	6.1%
4 500万円～600万円未満	59	5.4%
5 600万円～700万円未満	43	3.9%
6 700万円～800万円未満	49	4.5%
7 800万円～900万円未満	44	4.0%
8 900万円～1000万円未満	40	3.6%
9 1000万円～1100万円未満	63	5.7%
10 1100万円～1200万円未満	17	1.5%
11 1200万円～1300万円未満	13	1.2%
12 1300万円以上	42	3.8%
13 分からない	219	19.9%
合計	1,098	

### 6. 大学に希望する経済支援（複数選択）

	回答数	回答率
1 給付型（返還義務なし）奨学金	748	64.0%
2 貸与型（返還義務あり）奨学金	103	8.8%
3 授業料免除	720	61.6%
4 一時貸付金	57	4.9%
5 その他	39	3.3%
6 特に希望しない	208	17.8%
合計	1,875	

#### 6-1. 一時貸付金の必要理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料のため	34	59.6%
2 生活費のため	42	73.7%
3 その他	8	14.0%
無効・無回答	1	1.1%
合計	85	

### 7. 1ヶ月の収入

	回答数	回答率
1 6万円未満	402	38.1%
2 6～9万円未満	189	18.0%
3 9～12万円未満	125	11.9%
4 12～15万円未満	96	9.1%
5 15～18万円未満	49	4.7%
6 18～25万円未満	102	9.7%
7 25～30万円未満	24	2.3%
8 30万円以上	65	6.2%
合計	1,052	

### 8. 収入源（複数選択）

	回答数	回答率
1 有職者としての給与	154	13.1%
2 奨学金	330	28.1%
3 仕送り	415	35.3%
4 筑波大学でのTA・TF（ティーティングアシスタント、ティーティングフェロー）	292	24.8%
5 筑波大学でのRA（リサーチ・アシスタント）	115	9.8%
6 指導教員から頼まれた学内でのアルバイト	85	7.2%
7 「4」～「6」以外の学内でのアルバイト	47	4.0%
8 他大学での非常勤講師	13	1.1%
9 民間会社の契約社員や派遣社員	14	1.2%
10 筑波大学以外での定常的なアルバイト	274	23.3%
11 筑波大学以外での不定期なアルバイト	139	11.8%
12 貯金	213	18.1%
13 借入金	12	1.0%
14 研究奨励費	76	6.5%
15 その他	37	3.1%
合計	2,216	

## 9. 1ヶ月の生活費・研究活動費

	回答数	回答率
1 充分である	228	19.6%
2 まあまあ足りている	397	34.1%
3 ぎりぎりである	389	33.4%
4 不足している	151	13.0%
合計	1,165	

### 9-1. 生活費・研究活動費で不足しているもの（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料が納入できない	64	42.4%
2 研究時間確保でアルバイトができない	84	55.6%
3 研究用資料・書籍が購入できない	54	35.8%
4 IT環境を整備できない	29	19.2%
5 学会・研究会などに行けない	35	23.2%
6 研究のための調査に行けない	39	25.8%
7 研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない	38	25.2%
8 その他	18	11.9%
無効・無回答	2	1.3%
合計	363	

## 10. アルバイトの種類（複数選択）

	回答数	回答率
1 家庭教師	43	8.6%
2 塾講師・添削指導	94	18.8%
3 一般事務	52	10.4%
4 特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）	78	15.6%
5 飲食店での業務	104	20.8%
6 飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）	107	21.4%
7 重労働（引っ越し・建築関係等）	21	4.2%
8 その他	107	21.4%
合計	606	

## 11. アルバイトを行う理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 学費のため	150	29.9%
2 生活費のため	409	81.5%
3 サークル活動費のため	36	7.2%
4 レジャー・海外旅行のため	158	31.5%
5 技術を得るため	119	23.7%
6 友人を得るため	38	7.6%
7 その他	39	7.8%
合計	949	

## 12. アルバイトの研究・学修への影響

	回答数	回答率
1 とても妨げになっている	61	11.7%
2 すこし妨げになっている	202	38.8%
3 あまり妨げになっていない	161	31.0%
4 全く妨げになっていない	96	18.5%
合計	520	

## 13. 現在の住まい

	回答数	回答率
1 学生宿舎	262	24.1%
2 民間のアパート・マンションなど	660	60.8%
3 親と同居	113	10.4%
4 親戚・知人宅	4	0.4%
5 その他	46	4.2%
合計	1,085	

### 13-1. 学生宿舎への入居

	回答数	回答率
1 希望する	62	7.5%
2 希望しない	732	88.9%
無効・無回答	6	3.6%
合計	800	

### 13-2. 現在の居住地

	回答数	回答率
A1 つくば市 天久保	239	29.0%
A2 つくば市 春日	166	20.2%
A3 つくば市 桜	62	8.3%
A4 つくば市 柴崎	2	0.2%
A5 つくば市 吾妻	9	1.1%
A6 (つくば市内) その他	108	13.1%
B1 茨城県南地域	32	3.9%
B2 茨城県西地域	7	0.9%
B3 (つくば市以外で茨城県内) その他	7	0.9%
C1 東京都	48	5.8%
C2 千葉県	39	4.7%
C3 埼玉県	19	2.3%
C4 (茨城県外で関東地方) その他	14	1.7%
D1 (その他の地域) その他	30	3.6%
無効・無回答	35	4.3%
合計	817	

### 13-3. ①学生宿舎の地区

		回答数	回答率
1	一の矢地区	128	48.9%
2	平砂地区	50	19.1%
3	追越地区	70	26.7%
4	春日地区	4	1.5%
無効・無回答		10	3.8%
合計		262	

### 13-3. ②居室のタイプ

		回答数	回答率
1	単身宿舎	183	69.8%
2	世帯宿舎	10	3.8%
3	二人室	28	10.7%
4	シェアハウス	34	13.0%
無効・無回答		7	2.7%
合計		262	

### 13-4. 学生宿舎満足度

		かなり満足		おおむね満足		どちらとも いえない		少し不満		かなり不満		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	料金	109	41.9%	74	28.5%	40	15.4%	31	11.9%	6	2.3%	2	0.7%
2	居室	92	35.4%	96	36.9%	42	16.2%	21	8.1%	9	3.5%	2	0.7%
3	補食室	62	23.8%	74	28.5%	78	30.0%	25	9.6%	21	8.1%	2	0.7%
4	宿舎設備	81	31.0%	74	28.4%	42	16.1%	45	17.2%	19	7.3%	1	0.3%
5	セキュリティ	123	46.9%	79	30.2%	40	15.3%	15	5.7%	5	1.9%	0	0.0%
6	ネットワーク環境	88	33.7%	86	33.0%	42	16.1%	31	11.9%	14	5.4%	1	0.3%
7	売店	54	20.8%	64	24.7%	91	35.1%	28	10.8%	22	8.5%	3	1.1%
8	管理事務所の対応	117	45.0%	94	36.2%	33	12.7%	13	5.0%	3	1.2%	2	0.7%
9	総合的に	52	20.0%	142	54.6%	43	16.5%	18	6.9%	5	1.9%	2	0.7%

### 14. 学生宿舎リニューアルに対する重視項目

		1番目に重視		2番目に重視		3番目に重視	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
a	賃料	320	36.8%	149	17.2%	131	15.3%
b	広さ	88	10.1%	177	20.4%	120	14.0%
c	個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）	319	36.7%	204	23.5%	127	14.8%
d	シェアハウス形式であること	5	0.6%	9	1.0%	10	1.2%
e	エアコン	49	5.6%	135	15.6%	178	20.7%
f	Wi-Fi環境	56	6.4%	139	1.6%	180	21.0%
g	セキュリティ	33	3.8%	54	6.2%	112	13.1%
合計		870		867		858	

### 15. A 平均的な1日の過ごし方

		平均時間
1	大学の授業の時間（対面）	1.1 時間 / 日
	大学の授業の時間（動画視聴）	1.6 時間 / 日
2	授業の予習・復習・課題を行う時間	1.5 時間 / 日
3	研究の時間	4.6 時間 / 日
4	授業と研究以外の自学自習のための時間	1.6 時間 / 日
5	睡眠時間	6.7 時間 / 日

### 15. B 平均的な1週間の過ごし方

		平均時間
1	大学の授業の時間（対面）	11.4 時間 / 日
	大学の授業の時間（動画視聴）	12.4 時間 / 日
2	授業の予習・復習・課題を行う時間	12.4 時間 / 日
3	研究の時間	25.4 時間 / 日
4	授業と研究以外の自学自習のための時間	13.2 時間 / 日
5	サークル・ボランティアなどの活動時間	11.9 時間 / 日
6	アルバイト・就業時間	21.5 時間 / 日

### 15. C 平均的な休日の過ごし方

		回答数	回答率
1	自宅で過ごす	936	83.3%
2	趣味・娯楽・買い物のため外出	752	66.9%
3	仕事・アルバイト	306	27.2%
4	部活動・サークル活動	111	9.9%
5	大学の授業	119	10.6%
6	大学の研究	643	57.2%
7	その他	54	4.8%
合計		2,921	

### 16. 日常生活満足度

		回答数	回答率
1	かなり満足	151	13.2%
2	おおむね満足	579	50.6%
3	どちらともいえない	271	23.7%
4	少し不満	106	9.3%
5	かなり不満	38	3.3%
合計		1,145	

### 17. 新型コロナウイルスが生活に及ぼしている影響

	とてもよい影響があった		よい影響があった		どちらともいえない		悪い影響があった		とても悪い影響があった		統計 回答数
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1 自身のキャリア形成や就職・進学	73	6.4%	170	15.0%	567	50.1%	233	20.6%	89	7.9%	1,132
2 家族関係や友人との関係	66	5.8%	106	9.4%	596	52.7%	273	24.2%	89	7.9%	1,130
3 自身のメンタルヘルスや健康状態	58	5.1%	112	9.9%	486	43.0%	337	29.8%	136	12.0%	1,129
4 アルバイト収入や家族の収入	33	3.0%	64	5.7%	618	55.3%	277	24.8%	125	11.2%	1,117
5 課外活動等	37	3.3%	44	3.9%	425	37.8%	366	32.6%	251	22.4%	1,123
6 余暇時間の過ごし方	70	6.2%	171	15.2%	386	34.3%	352	31.3%	147	13.1%	1,126

### Ⅲ. 通学・事故等について

#### 18. 通学手段（複数選択）

		雨天時		雨天以外	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	徒歩	634	54.3%	464	39.9%
2	自転車	386	33.1%	727	62.5%
3	バイク（原付を含む）	33	2.8%	39	3.4%
4	自家用車	203	17.4%	178	15.3%
5	キャンパス交通システム（学内循環バス）	317	27.2%	212	18.2%
6	学内循環バス以外の路線バス	75	6.4%	50	4.3%
7	つくばエクスプレス（TX）	141	12.1%	141	12.1%
8	JR 常磐線	13	1.1%	14	1.2%
9	それ以外の鉄道路線	55	4.7%	54	4.6%
10	その他	19	1.6%	19	1.6%
合計		1,876		1,898	

#### 19. 片道の通学時間（雨天以外）

		回答数	回答率
1	15分未満	579	50.9%
2	15分～30分未満	297	26.1%
3	30分～45分未満	71	6.2%
4	45分～1時間未満	33	2.9%
5	1時間～1時間半未満	44	3.9%
6	1時間半～2時間未満	55	4.8%
7	2時間以上	58	5.1%
合計		1,137	

#### 20. 学内循環バスの利用頻度

		回答率	回答数
1	ほぼ毎日	92	7.9%
2	週に2～3回	133	11.5%
3	月に2～3回	283	24.4%
4	年に数回	235	20.3%
5	いままでに数回	224	19.3%
6	利用したことはない	193	16.6%
合計		1,160	

#### Ⅳ. 健康状態について

##### 21. 健康状態（過去1年間）（複数選択）

		回答数	回答率
1	健康である	757	64.7%
2	健康不良で数日寝込んだ(受診・入院を除く)	302	25.8%
3	身体の病気で受診・入院した	172	14.7%
4	精神的な問題で受診・入院した	74	6.3%
5	心理的な問題で相談機関を利用した	77	6.6%
6	けがで受診・入院した	31	2.6%
7	その他	14	1.2%
合計		1,427	

##### 22. 悩みの原因（過去1年間）（複数選択）

		回答数	回答率
1	学業や研究の不振	605	52.4%
2	単位修得の問題	115	10.0%
3	大学院・研究群の学位プログラムまたは専攻の移籍	39	3.4%
4	休学・退学	49	4.2%
5	進路	413	35.8%
6	就職	428	37.1%
7	学業と仕事の両立	195	16.9%
8	友人との関係	166	14.4%
9	教員との関係	134	11.6%
10	研究室内の問題	143	12.4%
11	部活動・サークル内の問題	44	3.8%
12	恋愛関係	140	12.1%
13	家族関係	148	12.8%
14	自分の性格	215	18.6%
15	自分の精神的・心理的状态	400	34.7%
16	自分の身体的病気・けが等の状態	153	13.3%
17	経済状態	312	27.0%
18	ハラスメント	40	3.5%
19	その他	26	2.3%
20	特になし	135	11.7%
合計		3,900	

##### 23. 感じ方（過去1年間）

		とてもあてはまる		少しあてはまる		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	自分のやりたいことができている	353	30.8%	569	49.6%	191	16.7%	34	3.0%	29	2.4%
2	何となく不安になることがある	395	34.6%	499	43.7%	178	15.6%	70	6.1%	34	2.8%
3	自分のことをよくわかってきている人がいる	415	36.3%	438	38.3%	228	19.9%	63	5.5%	32	2.7%
4	何をやってもうまくいかない気がする	129	11.3%	339	29.7%	466	40.8%	209	18.3%	23	1.9%
5	気分が憂鬱である	127	11.1%	382	33.5%	390	34.2%	242	21.2%	35	2.9%
6	「死にたい」と思ったことがある	62	5.4%	138	12.1%	207	18.1%	736	64.4%	33	2.8%
7	大学生活が充実している	231	20.2%	570	50.0%	269	23.6%	71	6.2%	35	2.9%



## V. 相談相手・情報の得方について

### 24. 相談相手

	1 番目		2 番目		3 番目	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 家族	512	44.3%	237	21.0%	172	15.5%
2 恋人	184	15.9%	114	10.1%	35	3.2%
3 友人（学内）	146	12.6%	264	23.4%	201	18.1%
4 友人（学外）	206	17.8%	269	23.8%	188	17.0%
5 先輩・後輩（学内）	19	1.6%	58	5.1%	110	9.9%
6 先輩・後輩（学外）	13	1.1%	23	2.0%	53	4.8%
7 教員	15	1.3%	82	7.3%	159	14.3%
8 その他	10	0.9%	23	2.0%	27	2.4%
9 特にいない	50	4.3%	58	5.1%	164	14.8%
無効・無回答	21	1.7%	48	4.0%	67	5.6%
合計	1,176		1,176		918	

#### 24 - 1. 相談相手と話す機会

	頻繁にある		少しある		あまりない		ほとんどない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 1 番目の人とは	771	71.9%	248	23.1%	41	3.8%	13	1.2%	40	3.5%
2 2 番目の人とは	479	45.9%	436	41.8%	106	10.2%	23	2.2%	69	6.1%
3 3 番目の人とは	274	27.9%	424	43.2%	200	20.4%	83	8.5%	132	11.8%

### 25. 情報取得源（複数選択）

	回答数	回答率
1 教員	719	62.2%
2 事務職員	309	26.7%
3 友人等	704	60.9%
4 TWINS 掲示板	597	51.6%
5 manaba の掲示板	606	52.4%
6 Microsoft Teams	213	18.4%
7 大学の HP	411	35.6%
8 研究群・学位プログラムまたはせんこう等の HP	276	23.9%
9 学位プログラムまたは専攻等のメーリングリストまたはグループライン	243	21.0%
10 SNS（Twitter、Instagram 等）	166	14.4%
11 その他	27	2.3%
合計	4,271	

## 26. 相談機関

		利用したことがある		利用したことはないが、利用の仕方は知っている		利用したことはないが、存在は知っている		利用したことがなく、存在も知らない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	スチューデントプラザ総合相談窓口	148	13.2%	63	5.6%	509	45.4%	402	35.8%	54	4.5%
2	春日地区総合相談窓口	16	1.4%	39	3.5%	251	22.5%	809	72.6%	61	5.1%
3	学生相談室	96	8.6%	83	7.5%	594	53.3%	341	30.6%	62	5.2%
4	キャリア・就職相談	142	12.7%	95	8.5%	593	53.0%	288	25.8%	58	4.9%
5	相談室「あう」	7	0.6%	30	2.7%	226	20.2%	854	76.5%	59	5.0%
6	保健管理センター 1階 精神保健相談(精神科)	90	8.1%	102	9.2%	516	46.3%	406	36.4%	62	5.2%
7	保健管理センター 2階 健康相談(内科)	117	10.6%	113	10.2%	483	43.6%	394	35.6%	69	5.8%
8	LGBT等の相談窓口(DACセンターダイバーシティ部門)	4	0.4%	42	3.8%	383	34.4%	683	61.4%	64	5.4%
9	障害学生支援の相談窓口(DACセンターアクセシビリティ部門)	16	1.4%	44	4.0%	400	35.9%	653	58.7%	63	5.3%
10	留学生相談室	42	3.8%	87	7.8%	484	43.4%	501	45.0%	62	5.2%
11	ハラスメント相談センター	7	47.0%	47	4.2%	479	42.9%	584	52.3%	59	5.0%

## Ⅵ. 課外活動について

### 27. サークル活動

	回答数	回答率
1 正式メンバーで現在活動中	142	12.2%
2 コーチなどで現在活動中	20	1.7%
3 「1」「2」以外で現在活動中	61	5.3%
4 以前は活動していた	150	12.9%
5 活動したことはない	787	67.8%
合計	1,160	

### 27-1. サークル活動の動機（複数選択）

	回答数	回答率
1 友人がほしくて	187	50.1%
2 知識・教養のため	118	31.6%
3 健康のため	107	28.7%
4 技術向上のため	144	38.6%
5 団体活動を経験したい	108	29.0%
6 趣味と一致	195	52.3%
7 余暇の利用のため	118	31.6%
8 レクリエーションの一環で	71	19.0%
9 希望の進路と同じで有益	37	9.9%
10 就職などにプラス	29	7.8%
11 大学時代からの継続	100	26.8%
12 勧誘されて	36	9.7%
13 社会貢献のため	48	12.9%
14 その他	7	1.9%
無効・無回答	6	1.6%
合計	1,311	

### 28. 宗教団体等への参加勧誘

	ある		ない	
	回答数	回答率	回答数	回答率
1 大学院入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが	106	9.5%	1,005	90.5%
2 大学院入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが	272	24.5%	839	75.5%
3 大学院入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	167	15.1%	940	84.9%
4 大学院入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	296	26.7%	811	73.3%

### 29. ボランティア活動（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業やゼミを通じて参加したことがある	122	10.8%
2 つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある	24	2.1%
3 サークル活動を通じて参加したことがある	48	4.2%
4 その他の機会に参加したことがある	166	14.6%
5 参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	318	28.0%
6 ボランティア活動に参加する予定はない	543	47.9%
合計	1,221	

### 30. T-ACT の活動（複数選択）

		回答数	回答率
1	T-ACT で企画の発案者（プランナー）や運営者（オーガナイザー）を行ったことがある	13	1.2%
2	T-ACT の企画に参加者（パーティシパント）として関わったことがある	26	2.3%
3	T-ACT 主催のイベント（活動報告会やシンポジウムなど）に参加したことがある	17	1.5%
4	その他の機会でも T-ACT に関わったことがある	25	2.2%
5	参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	294	26.3%
6	T-ACT の活動に参加する予定はない	769	68.8%
合計		1,144	

### 31. 学外研修施設利用の有無

レイクロッジヤマナカ		回答数	回答率
1	ある	14	1.2%
2	ない	107	9.5%
3	存在を知らない	1,010	89.3%
合計		1,131	

ナミカゼ館山		回答数	回答率
1	ある	14	1.2%
2	ない	113	10.0%
3	存在を知らない	1,005	88.8%
合計		1,132	

## Ⅶ. 進路や就職活動について

### 32. 修了後の進路

	回答数	回答率
A1	筑波大学大学院	149 13.0%
A2	国内の他大学大学院	18 1.6%
A3	海外の大学院	33 2.9%
A4	研究員・研究生等（日本学術振興会・研究生）	43 3.7%
A5	（進学等）その他	2 0.2%
B1	（就職）企業	467 40.6%
B2	（就職）大学教員	70 6.1%
B3	（就職）研究員	68 5.9%
B4	（就職）小・中・高校の教員	34 3.0%
B5	（就職）公務員	47 4.1%
B6	（就職）自営・起業	7 0.6%
B7	（就職）その他	21 1.8%
C1	（復職）企業	19 1.7%
C2	（復職）大学教員	10 0.9%
C3	（復職）研究員	8 0.7%
C4	（復職）小・中・高校の教員	4 0.3%
C5	（復職）公務員	12 1.0%
C6	（復職）自営	0 0.0%
C7	（復職）その他	8 0.7%
D1	決まっていない	84 7.3%
D2	まだ考えていない	20 1.7%
D3	その他	25 2.2%
合計		1,149

### 33. 外国での就労希望度

	回答数	回答率
1	強くそう思う	191 16.6%
2	ややそう思う	347 30.1%
3	分からない	227 19.7%
4	あまりそう思わない	220 19.1%
5	全くそう思わない	167 14.5%
合計		1,152

### 34. 進路決定の理由（複数選択）

	回答数	回答率
1	やりがい	435 52.9%
2	社会的貢献	321 39.1%
3	年収	509 61.9%
4	安定した生活	500 60.8%
5	ワーク・ライフ・バランス	443 53.9%
6	自分の能力や適性	512 62.3%
7	専門知識を深める	278 33.8%
8	大学院での学修の活用	215 26.2%
9	大学院での研究の活用	247 30.0%
10	社会的評価	171 20.8%
11	将来性	355 43.2%
12	地理的利便性	206 25.1%
13	その他	14 1.7%
合計		4,206

### 35. 将来の進路についての感じ方

	よくあてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1	将来の進路（キャリア形成）について、とても関心を持っている	423	54.4%	253	32.6%	68	8.8%	25	3.2%	8	1.0%
2	働くことについて、真剣に考えたことがない	50	6.5%	89	11.5%	101	13.0%	225	29.0%	310	40.0%
3	進路決定では、周囲の雰囲気には流されることはない	223	28.8%	199	25.7%	206	26.6%	110	14.2%	35	4.5%
4	職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う	378	49.0%	259	33.6%	108	14.0%	17	2.2%	9	1.2%
5	希望する進路に進むための具体的な計画を立てている	169	21.9%	274	35.6%	181	23.5%	117	15.2%	29	3.8%
6	希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない	40	5.2%	111	14.4%	188	24.4%	248	32.2%	182	23.7%

### 36. 就職活動の情報源（複数選択）

	回答数	回答率
1 指導教員	208	27.7%
2 学位プログラムなどの就職委員	76	10.1%
3 ゼミの同輩・先輩	296	39.4%
4 就職課	131	17.4%
5 就職課 HP	107	14.2%
6 学内の就職ガイダンス	109	14.5%
7 就職情報誌	70	9.3%
8 就職情報サイト	363	48.3%
9 学外の就職イベント	216	28.8%
10 企業・自治体等の HP	251	33.4%
11 インターンシップ	318	42.3%
12 OB・OG 訪問	96	12.8%
13 SNS	149	19.8%
14 その他	38	19.8%
合計	2,428	

### 37. 指導教員への相談

	回答数	回答率
1 たびたび相談した	56	7.4%
2 時々相談した	208	27.6%
3 ほとんど相談していない	219	29.0%
4 相談はしていない	251	33.3%
5 相談しようとしたが断られた	6	0.8%
6 その他	14	1.9%
合計	754	

### 38. 就職活動の学修・研究への影響

	回答数	回答率
1 支障は全くでていない	153	21.0%
2 支障はほとんどでていない	239	32.8%
3 支障が多少はでている	254	34.9%
4 支障がととてもでている	82	11.3%
合計	728	

## Ⅷ. 本学への期待や要望等について

### 39. 教員に期待すること

		回答数	回答率
1	優れた研究者であってほしい	404	35.0%
2	授業内容を充実させてほしい	113	9.8%
3	もっと解りやすく教えてほしい	145	12.6%
4	研究指導の時間を確保してほしい	207	17.9%
5	ハラスメントの問題に敏感になってほしい	64	5.5%
6	研究成果を教育の現場にもっと反映してほしい	64	5.5%
7	その他	27	2.3%
8	特になし	131	11.3%
合計		1,155	

### 40. 教育面や制度面で充実してほしい点(複数選択)

		回答数	回答率
1	教育研究スタッフ	392	35.1%
2	カリキュラム	334	29.9%
3	講演会等課外教育プログラム	162	14.5%
4	留学制度	246	22.0%
5	就職活動の支援	326	29.2%
6	教員との懇談会	148	13.2%
7	奨学金・授業料免除等の経済的支援	624	55.9%
8	ボランティア活動に対する支援	108	9.7%
9	支援室や事務室の対応	275	24.6%
10	メンタル面に関する支援	204	18.3%
11	ハラスメント対応(組織・制度)	112	10.0%
12	その他	39	3.5%
合計		2,970	

### 41. 整備・充実してほしい施設等(複数選択)

		回答数	回答率
1	教室・実験室	350	31.6%
2	図書館	392	35.4%
3	サテライト室	106	9.6%
4	ネットワーク環境(学内無線LANシステム等)	521	47.0%
5	体育施設	181	16.3%
6	課外活動施設	125	11.3%
7	セキュリティ	92	8.3%
8	駐車場	180	16.2%
9	駐輪場	202	18.2%
10	キャンパス交通システム(学内循環バス)	212	19.1%
11	ペDESTリアンデッキ	100	9.0%
12	外灯	295	26.6%
13	その他	49	4.4%
合計		2,805	

### 42. 福利厚生施設満足度

		満足		まあ満足		普通		やや不満		不満		利用したこと がない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	食堂	260	23.0%	341	30.2%	233	20.6%	103	9.1%	69	6.1%	123	10.9%
2	喫茶	265	23.5%	287	25.5%	181	16.1%	47	4.2%	32	2.8%	314	27.9%
3	パン販売	335	29.7%	322	28.5%	173	15.3%	32	2.8%	19	1.7%	247	21.9%
4	弁当販売	224	19.9%	297	26.4%	201	17.9%	42	3.7%	30	2.7%	329	29.3%
5	キッチンカー	160	14.3%	195	17.4%	191	17.0%	20	1.8%	17	1.5%	539	48.0%
6	書店	243	21.6%	315	28.0%	245	21.8%	68	6.0%	37	3.3%	217	19.3%
7	画材	132	11.8%	144	12.9%	169	15.1%	18	1.6%	11	1.0%	643	57.6%
8	その他売店	179	16.0%	248	22.2%	298	26.7%	48	4.3%	25	2.2%	318	28.5%
9	自動販売機	339	30.4%	328	29.4%	250	22.4%	69	6.2%	21	1.9%	109	9.8%





# 東京地区





## 令和4年度 筑波大学学生生活実態調査（大学院生用）

\*\*\* お願い \*\*\*

この学生生活実態調査（以下「本調査」という）は、筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善に資することを目的として、全学生の皆様を対象として実施するものです。皆様のご意見を、これからの筑波大学での学生生活および教育をよりよいものにしていくための貴重な資料として活用させていただきたいと考えています。

本調査の結果が上記の目的以外に使用されることはありません。調査への回答は任意であり、回答内容や回答しないことで不利益を被ることはありません。なお、本調査は、学習管理システム manaba を利用して実施するため、大学はみなさんの個人情報を取得することになります。学籍番号については「筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善」のために、筑波大学が保有する他のデータと関連付けて分析する必要が生じた場合のみ使用されます。ただし、結果は統計的に処理され、あなたの個人的な情報が公にされることはありません。

本調査によって取得した個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」および「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則（平成17年法人規則第6号）」および「国立大学法人筑波大学におけるEU一般データ保護管理規則（GDPR）に基づくプライバシーポリシー（令和3年2月4日学長決定）」に基づき厳密に取り扱われます。

過去の調査にご協力いただいた結果をまとめた報告書は以下のページで公開されています。今回の調査も公開される予定です。

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

以上をご承諾いただける方は、以降の設問にご回答ください。

この調査の趣旨をご理解のうえ、多くの方のご協力をお願いいたします。

令和4年10月

筑波大学 副学長（学生担当） 太田 圭  
副学長（教育担当） 加藤 光保

\*\*\*\*\*

## 1. 記入の方法などについて

- ① 調査は、全部で27問です。（所要時間は25分程度です。）
- ② 回答は、番号・記号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものとがあります。  
選択方式の場合は、該当する番号・記号を選んでください。  
その他等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。
- ③ 設問で指定されていない限りは原則として令和4年10月1日現在で記入してください。
- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断する」のボタンを押してください。
- ⑤ アンケートページを前後する場合は、アンケートページ内の「前へ」「次へ」のボタンを使用し、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

## 2. 提出期間

令和4年10月3日（月）～令和4年10月31日（月）

3. ご質問・ご意見等の問い合わせ先（調査元：学生部 学生生活課 総務）

電 話：029-853-2298・2224

メール：[gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp)

## I. あなた自身について

問1. 社会人の経験はありますか

ある  ない

問1で「ある」を選択した方にお聞きします。

問1-1. 現在の在職状況について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  在職中
2.  休職中
3.  退・辞職し、現在、定職はない
4.  定職はなかった
5.  その他

問1-1で「1. 在職中」「2. 休職中」を選択した方にお聞きします。

問1-1-1. 筑波大学大学院に入学するにあたって職場の理解は得られていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学費の負担も含め、全面的に得られている
2.  就学に支障のない程度に得られている
3.  職場の休職制度を利用
4.  職場の派遣制度を利用
5.  職場のその他の制度を利用
6.  職場には秘密にしている
7.  その他

問2. 筑波大学大学院を志望した主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  研究領域に魅力がある
2.  教育内容が優れている
3.  希望する分野がある
4.  指導教員の資質・能力、指導体制が優れている
5.  研究室の雰囲気の魅力がある
6.  教育・研究施設が優れている
7.  幅広い専門が学べる
8.  学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している
9.  国立大学である
10.  修了後の進路など就職に有利である
11.  修了年限の弾力的な運用がある
12.  親や指導教員などから勧められた
13.  自宅から通える

14.  資格などが取りやすい

15.  その他

◎「15. その他」を選択した方は、具体的な理由を記入してください。

問3. あなたが筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  筑波大学・大学院
2.  日本国内の他大学・大学院
3.  日本国外の大学・大学院
4.  その他

問4. あなたの現在の住まいについて、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  自宅
2.  賃貸のアパート・マンションなど
3.  親と同居
4.  親戚・知人宅
5.  その他

問5. あなたの現在の居住地について、あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  東京都23区内
2.  東京都23区外
3.  千葉県
4.  埼玉県
5.  神奈川県
6.  その他

## Ⅱ. 生活全般について

問6. あなた、もしくは、あなたの家族の主たる家計支持者はどなたですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  あなた自身
2.  配偶者
3.  父親・母親
4.  両親以外の親族
5.  その他

◎「5. その他」を選択した方は、主たる家計支持者を記入してください。

問7. 大学に希望する経済支援は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  給付型（返還義務なし）奨学金
2.  貸与型（返還義務あり）奨学金
3.  授業料免除
4.  一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）
5.  その他
6.  特に希望しない

◎ 「5. その他」を選択した方は、希望する経済支援の具体例を記入してください。

**問7で「4. 一時貸付金」を選択した方にお聞きします。**

問7-1. 一時貸付金を希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  授業料のため
2.  生活費のため
3.  その他

問8. あなたの1ヶ月の平均的な収入の収入源はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  有職者としての給与
2.  奨学金
3.  仕送り
4.  他大学での非常勤講師
5.  民間会社の契約社員や派遣社員
6.  不定期のアルバイト
7.  借入金
8.  その他

◎ 「8. その他」を選択した方は、収入源を記入してください。

問9. 平均的な1ヶ月の生活費や研究活動費などは充分ですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  充分である
2.  まあまあ足りている
3.  ぎりぎりである
4.  不足している

**問9で「4. 不足している」を選択した方にお聞きします。**

問9-1. 生活費や研究活動費などで不足しているものは何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  授業料が納入できない
2.  研究時間確保でアルバイトができない
3.  研究用資料・書籍が購入できない
4.  IT環境を整備できない

- 5.  学会・研究会などに行けない
- 6.  研究のための調査に行けない
- 7.  研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない
- 8.  その他

◎「8. その他」を選択した方は、不足しているものの具体例を記入してください。

問10. 平均的な起床時刻と就寝時刻は何時頃ですか。それぞれについて、およその時刻を24時間制で記入してください。

- ① 起床時刻  時頃
- ② 就寝時刻  時頃

問11. 平日夜間の登校時に食事はいつとりますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  通学前
- 2.  在校中
- 3.  帰宅後
- 4.  とらない

問11で「2. 在校中」を選択した方にお聞きます。

問11-1. 在校中に食事をする場合は、どのようなものが多いですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  軽食を持参
- 2.  学内に設置の軽食用自販機を利用
- 3.  大学近辺の飲食店を利用
- 4.  その他

問12. 現在の生活に、全体として満足していますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  かなり満足
- 2.  おおむね満足
- 3.  どちらともいえない
- 4.  少し不満
- 5.  かなり不満

問13. 新型コロナウイルス感染症拡大下での様々な制限は、あなたの生活にどのような影響を及ぼしていますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 自身のキャリア形成
- 2. 家族関係や友人との関係
- 3. 自身のメンタルヘルスや健康状態
- 4. 自身の収入または家族の収入
- 5. 余暇時間の過ごし方

- a. とてもよい影響があった
- b. よい影響があった
- c. どちらとも言えない
- d. 悪い影響があった
- e. とても悪い影響があった

1  √    2  √    3  √    4  √    5  √

### Ⅲ. 通学等について

問14. あなたが1回の通学のために利用している交通手段はどのようなものですか。雨天および雨天以外の日それぞれについて、あてはまるものをすべて選択してください。

#### ① 雨天時

- 1.  徒歩
- 2.  自転車
- 3.  バス
- 4.  バイク（原付を含む）
- 5.  自家用車
- 6.  東京メトロ丸の内線
- 7.  6以外の鉄道路線
- 8.  その他

#### ② 雨天以外

- 1.  徒歩
- 2.  自転車
- 3.  バス
- 4.  バイク（原付を含む）
- 5.  自家用車
- 6.  東京メトロ丸の内線
- 7.  6以外の鉄道路線
- 8.  その他

問15. 雨天の日以外のあなたの通学時間は片道どのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  15分未満
- 2.  15分～30分未満
- 3.  30分～45分未満
- 4.  45分～1時間未満
- 5.  1時間～1時間半未満
- 6.  1時間半～2時間未満
- 7.  2時間以上



問16. 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘についてお尋ねします。以下の項目ごとに当てはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが
2. 大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが
3. 大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが
4. 大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが

a. ある

b. ない

1  2  3  4

## IV. 健康状態について

問17. あなたの過去1年間の健康状態について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  健康である
2.  健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）
3.  身体の病気で受診・入院した
4.  精神的な問題で受診・入院した
5.  心理的な問題で相談機関を利用した
6.  けがで受診・入院した
7.  その他

問18. あなたは過去1年間にどのようなことで困ったり悩んだりしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学業と仕事の両立
2.  学業や研究の不振
3.  単位修得の問題
4.  学術院・研究群の学位プログラムまたは専攻の移籍
5.  休学・退学
6.  友人との関係
7.  教員との関係
8.  研究室内の問題
9.  恋愛関係
10.  家族関係
11.  自分の性格
12.  自分の精神的・心理的状态
13.  自分の身体的病気・けが等の状態
14.  経済状態
15.  ハラスメント
16.  その他
17.  特にない

◎「16. その他」を選択した方は、その内容を具体的に記入してください。

問19. 次の事柄について、過去1年間のあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 自分のやりたいことができている
2. 何となく不安になることがある
3. 自分のことをよくわかってくれている人がいる
4. 何をやってもうまくいかない気がする
5. 気分が憂鬱である
6. 「死にたい」と思ったことがある
7. 大学生活が充実している

- a. とてもあてはまる
- b. 少しあてはまる
- c. あまりあてはまらない
- d. 全くあてはまらない

1  2  3  4  5  6   
7

## V. 相談相手・情報の取得方法について

問20. あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人はどなたですか。話したり相談しやすい順に3つまで選択してください。

1. 1番目に話したり相談しやすい人は
2. 2番目に話したり相談しやすい人は
3. 3番目に話したり相談しやすい人は

- a. 家族
- b. 職場の同僚
- c. 職場の上司
- d. 恋人
- e. 友人（学内）
- f. 友人（学外）
- g. 教員
- h. その他
- i. 特にない

1  2  3

問20で「a」～「h」を選択した方にお聞きします。

問20-1. 「問20」で話したり相談しやすいとして選んだ人たちとあなたが実際に話したり、相談をしたりする機会は普段どのくらいありますか。それぞれの人について、あてはまるアルファベットを選択してください。

1. 1番の人とは
2. 2番の人とは
3. 3番の人とは

- a. 頻繁にある
- b. 少しある
- c. あまりない
- d. ほとんどない

1  2  3

問2 1. 学修・研究や生活に関わる一般的な情報を得ようとするとき、主に誰にあるいはどこにアクセスしますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教員
2.  事務職員
3.  友人等
4.  TWINS 掲示板
5.  manaba の掲示板
6.  Microsoft Teams
7.  大学の HP
8.  研究群・学位プログラムまたは専攻等の HP
9.  学位プログラムまたは専攻等のメーリングリストまたはグループライン
10.  SNS (Twitter、Instagram 等)
11.  その他

問2 2. 学生生活を送る上でさまざまな問題が生じることがあります。そのためにどのような相談機関が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  健康に関する相談
2.  精神・保健に関する相談
3.  ワーク・ライフ・バランス相談
4.  その他何でも相談

## VI. 本学への期待や要望等について

問2 3. 筑波大学の教員に最も期待することはどのようなことですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  優れた研究者であってほしい
2.  授業内容を充実させてほしい
3.  もっと解りやすく教えてほしい
4.  研究指導の時間を確保してほしい
5.  ハラスメントの問題に敏感になってほしい
6.  研究成果を教育の現場にもっと反映してほしい
7.  その他

8.  特になし

◎ 「7. その他」を選択した方は、期待することを具体的に記入してください。

問24. 教育面や制度面で充実してほしいと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教育研究スタッフ
2.  カリキュラム
3.  留学制度
4.  教員との懇談会
5.  奨学金・授業料免除等の経済的支援
6.  ボランティア活動に対する支援
7.  支援室や事務室の対応
8.  メンタル面に関する支援
9.  ハラスメント対応（組織・制度）
10.  その他

◎ 「10. その他」を選択した方は、充実してほしい点を具体的に記入してください。

問25. キャンパス内の施設等で、特に整備・充実してほしいのはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教室・実験室
2.  図書館
3.  サテライト室
4.  ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）
5.  セキュリティ
6.  駐車場
7.  外灯
8.  その他

◎ 「8. その他」を選択した方は、整備・充実してほしい点を具体的に記入してください。

問26. 筑波大学の学外研修施設（レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山）を利用したことはありますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. レイクロッジヤマナカについて
2. ナミカゼ館山について

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことがない

c. 存在を知らない

1  2

問27. 筑波大学の大学院の教育・研究環境や学生生活全般に対する要望や提言等について、以下の分類表の該当する項目を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

**【分類表】**

- (A) 制度等に対する要望 (1. カリキュラム 2. 経済支援 3. その他)
- (B) 教職員に対する要望 (1. 教員に対して 2. 事務職員に対して 3. その他)
- (C) 施設に対する要望 (1. 研究環境 2. ネットワーク環境 3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba等) 4. 図書館 5. 売店 6. その他)
- (D) その他 (1. その他)

**【記述例】**

C 4. 開館時間を延長してほしい  
A 1. . . . .

**【記述欄】**

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

Survey for Student Life in the University of Tsukuba, 2022  
For Graduate Students

\*\*\* Please Read \*\*\*

The purposes of this Student Life Fact-Finding Survey (called "the survey" below) are to further improve student life at the University of Tsukuba and to support improvements in education. The survey is for all students throughout the university. We hope to use everyone's responses as a valuable resource for making student life and education at the University of Tsukuba even better in the future.

The results of the survey will not be used for any purpose other than those mentioned above. Whether to respond to the survey is your choice. You will not be penalized in any way for your answers or for not giving answers. Because the survey is conducted on the "manaba" study management system, the university will be able to access your personal information. Student registration numbers may be used, but only when necessary for analysis involving other information held by the university in order to further improve student life or improve education at the University of Tsukuba. The results will be statistically processed and none of your personal information will be made public.

Personal information obtained in the survey will be handled strictly in accordance with the law "Act on the Protection of Personal Information held by Administrative Organs" (Act No. 57 of 2003), the University's "Personal Information Protection Rules" (Corporation Regulations No. 6 of 2005), and the University's Privacy Policy (approved by the University's President on February 4, 2021) based on the EU's General Data Protection Regulation (GDPR).

Reports summarizing the results obtained from previous surveys can be found at the following web page. We intend to publish a similar report on this survey.

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

If the above is acceptable to you, please answer the questions below.

We hope that many of you will understand the intent of the survey and take part.

October 2022

Ota Kei, Vice President for Student Affairs, University of Tsukuba

Kato Mitsuyasu, Vice President for Education, University of Tsukuba

\*\*\*\*\*

1. Notes for filling out the survey:

- ① The survey has 44 questions in total. (Expected time: about 30 minutes)
- ② Some questions ask for selection of numbers, letters, or such and some ask for more detailed answers.  
When a selection is required, please select the applicable number, letter or such.  
When a written answer is required, please type in the designated box.
- ③ Except when specified otherwise in the questions, answers should describe your situation as of October 1, 2022.
- ④ If you like to save your entry in the middle of a questionnaire, click the ※1“中断する” box on the page of questionnaire.
- ⑤ If you like to move your page back and forth, click the ※2“前へ” or ※3“次へ” box on the page of questionnaire. Do not use the back function on an Internet browser.  
※1 “中断する” : quit ※2 “前へ” : forward ※3 “次へ” : backward

2. Submission period:  
October 3 (Monday) to October 31 (Monday), 2022
3. Please send any questions or feedback to the survey administrators (General Affairs Section, Division of Student Welfare, Department of Student Affairs).  
Tel. 029-853-2298 or 029-853-2224  
Email: gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp

## **I. About Yourself**

Q1. Have you experienced adult life outside academia?

- Yes       No

**If you selected "Yes" to Q1, answer Q1-1.**

Q1-1. What is your current employment status? Select only one answer.

1.  Employed
2.  On a leave of absence
3.  Left job/do not have a job
4.  Never been in employment
5.  Others

**If you selected 1 (employed) or 2 (on a leave of absence) in Q1-1, answer Q1-1-1.**

Q1-1-1. Has your employer been supportive of you coming to University of Tsukuba graduate school?

Select all answers that apply.

1.  Completely supportive, including paying college fees
2.  Supportive; they did not obstruct me
3.  I am using my employer's leave of absence system
4.  I am using my employer's secondment system
5.  I am using other systems from my employer
6.  I have not told anything to my employer
7.  Others

Q2. What are your main reasons for choosing the University of Tsukuba graduate school? Select all applicable answers.

1.  Reputation in the field of research
2.  Good teaching content
3.  Availability of the field I want to study
4.  Quality and ability of faculty advisors/good advisory system
5.  Attractive laboratory environment
6.  Good teaching and research facilities
7.  Wide choice of majors

8.  It is a national university
9.  Good systems of financial aid for tuition fees and living costs
10.  Good prospects for career and employment after course completion
11.  Flexible management of course length
12.  Recommended by a parent, faculty advisor, or such
13.  Convenient for commuting from home
14.  Easy to obtain credentials and certifications
15.  Other

◎ If you selected "15. Other", enter a specific reason(s).

---

**Q3. Were you registered at a university or graduate school before you joined the University of Tsukuba graduate school? Select only one answer.**

1.  A University of Tsukuba school or graduate school
2.  Another university or graduate school in Japan
3.  A university or graduate school outside Japan
4.  Other

**Q4. Where are you currently living? Select only one answer.**

1.  My own home
2.  Rented apartment or similar
3.  With parents
4.  A relative or acquaintance's home
5.  Others

**Q5. Which area do you currently live in? Select only one answer.**

1.  Metropolitan Tokyo (the 23 wards)
2.  Tokyo Metropolis (outside the 23 wards)
3.  Chiba Prefecture
4.  Saitama Prefecture
5.  Kanagawa Prefecture
6.  Others

## **II. General Lifestyle**

**Q6. Who is the main money-earner in your household? Select only one answer.**

1.  Myself
2.  Spouse
3.  Mother or father
4.  Relative other than parents



5.  Others

⊙ If you selected 5 (Others) in Q6, specify the main earner.

---

**Q7. What kind of financial support would you request to the University? Select all answers that apply.**

1.  Grant type (no repayment required) scholarships
2.  Student loans (repayment required)
3.  Tuition fee exemptions
4.  Short-term loans
5.  Others
6.  None in particular

⊙ If you selected 5 (Others) in Q7, specify examples of the financial support you would like to receive.

---

**If you selected 4 (short-term loans) in Q7, answer Q7-1.**

**Q7-1. What should the short-term loans be for? Select all answers that apply.**

1.  Tuition fees
2.  Living costs
3.  Others

**Q8. What is your main source of income in a typical month? Select all answers that apply.**

1.  Salary from employment
2.  Scholarship
3.  Remittances
4.  Part-time teaching at another university
5.  Contract work or agency work for a private company
6.  Irregular part-time work
7.  Loans
8.  Others

⊙ If you selected 8 (Others) in Q8, specify your main source of income.

---

**Q9. Is your income enough for your living costs and research expenses in a typical month? Select only one answer.**

1.  More than enough
2.  Enough
3.  Just enough
4.  Not enough

**If you selected 4 (not enough) in Q9, answer Q9-1.**

Q9-1. Which of your living costs, research expenses, etc. can you not afford? Select all answers that apply.

1.  I cannot afford tuition fees
2.  Because I need time for research, I cannot do part-time work
3.  I cannot afford research materials or books
4.  I cannot afford computer equipment
5.  I cannot participate in an academic society or research society
6.  I cannot conduct surveys for research
7.  I cannot afford fees for submission, reviewing and publication of academic papers
8.  Others

⊙ If you selected 8 (Others) in Q9-1, give specific examples of what you are lacking.

\_\_\_\_\_

Q10. When do you wake up and go to sleep? Enter approximate times using the 24-hour clock.

- ① Wake up                    \_\_\_\_\_ : 00
- ② Go to sleep                \_\_\_\_\_ : 00

Q11. If attending the lectures or the research meetings of the University on a weekday evening, when do you eat your evening meal? Select only one answer.

1.  Before going to the University
2.  At the University
3.  After returning home
4.  No evening meal

**If you selected 2 (at the University) in Q11, answer Q11-1.**

Q11-1. When eating your evening meal at the University, what do you usually do? Select all answers that apply.

1.  Carry in a light meal
2.  Buy from a food vending machine on campus
3.  Go to a restaurant near the University
4.  Others

Q12. Are you satisfied with your daily life in general? Select only one answer.

1.  Very satisfied
2.  Fairly satisfied
3.  Neutral
4.  Fairly dissatisfied
5.  Very dissatisfied

Q13. How have the various restrictions associated with the COVID-19 pandemic affected your life?

Select one letter for each category.

1. Career plan
2. Relationships with families and friends
3. Mental or physical health
4. My income or family income
5. How I spend free time

- a. Very positive effect
- b. Some positive effect
- c. Neutral
- d. Some negative effect
- e. Very negative effect

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

### **III. Daily Commuting**

Q14. How do you commute between home and the University? Select all answers for both wet days and dry days.

① **Wet days**

1.  Walking
2.  Bicycle
3.  Public bus
4.  Motorbike (including scooters)
5.  Private car
6.  Tokyo Metro Marunouchi line
7.  Rail lines other than 6
8.  Others

② **Dry days**

1.  Walking
2.  Bicycle
3.  Public bus
4.  Motorbike (including scooters)
5.  Private car
6.  Tokyo Metro Marunouchi line
7.  Rail lines other than 6
8.  Others

Q15. How long does your commute take (for one way) usually except wet days? Select only one answer.

1.  Less than 15 minutes
2.  15–29 minutes
3.  30–44 minutes
4.  45–59 minutes
5.  60–89 minutes
6.  90–119 minutes
7.  More than two hours

**Q16. Have you been solicited to attend a religious group, a self-improvement seminar or similar? Select only one answer for each category.**

1. Since joining the University, I have been solicited on campus
2. Since joining the University, I have been solicited off campus
3. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited on campus
4. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited off campus

- a. Yes
- b. No

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

## **IV. Health**

**Q17. How has your health been in the past one year? Select all answers that apply.**

1.  Good health
2.  Stayed at home for some days due to an illness
3.  Was examined or stayed in hospital due to a physical illness
4.  Was examined or stayed in hospital due to a mental problem
5.  Used a counseling service for a psychological problem
6.  Was examined or stayed in hospital due to injury
7.  Others

**Q18. What kinds of problems have you experienced in the past one year? Select all answers that apply.**

1.  Work-study balance
2.  Lack of progress in study or research
3.  A problem with academic credits
4.  Transferring to a different graduate school or program
5.  Leave of absence or leaving university
6.  Relationships with friends
7.  Relationships with faculty
8.  Problems in the laboratory
9.  Romantic relationships

- 10.  Family relationships
- 11.  Personal character
- 12.  Personal mental or psychological condition
- 13.  Personal physical condition such as illness or injury
- 14.  Money problems
- 15.  Harassment
- 16.  Others
- 17.  Nothing particular

Ⓒ If you selected 16 (Others) in Q18, enter details.

---

**Q19. How well do these statements match how you have felt over the past one year? Select only one answer for each statement.**

- 1. I can do what I want to do
  - 2. I have some worries
  - 3. There are people here who understand me
  - 4. Nothing I do goes well
  - 5. I feel depressed
  - 6. I have wanted to die
  - 7. My university life is fulfilling
- a. Definitely
  - b. Fairly
  - c. Not really
  - d. Not at all

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_

## **V. Availability of Advice and Information**

**Q20-1. Who do you talk to about important matters and seek advice from? Select up to three answers, starting with the person who is easiest to approach.**

- 1. Easiest to approach
  - 2. Second easiest
  - 3. Third easiest
- a. Family member
  - b. Colleagues at work
  - c. Managers at work
  - d. Romantic partner
  - e. Friend (in the University)

- f. Friend (outside the University)
- g. Faculty member
- h. Others
- i. Nobody in particular

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**If you selected a to h in Q20-1, answer Q20-2.**

**Q20-2. How often can you talk to the people you identified in Q20-1 (including telephone and email)?**

**Select only one answer for each person.**

- 1. The easiest to approach
- 2. The second easiest
- 3. The third easiest

- a. Often
- b. Sometimes
- c. Occasionally
- d. Almost never

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**Q21. When you want to find general information about study or university life, to who/where do you usually go? Select all applicable answers.**

- 1.  Faculty
- 2.  Admin staff
- 3.  Friends, etc.
- 4.  The TWINS message board
- 5.  The manaba message board
- 6.  Microsoft Teams
- 7.  The university website
- 8.  Website for your research program, degree program, major, etc.
- 9.  Email group or group chat for your degree program, major, etc.
- 10.  Social media (Twitter, Instagram, etc.)
- 11.  Other

**Q22. What advice services do you think are needed to deal with the problems that arise in student life?**

**Select all answers that apply.**

- 1.  Advice on health
- 2.  Advice on mental health and wellness
- 3.  Advice on work-life balance
- 4.  Advice on other matters

## **VI. Your Hopes and Expectations of the University of Tsukuba**

Q23. What is your main desire for the University's faculty? Select only one answer.

1.  To be excellent researchers
2.  Well-prepared lecture content
3.  Teaching that is easy to understand
4.  To make time for supervision
5.  Sensitivity to harassment issues
6.  To incorporate their research findings into teaching
7.  Others
8.  Nothing particular

◎ If you selected 7 (Others) in Q23, specify what you desire.

---

Q24. What factors would you like to see improved in our education or educational systems? Select all answers that apply.

1.  Teaching and research staff
2.  Curriculum
3.  The study abroad system
4.  Venues for informal interaction with faculty
5.  Financial support such as scholarships and tuition fee exemptions
6.  Support for volunteer activities
7.  Improvements in support services and administration
8.  Support for mental health
9.  Anti-harassment measures (organizations and processes)
10.  Others

◎ If you selected 10 (Others) in Q24, specify what you hope to be improved.

---

Q25. Which campus facilities particularly need to be expanded or improved? Select all applicable answers.

1.  Teaching rooms and laboratories
2.  Library
3.  Satellite computer rooms
4.  Network environment (campus wireless LAN system, etc.)
5.  Security
6.  Parking
7.  Outside lighting
8.  Other

© If you selected "8. Other", enter specific details of what you want to see expanded or improved.

---

Q26. Have you used the university's off-campus training facilities (Lake Lodge Yamanaka and Nami Kaze Tateyama)? Select one answer for each.

1. Lake Lodge Yamanaka
2. Nami Kaze Tateyama

- a. I have used it
- b. I have not used it
- c. I don't know anything about it

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_

Q27. If you have any requests or suggestions about teaching or student life in general at the University of Tsukuba, enter a letter and number from the following list of categories and a specific comment. You can make more than one comment.

**[List of categories]**

- (A) Systems: 1. Curriculum, 2. Financial aid, 3. Other
- (B) Faculty: 1. Teaching faculty, 2. Administrative staff, 3. Other
- (C) Facilities: 1. Research environment, 2. Network environment,  
3. Study systems (TWINS, KdB, manaba, etc.), 4. Library,  
5. Cafeterias and shops, 6. Other
- (D) Other: 1. Anything else

**[Comment example]**

**C4. Opening times should be longer.**

**A1. ...**

---

This is the end of the survey. Thank you very much for your assistance.



## 筑波大学学生生活実態調査(大学院 東京地区) 回答率について

回答率については、ビジネス科学研究群が17.5%、人間総合科学研究群が7.1%、全体の回答率が11.6%であった。前回の調査では、ビジネス科学研究群19.5%、人間総合科学研究群33.0%、全体23.2%であったことから、全体の回答率は前回の調査よりも大幅に下がってしまった。回答率向上のために周知方法等を改善していく必要がある。

令和4年度 筑波大学学生生活実態調査(大学院 東京地区) 回答率

課程		研究科	ビジネス科学研究群	人間総合科学研究群	合計
(令和四年九月一日現在) 在籍学生数	修士課程	修士課程1年次	113	82	195
		博士前期課程1年次			
		専門職学位課程1年次			
	修士課程	修士課程2年次	152	89	241
		博士前期課程2年次			
		専門職学位課程2年次			
	修士課程	専門職学位課程3年次	39	0	39
		小計	304	171	475
		博士課程	博士後期課程1年次	21	104
	3年生博士課程1年次		17	104	121
	博士後期課程2年次				
	3年生博士課程2年次		19	85	104
	博士後期課程3年次				
	3年生博士課程3年次	57	293	350	
合計		361	464	825	
回収票数	修士課程	修士課程1年次	12	18	30
		博士前期課程1年次			
		専門職学位課程1年次			
	修士課程	修士課程2年次	10	11	21
		博士前期課程2年次			
		専門職学位課程2年次			
	修士課程	専門職学位課程3年次	0	0	0
		小計	22	29	51
		博士課程	博士後期課程1年次	14	2
	3年生博士課程1年次		15	2	17
	博士後期課程2年次				
	3年生博士課程2年次		12	0	12
	博士後期課程3年次				
	3年生博士課程3年次	41	4	45	
合計		63	33	96	
回収率	修士課程	修士課程1年次	10.6%	22.0%	15.4%
		博士前期課程1年次			
		専門職学位課程1年次			
	修士課程	修士課程2年次	6.6%	12.4%	8.7%
		博士前期課程2年次			
		専門職学位課程2年次			
	修士課程	専門職学位課程3年次	0.0%	0.0%	0.0%
		小計	7.2%	17.0%	10.7%
		博士課程	博士後期課程1年次	66.7%	1.9%
	3年生博士課程1年次		88.2%	1.9%	14.0%
	博士後期課程2年次				
	3年生博士課程2年次		63.2%	0.0%	11.5%
	博士後期課程3年次				
	3年生博士課程3年次	71.9%	1.4%	12.9%	
合計		17.5%	7.1%	11.6%	

# 第1章 あなた自身について

## 問1. 社会人の経験について

- ◎ 東京地区では全員が社会人の経験あり。
- ◎ 全体の約8割の学生が、職場の理解を得て大学院に在籍している。

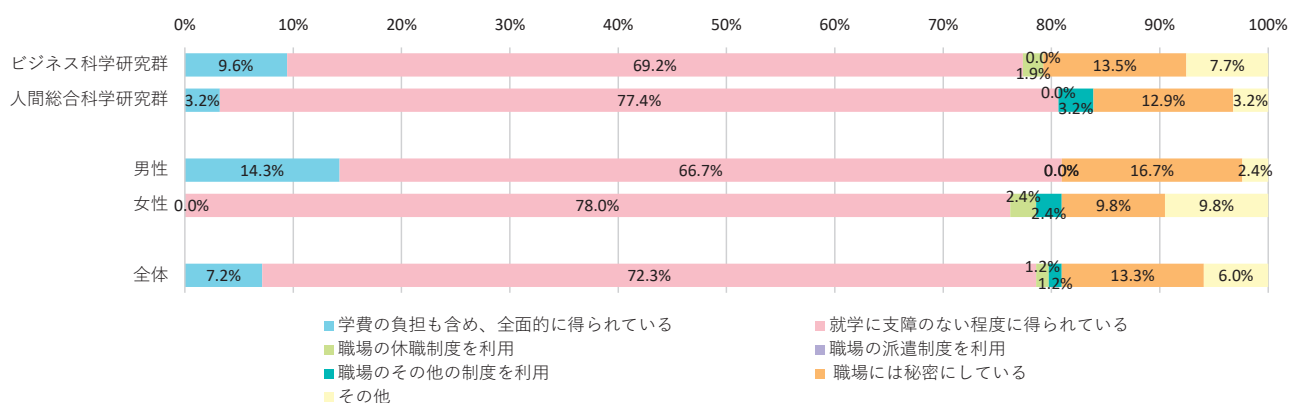
「社会人の経験はありますか」の問いに対して、全員が「ある」の回答であった。東京キャンパスは、社会人を対象とした夜間開講制の大学院であるため、当然の結果と言える。また現在の在職状況について尋ねたところ、「在職中」が93.2%と大多数を占め、「退・辞職し、現在、定職はない」が4.5%、「休職中」と「定職はなかった」がともに1.1%だった。

現在、在職中または休職中と回答した学生に対して、本学入学に関して職場の理解が得られているか尋ねたところ、「就学に支障のない程度に得られている」が72.3%と突出して多く、「学費の負担も含め、全面的に得られている」の7.2%を合わせると、8割の学生は職場の理解を得て大学院に入学していることが分かる。一方で、13.3%が「職場には秘密にしている」と回答しており、その男女別の割合は、男性16.7%、女性9.8%とやや男性が多かった。なお、以上の集計結果を5年前の前回調査と比べると、職場の理解に関して、「就学に支障のない程度に得られている」が10ポイントほど上昇しており、その他の傾向はほぼ同様であった。

表 1.1 社会人経験の有無【研究群別、男女別、全体】

	回答数	社会人経験はない		社会人経験がある		在職中		休職中		退・辞職し、現在、定職はない		定職はなかった		その他		無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
ビジネス科学研究群	57	0	0.0%	57	100.0%	51	89.5%	1	1.8%	4	7.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
人間総合科学研究群	31	0	0.0%	31	100.0%	31	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
男性	46	0	0.0%	46	100.0%	42	91.3%	0	0.0%	4	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
女性	42	0	0.0%	42	100.0%	40	95.2%	1	2.4%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
全体	88	0	0.0%	46	100.0%	42	93.2%	1	1.1%	4	4.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%

図 1.1 職場の理解【研究群別、男女別、全体 (%)】



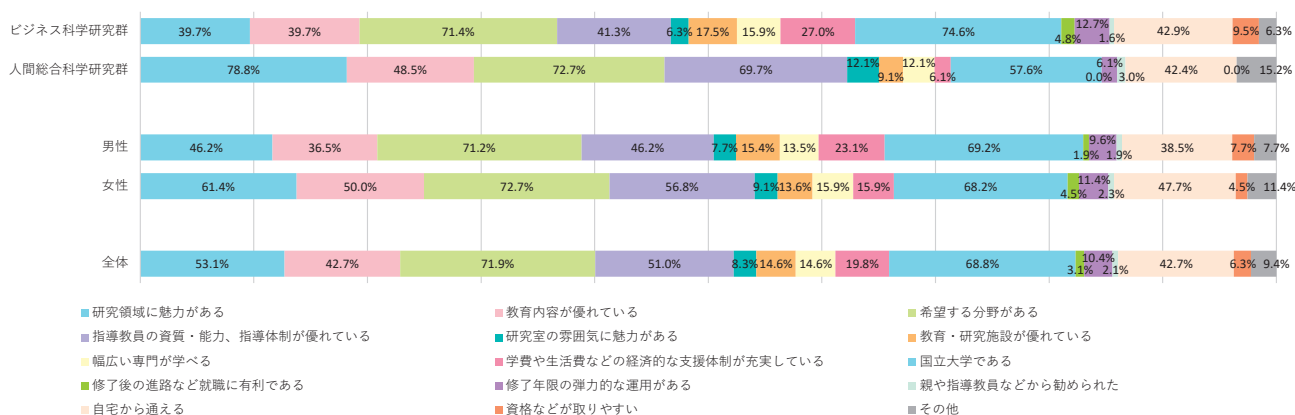
## 問2. 筑波大学大学院を志望した主な理由について

◎ 約7割が「希望する分野がある」と「国立大学である」を選択。

筑波大学大学院を志望した理由について、15の選択肢からあてはまるものすべてを選んでもらった。過半数が志望理由として挙げたのが、「希望する分野がある」71.9%、「国立大学である」68.8%、「研究領域に魅力がある」53.1%、「指導教員の資質・能力、指導体制が優れている」51.0%であり、次いで「教育内容が優れている」と「自宅から通える」が同率（42.7%）で並んだ。他にも、「学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している」19.8%、「教育・研究施設が優れている」14.6%、「幅広い専門が学べる」14.6%が比較的多く挙げられた。研究群別、学年別、男女別で比較しても大きな差はみられなかった。

なお今回の調査から同様の質問を学群生に対しても行っており、こちらの志望理由の上位は「国立大学である」87%、「希望する分野がある」64.3%、「幅広い専門が学べる」の41.4%となった。以上の結果から、大学院生は主に「研究環境（テーマ・指導者・施設など）」に魅力を感じて本学に進学したのに対し、学群生は「幅広い専門分野を学べる国立大学」として、本学を選択している傾向がみえてきた。

図 1.2 志望理由【研究群別、男女別、全体 (%)】



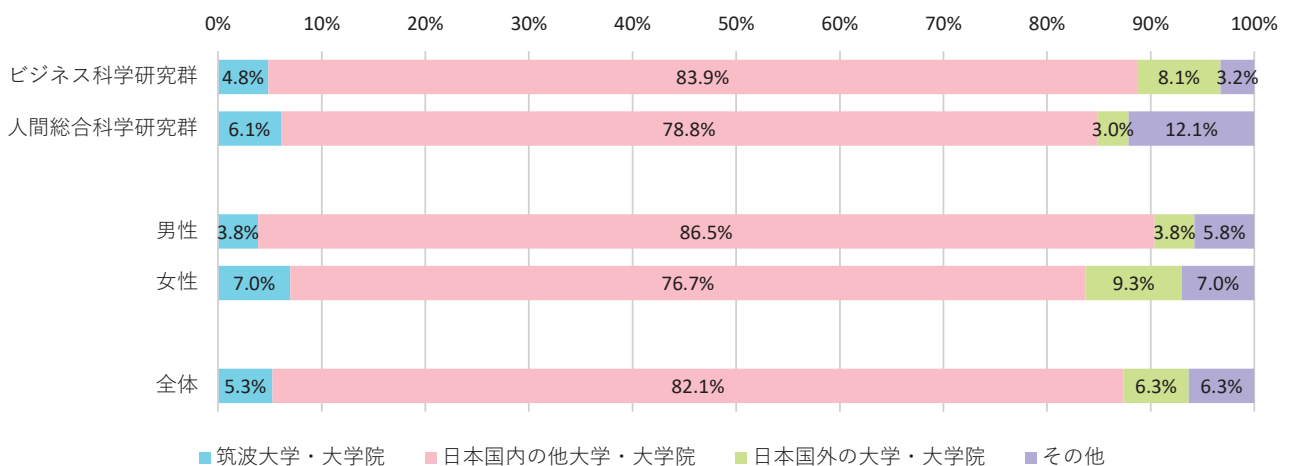
### 問3. 筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について

- ◎ 筑波大学・大学院出身者は全体のわずか5%ほど。
- ◎ 入学者の8割以上は「日本国内の他大学・大学院」出身者。

筑波大学大学院に入学する前に在籍していた大学または大学院について、4つの選択肢から選んでもらった。大多数の82.1%が「日本国内の他大学・大学院」出身者であり、「日本国外の大学・大学院」と「その他」が、いずれも6.3%だった。一方、「筑波大学・大学院」出身者の割合は最も少ない5.3%であり、前回調査（平成29年度）の10.8%から5年間でほぼ半減したことになる。なお、その減少分は、今回調査から追加された「その他」の選択肢6.3%に吸収された形だが、「その他」が具体的に何を指すかについては、記述形式ではないので不明である。

また研究群別でみると、ビジネス科学研究群は人間総合科学研究群に比べて、海外から入学する学生の割合が5ポイントほど高かったが、他の割合に大きな違いはなかった。

図 1.3 入学前の在籍大学または大学院【研究群別、男女別、全体（%）】

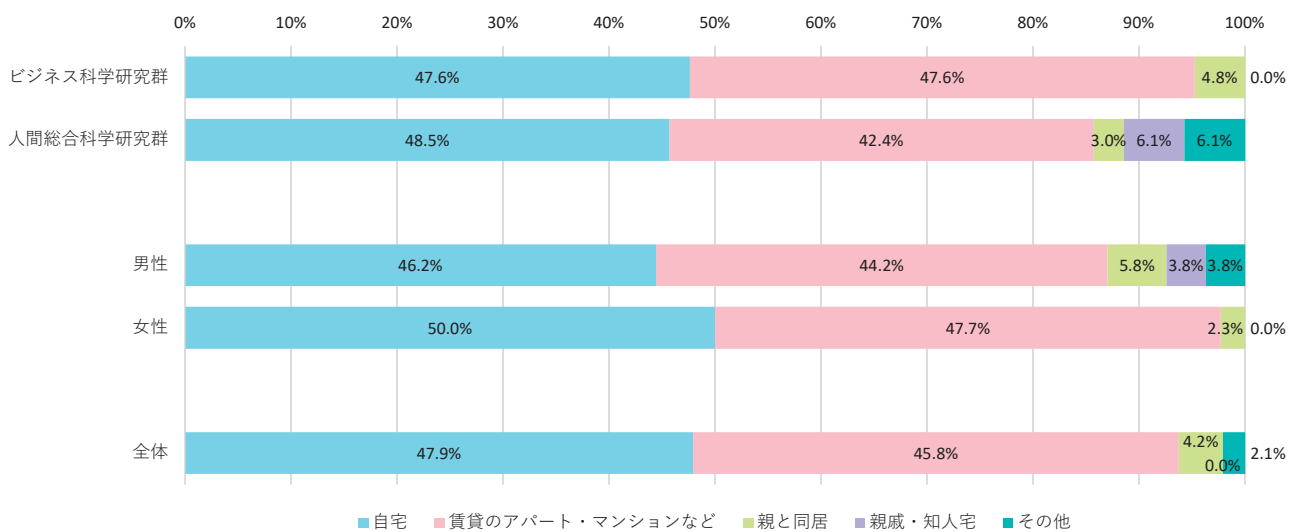


#### 問4. 現在の住まいについて

◎ 全体の約5割が自宅から通学している。

学生の現在の住まいについて尋ねた。集計結果は、「自宅」47.9%、「賃貸のアパート・マンションなど」45.8%、「親と同居」4.2%、「その他」2.1%となった。なお本設問はあてはまるものを1つだけ選択する形式であるため、「自宅」が「賃貸のアパート・マンションなど」であるケースや、「自宅」で「親と同居」しているケースなども考えられる。問1-1の回答結果から、回答者の約9割が在職中の社会人であることを考えると、「賃貸のアパート・マンションなど」を選んだ45.8%の学生は、その住まいが自宅を指しており、大学院に通学するために、自宅とは別にアパート・マンションを賃貸している学生は少ないのではないかと推察される。

図 1.4 現在の住まい【研究群別、男女別、全体 (%)】



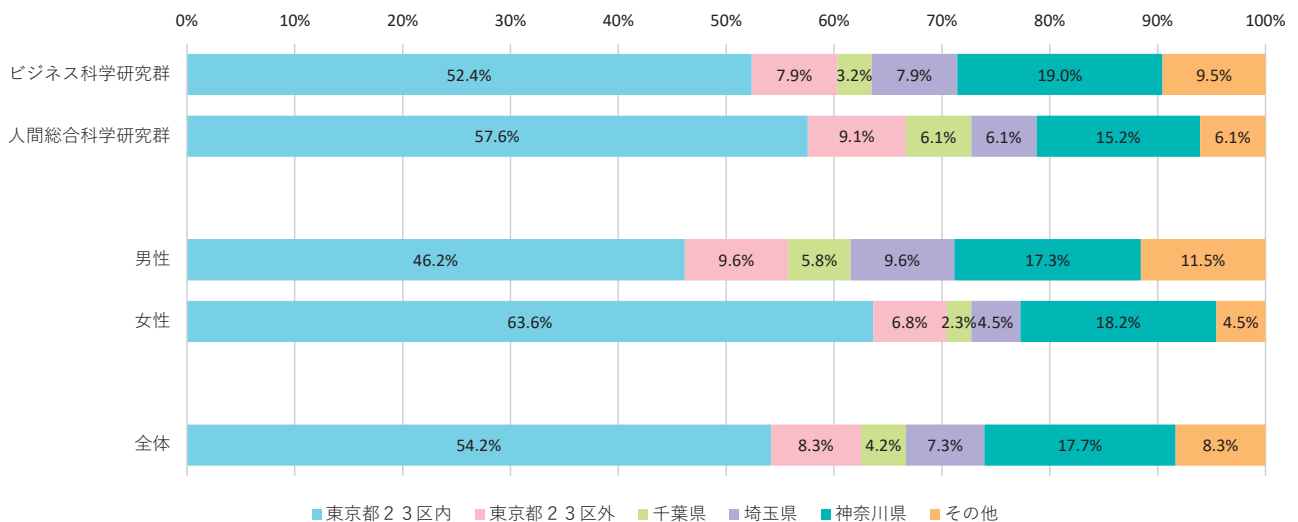
## 問5. 現在の居住地について

◎ 全体の5割以上が東京都23区内から通学している。

学生の現在の居住地について尋ねた。集計の結果、「東京都23区内」が54.2%と半数以上を占め、次いで「神奈川県」17.7%、「東京都23区外」8.3%、「埼玉県」7.3%、「千葉県」4.2%という順になった。なお「その他」の回答が8.3%みられたが、ここには茨城県在住者が含まれると予想される。

ビジネス科学研究群と人間総合科学研究群での比較では、大きな傾向の差は見られなかった。一方、男女別で見ると、「東京都23区内」居住者の割合は、女性63.6%、男性46.2%と女性の方が比較的高かった。

図 1.5 現在の居住地【研究群別、男女別、全体 (%)】



## 第2章 生活全般について

### 問6. あなたの家族の主たる家計支持者について

- ◎ 主たる家計支持者は「あなた自身」が83.3%でもっとも多い。
- ◎ 「あなた自身」と「配偶者」をあわせた独立生計者は95.8%に上る。

主たる家計支持者について、「あなた自身」「配偶者」「父親・母親」「両親以外の親族」「その他」という5つの選択肢から、当てはまるものをすべて選択してもらった。「あなた自身」が83.3%でもっとも多く、これに「配偶者」の12.5%が続く。「あなた自身」と「配偶者」をあわせた独立生計者は、東京地区の大学院生の95.8%に上る。独立生計者の割合は、前回調査では96.2%、前々回調査では94.0%であったから、高止まりしていることがわかる。とりわけ、男性の場合は独立生計者が100%であった。

表 2.1 主な家計支持者【研究群別、男女別、全体】

	ビジネス科学研究群		人間総合科学研究群		女性		男性		全体	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
あなた自身	56	88.9%	24	72.7%	30	68.2%	50	96.2%	80	83.3%
配偶者	6	9.5%	6	18.2%	10	22.7%	2	3.8%	12	12.5%
父親・母親	0	0.0%	1	3.0%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.0%
両親以外の親族	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	1.6%	2	6.1%	3	6.8%	0	0.0%	3	3.1%

## 問7. 大学に希望する経済支援について

### 問7-1. 一時貸付金を希望する理由について

- ◎ 全体の68.0%が何らかの経済支援を希望している。
- ◎ 希望する経済支援としては、「授業料免除」が44.2%でもっとも多く、「給付型（返還義務なし）奨学金」の42.1%が僅差で続く。
- ◎ 「一時貸付金」を選択した学生のうち、75.0%が「授業料のため」の貸付を希望している。また、「生活費のため」と「その他」がそれぞれ25.0%であった。

大学に希望する経済支援として、「給付型（返還義務なし）奨学金」「貸与型（返還義務あり）奨学金」「授業料免除」「一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）」「その他」「特に希望しない」から、当てはまるものを全て選択してもらった。

調査の結果、全体の68.0%が何らかの経済支援を希望していることが示された。具体的には、「授業料免除」が44.2%でもっとも多く、「給付型（返還義務なし）奨学金」の42.1%が僅差で続いた。なお、「特に希望しない」学生も31.6%みられた。前回調査では「特に希望しない」の割合が29.3%であったから、ほぼ前回と同一の傾向であることがわかる。

また、該当者が4名と限られるものの、「一時貸付金」を選択した回答者に対しては、その理由を「授業料のため」「生活費のため」「その他」の3つから複数回答可で尋ねている。「授業料のため」が75.0%でもっとも多く、「生活費のため」と「その他」がそれぞれ25.0%であった。

表 2.2 希望する経済支援【全体】

	全体	
	回答数	回答率
給付型（返還義務なし）奨学金	40	42.1%
貸与型（返還義務あり）奨学金	5	5.3%
授業料免除	42	44.2%
一時貸付金	4	4.2%
その他	8	8.4%
特に希望しない	30	31.6%



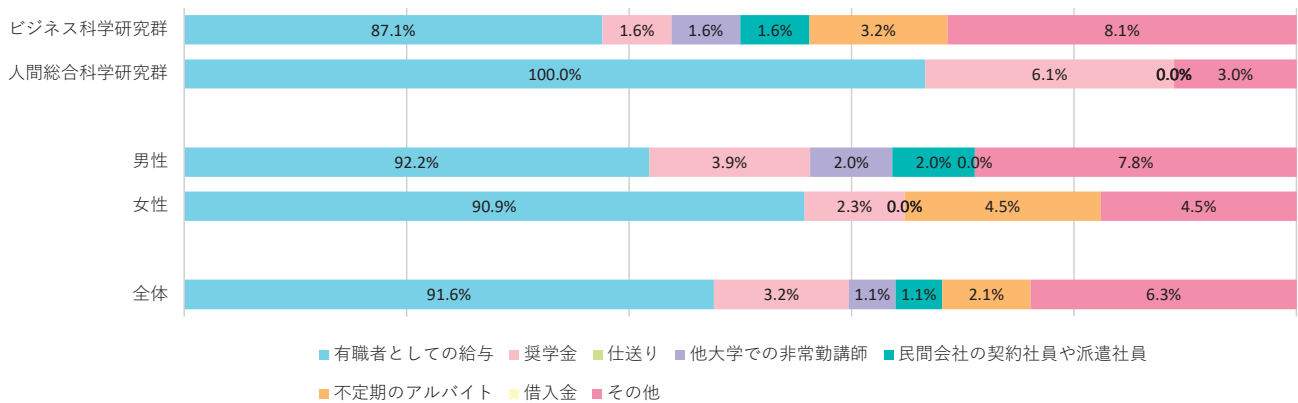
## 問8. 収入源について

- ◎ 収入源については、「有職者としての給与」が91.6%で圧倒的に多く、「奨学金」「不定期のアルバイト」等のその他の項目はいずれも10%を下回っている。
- ◎ この項目を選択する割合は、前々回調査と比較して14ポイントほど増加している。

収入源について、「有職者としての給与」「奨学金」「仕送り」「他大学での非常勤講師」「民間会社の契約社員や派遣社員」「不定期のアルバイト」「借入金」「その他」から当てはまるものを全て選択してもらった。

この結果、「有職者としての給与」が91.6%で圧倒的に多く、その他の項目はいずれも10%を下回っていることが示された。とりわけ、人間総合科学研究群では、100%の学生が「有職者としての給与」を選択している。この項目を選択する割合は、前回調査では87.3%、前々回調査では77.6%であったから、前々回調査と比較して14ポイントほど増加していることがわかる。

図 2.1 収入源【研究群別、男女別、全体 (%)】



## 問9. 1ヵ月の生活費や研究活動費の充足度について

### 問9-1. 生活費や研究活動費などで不足しているものについて

- ◎ 生活費や研究活動費については、83.3%が「充分である」「まあまあ足りている」と感じている。
- ◎ 生活費や研究活動費などが「不足している」と回答した学生は、とくに研究費が不足していると感じている。

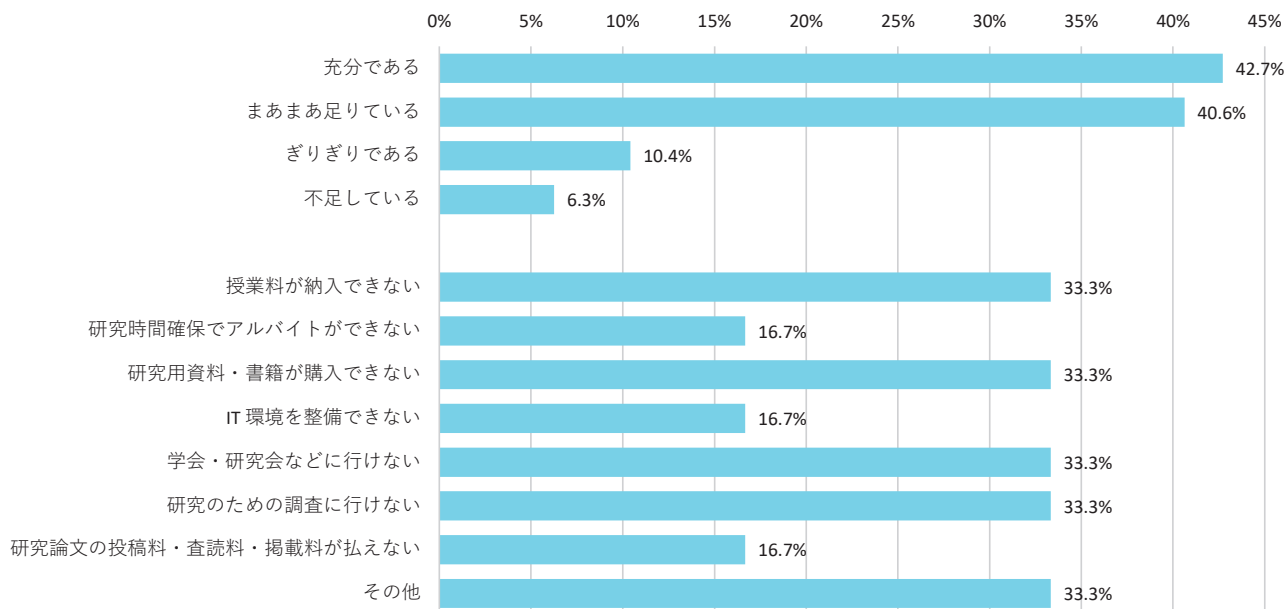
平均的な1ヵ月の生活費や研究活動費の充足度について、「充分である」「まあまあ足りている」「ぎりぎりである」「不足している」の4つの中から、当てはまるものを1つだけ選択してもらった。

全体では16.7%が「ぎりぎりである」あるいは「不足している」と回答している一方で、83.3%が「充分である」「まあまあ足りている」と回答している。研究群ごとに目立った違いは見られない。

該当者は6名のみと限られているものの、問9で生活費や研究活動費などが「不足している」と回答した学生に対して、具体的に何が不足しているのかを尋ねた。具体的な項目は、「授業料が納入できない」「研究時間確保でアルバイトができない」「研究用資料・書籍が購入できない」「IT環境を整備できない」「学会・研究会などに行けない」「研究のための調査に行けない」「研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない」「その他」である（複数回答可）。

この結果、「授業料が納入できない」「研究用資料・書籍が購入できない」「学会・研究会などに行けない」「研究のための調査に行けない」「その他」がそれぞれ33.3%でもっとも多く、「研究時間確保でアルバイトができない」「IT環境を整備できない」「研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない」がそれぞれ16.7%であった。総じて、研究費が不足していることがわかる。

図 2.2 生活費や研究活動費の充足度【全体 (%)】



## 問 10. 起床時間と就寝時間について

- ◎ 起床時刻は6時が42.7%でもっとも多い。
- ◎ 就寝時刻は24時が31.3%でもっとも多い。
- ◎ 概ね、前回調査と同様の結果であった。

起床時刻と就寝時刻について尋ねた。起床時刻は6時～7時が42.7%でもっとも多く、これに7時～8時の26.0%、5時～6時の14.6%が続く。また、就寝時刻は0時～1時が38.9%でもっとも多く、これに1時～2時の25.3%、23時～24時の16.8%が続く。

図 2.3 起床時刻【全体 (%)】

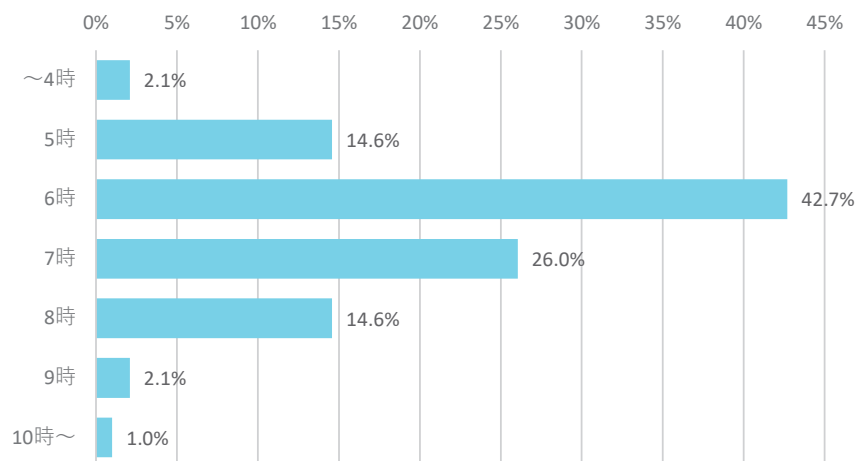
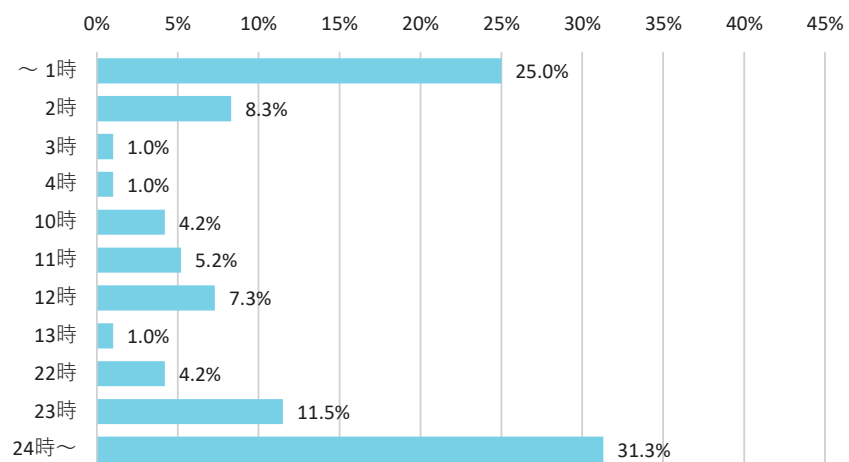


図 2.4 就寝時刻【全体 (%)】



## 問 11. 平日夜間の食事について

### 問 11-1. 在校中の食事について

- ◎ 平日夜間の登校時は、「帰宅後」に食事をする学生の割合が55.2%でもっとも多い。
- ◎ 具体的には、88.9%が「軽食を持参」しており、「大学近辺の飲食店を利用」する学生も38.9%いる。

平日夜間の登校時に食事をいつとるかを、「通学前」「在校中」「帰宅後」「とらない」の4つのなかから尋ねた。「帰宅後」が55.2%でもっとも多く、これに「通学前」の20.8%、「在校中」の18.8%が続く。「とらない」を選択したのは、5.2%のみであった。夕食は帰宅後にとる学生が約半分であるが、これは前回とほぼ同一の結果である。

在校中に食事をする場合はどのようなものをとるのか、「軽食を持参」「学内に設置の軽食用自販機を利用」「大学近辺の飲食店を利用」「その他」の4つから当てはまるものをすべて選択してもらった。全体では「軽食を持参」が88.9%でもっとも多く、「大学近辺の飲食店を利用」する学生も38.9%みられた。また、「学内に設置の軽食用自販機を利用」と「その他」は0%であった。総じて、軽食を持参する学生が大部分であることがわかる。

なお前回調査では「軽食を持参」が84.6%、「学内に設置の軽食用自販機を利用」が17.9%、「大学近辺の飲食店を利用」が20.5%、「その他」2.6%であったから、大学近辺の飲食店を利用する学生の割合が18ポイントほど増加している。

図 2.5 夕食摂取のタイミング【全体 (%)】

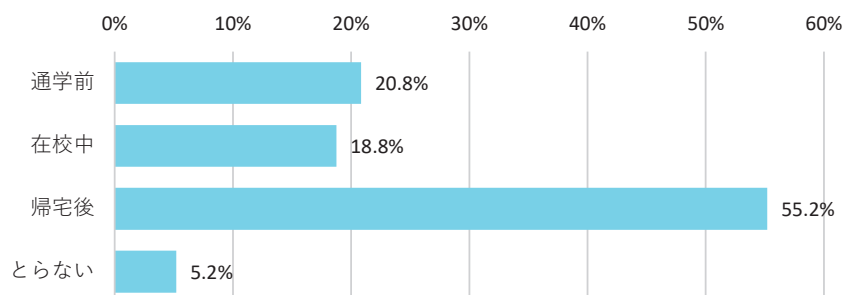
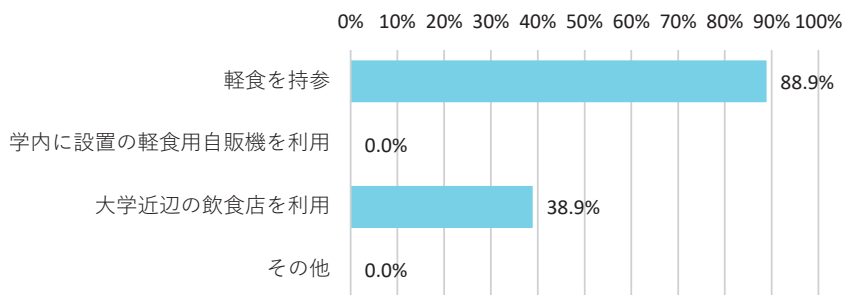


図 2.6 学内での食事方法【全体 (%)】



## 問 12. 日常生活の満足度について

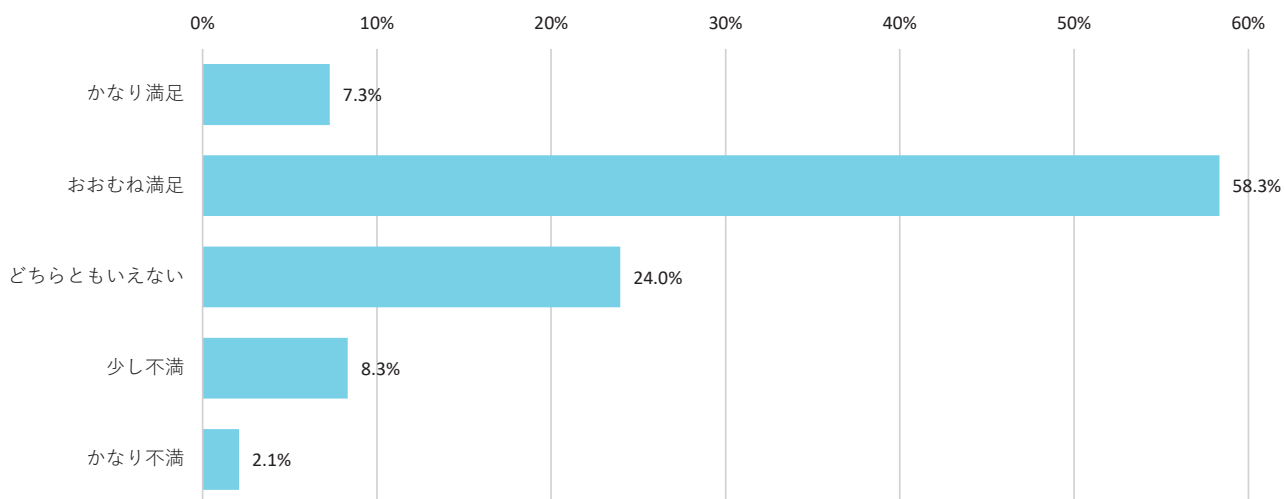
- ◎ 前回に比べ、「かなり満足」と「おおむね満足」の割合が低下した。
- ◎ 前回に比べ、「どちらともいえない」と「少し不満」が増えた。
- ◎ つくばに比べ、満足度が低い。

現在の日常生活に対する満足度を、「かなり満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「少し不満」、「かなり不満」の5択で尋ねた。全体では、「かなり満足」7.3%(12.1%)、「おおむね満足」58.3%(64.3%)、「どちらともいえない」24.0%(15.9%)、「少し不満」8.3%(5.1%)、「かなり不満」2.1%(2.5%)であった。( )は前回の結果なので、全体に満足度が低下していることが分かる。新型コロナによる悪影響が出ているのかもしれない。

65.6%が「かなり満足」または「おおむね満足」と感じており、この割合はつくば地区の院生とほぼ同じ(63.8%)である。東京では「かなり満足」が7.3%であるのに対し、つくばでは13.2%なので、東京の方が満足度が低い。理由は不明。

男女別の差はあまりみられないが、女性の方が満足度が低い傾向が見られた。前回は男女別の集計がないので、比較出来ず。

図 2.7 日常生活の満足度【全体 (%)】



### 問 13. 新型コロナの影響について

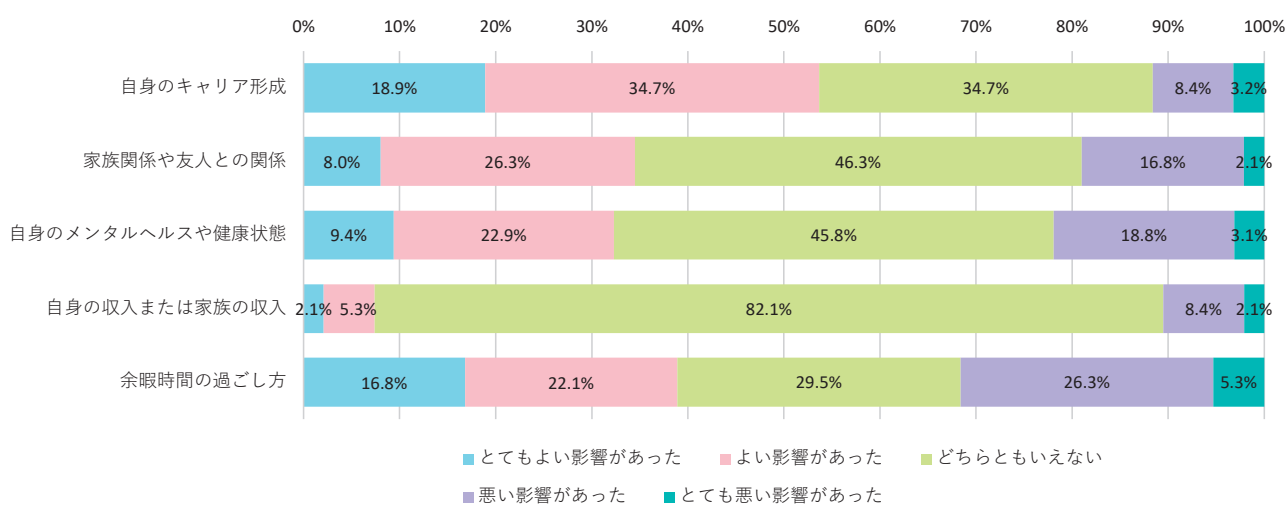
- ◎ 総じて、東京の方がつくばよりも悪影響が低い。
- ◎ 8割以上が収入に対し悪影響がなかったと回答。

予想に反し、半数以上が「とてもよい影響があった」「よい影響があった」「どちらともいえない」との回答があり、新型コロナによる悪影響があまりみられなかった。「キャリア形成」、「人間関係」、「健康」と「余暇時間の過ごし方」では、良い影響さえ見られる。

「収入」は、つくばでは「悪い影響があった」が24.8%とかなり高いが、東京では8.4%と低く、大きな差が見られた。この逆転現象の要因は分からない。

「余暇の過ごし方」は、「悪い影響があった」(26.3%)が、他の項目よりも顕著に高い。

図 2.8 コロナ禍の制限が生活に与えた影響【全体 (%)】



### 第3章 通学等について

#### 問 14. 通学時の交通手段について

- ◎ 9割近くが「東京メトロ丸の内線」を利用している。
- ◎ 天候は交通手段にほとんど影響を与えていない。
- ◎ 6割近くが「東京メトロ丸の内線以外の鉄道」も利用している。

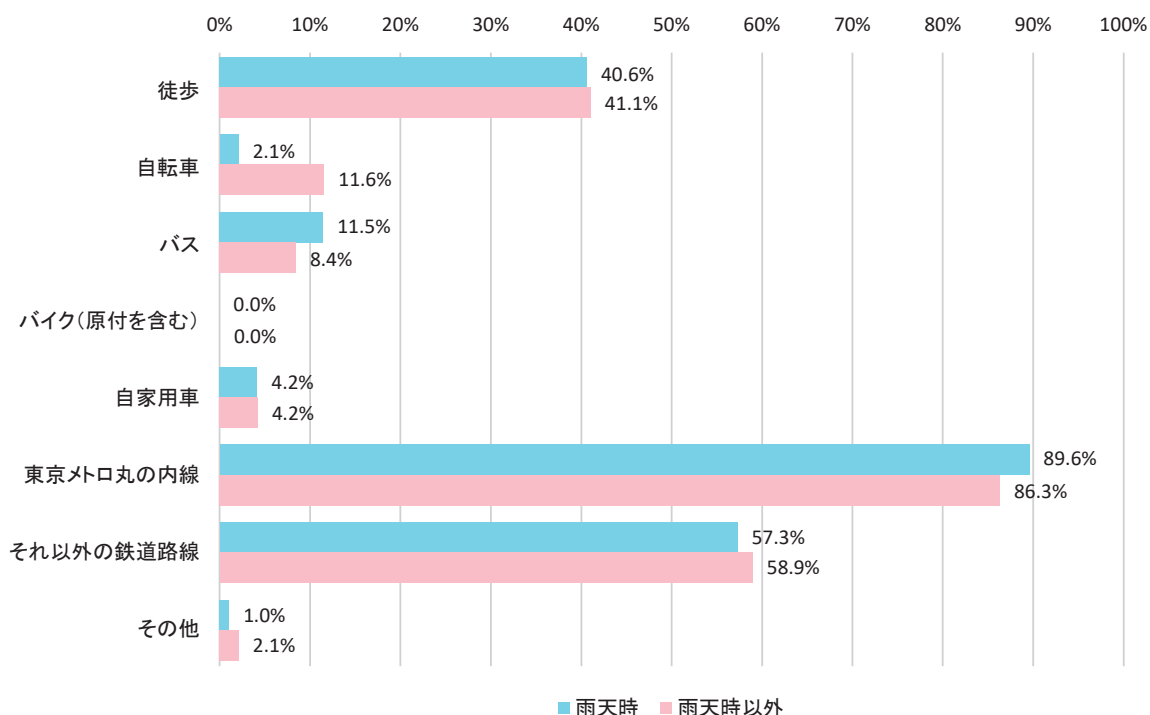
天候は交通手段にほとんど影響を与えていないことがわかった。「東京メトロ丸の内線」の利用が9割近くを占めているためだと思われる。

「徒歩」を除くと、前回との差があまり大きくなく（前回「東京メトロ丸の内線以外の鉄道」の項目はない）、つくばと大きく異なる。「自転車」の利用者も前回との差はないが、つくばの1/10程度と顕著に少ない。

「東京メトロ丸の内線以外の鉄道」も約6割と高い。このほとんどが「東京メトロ丸の内線」を併用することで、大学最寄りの「茗荷谷駅」で下車・乗車していると思われる。

「徒歩」は約4割で、前回（天候に無関係で28.0%）よりもかなり高い。9割近くが「東京メトロ丸の内線」を利用していることを考慮すると、自宅から最寄り駅までかなりの距離を「徒歩」で通学する割合が増えたと推察される。または、鉄道の「乗り換え」にかなり歩いているのかもしれない。

図 3.1 通学時の交通手段【全体 (%)】



## 問 15. 雨天時以外の通学時間について

- ◎ 30分未満の学生は21.0%で、前回(20.3%)とほぼ同じ。
- ◎ 1～2時間の学生は35.8%で、前回(27.4%)よりも顕著に増えた。
- ◎ 東京の方がつくばよりも、通学時間がかなり長い。

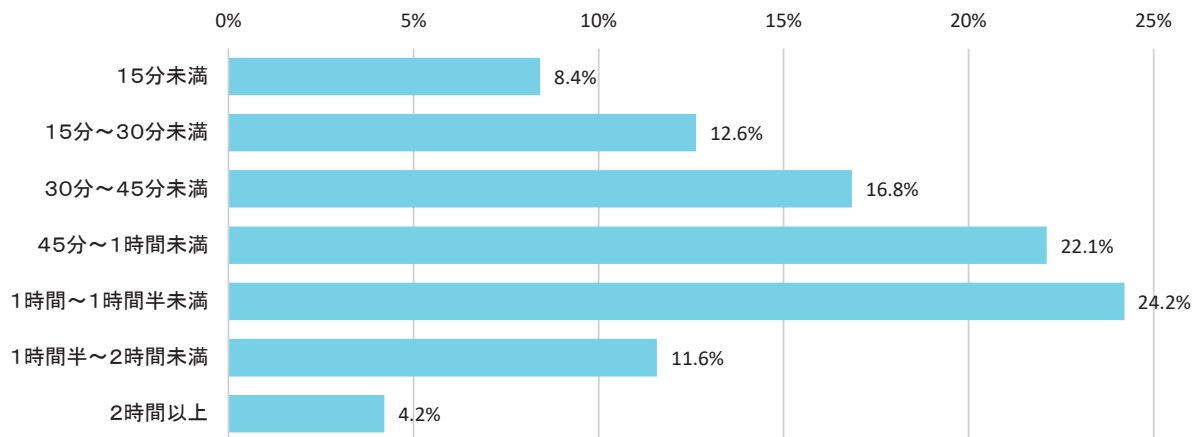
通学時間が30分未満の学生は21.0%で、前回(20.3%)とほぼ同じであった。ただし、つくばでの割合は約8割(前回とほぼ同じ)と高いので、つくばとの差は大きい。

通学時間が1～2時間の学生は35.8%もあり、前回(27.4%)よりも顕著に増えた。つくばでは僅か8.7%と大きく異なる。

総じて、東京の方が通学時間がつくばに比べかなり長い。

男女での差異はほとんど見られない。つくばも同様であった。

図 3.2 雨天時以外の通学時間【全体 (%)】





## 問 16. 宗教団体・啓発セミナーなどについて

◎ 宗教団体・啓発セミナーなど勧誘経験はほとんどない

宗教団体や自己啓発セミナーなどからの勧誘経験の有無などを質問した。

キャンパス内で勧誘を受けたことがある学生は1人のみ、キャンパス外では0であった。これらは前回調査と同様である。

他の人が勧誘したり勧誘されたりしたのを見たことがあるかどうかを質問したが、こちらもキャンパス内では1人のみ、キャンパス外では0であった。これは前回も同じである。

表 3.1 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘【全体 (%)】

	ある	ない
勧誘を受けたことがある (学内)	1.0%	99.0%
勧誘を受けたことがある (学外)	0.0%	100.0%
他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことがある (学内)	1.0%	99.0%
他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことがある (学外)	0.0%	100.0%

## 第4章 健康状態について

### 問 17. 過去1年間の健康状態について

- ◎ 全体の約 65%は身体的に健康であり、日常的な体調不良を除くと大半が健康である。
- ◎ 男性の 73.1%に対して女性は 56.8%と、女性の方が身体的不調の傾向がある。
- ◎ 精神的な病気による受診・入院が 7.3%で、女性のほうが割合が高い。

過去1年間の身体的および心理的・精神的健康状態について、あてはまるものすべてを選択させた。健康であると回答したものは全体の 65.6%であった。病院で受診や入院はしない程度の日常的な体調不良が約 20%であり、おおむね身体的健康さは保たれているといえる。しかし、男性の 73.1%に比して、女性は 56.8%にとどまった。サンプル数が多くはなく、比較には慎重が必要であるが、日常的な体調不良や身体の病気、けがによる受診・入院の割合も女性のほうが高く、これらは前回調査と同様である。研究群ごとで見ると、人間総合科学研究群のほうが身体的不調の項目は割合が高い傾向がある。

心理的な問題での相談機関の利用は全体の約 3.1%で、筑波地区の大学院生の 6.6%よりも低い傾向がある。一方、精神的な病気による受診・入院は 7.3%で、前回調査の 1.3%よりも高い値であった。東京地区の学生の場合、筑波地区にある学内の相談機関が利用しにくく、心理的・精神的な不調を感じた場合は医療機関を受診する者が多い可能性が考えられる。これらの項目も、男性より女性のほうがやや割合が高かった。

表 4.1 過去1年間の健康状態【研究群別、男女別、全体】

	ビジネス科学研究群	人間総合科学研究群	男性	女性	全体
健康である	66.7%	63.6%	73.1%	56.8%	65.6%
健康不良で数日寝込んだ(受診・入院を除く)	19.0%	24.2%	17.3%	25.0%	20.8%
身体の病気で受診・入院した	14.3%	30.3%	15.4%	25.0%	19.8%
精神的な問題で受診・入院した	9.5%	3.0%	3.8%	11.4%	7.3%
心理的な問題で相談機関を利用した	3.2%	3.0%	1.9%	4.5%	3.1%
けがで受診・入院した	3.2%	6.1%	0.0%	9.1%	4.2%
その他	1.6%	0.0%	1.9%	0.0%	1.0%

## 問 18. 過去 1 年間の困り事・悩み事について

- ◎ 「学業と仕事の両立」が最も多く、全体の 76.0%であった。
- ◎ 次いで「学業や研究の不振」「自分の精神的・心理的状态」があげられた。
- ◎ 全体の 4.2%がハラスメントの悩みを抱えていた。

過去 1 年間にどのようなことで困ったり悩んだりしたかを複数選択させた。どのグループでも最も多かったのは、前回調査と同様「学業と仕事の両立」で、全体の 76.0%であった。前回調査の 65.6%と比べ、高い数値となっている。社会人大学院の特徴であり、筑波地区の大学院生で約 52%が選択した「学業や研究の不振」は 34.4%にとどまった。

前回調査では「家族関係」が上記 2 つに次いで多い悩みとして挙げられていたが、今回は「自分の精神的・心理的状态」「自分の身体的病気・けが等の状態」がそれを上回った。「単位修得の問題（8.3% → 15.6%）」も割合が高くなっている。筑波地区の大学院生と比べ、「自分の精神的・心理的状态（筑波地区：34.7%）」は少ない一方で身体的な状態（同 13.3%）、単位修得（同 10.0%）はやや高い傾向となっており、様々な困りごとを抱えていることがうかがえる。

ハラスメントについては、全体の 4.2%が選択しており、前回調査の 1.3%を上回っている。女性よりも男性のほうがやや割合が高い。また、ビジネス科学研究群よりも人間総合科学研究群のほうが多く報告されている。数の多寡の問題ではないものの、大学として十分な対応が求められる点であろう。

表 4.2 過去 1 年間の困り事・悩み事【研究群別、男女別、全体】

	ビジネス科学研究群	人間総合科学研究群	男性	女性	全体
学業と仕事の両立	77.8%	72.7%	75.0%	77.3%	76.0%
学業や研究の不振	31.7%	39.4%	32.7%	36.4%	34.4%
単位修得の問題	20.6%	6.1%	19.2%	11.4%	15.6%
学術院・研究群の学位プログラムまたは専攻の移籍	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
休学・退学	4.8%	3.0%	1.9%	6.8%	4.2%
友人との関係	9.5%	6.1%	11.5%	4.5%	8.3%
教員との関係	9.5%	6.1%	7.7%	9.1%	8.3%
研究室内の問題	1.6%	0.0%	1.9%	0.0%	1.0%
恋愛関係	4.8%	0.0%	0.0%	6.8%	3.1%
家族関係	11.1%	18.2%	15.4%	11.4%	13.5%
自分の性格	7.9%	12.1%	9.6%	9.1%	9.4%
自分の精神的・心理的状态	15.9%	21.2%	15.4%	20.5%	17.7%
自分の身体的病気・けが等の状態	19.0%	12.1%	11.5%	22.7%	16.7%
経済状態	14.3%	15.2%	7.7%	22.7%	14.6%
ハラスメント	4.8%	3.0%	5.8%	2.3%	4.2%
その他	3.2%	15.2%	1.9%	13.6%	7.3%
特にない	12.7%	18.2%	17.3%	11.4%	14.6%

## 問 19. あなたの感じ方について

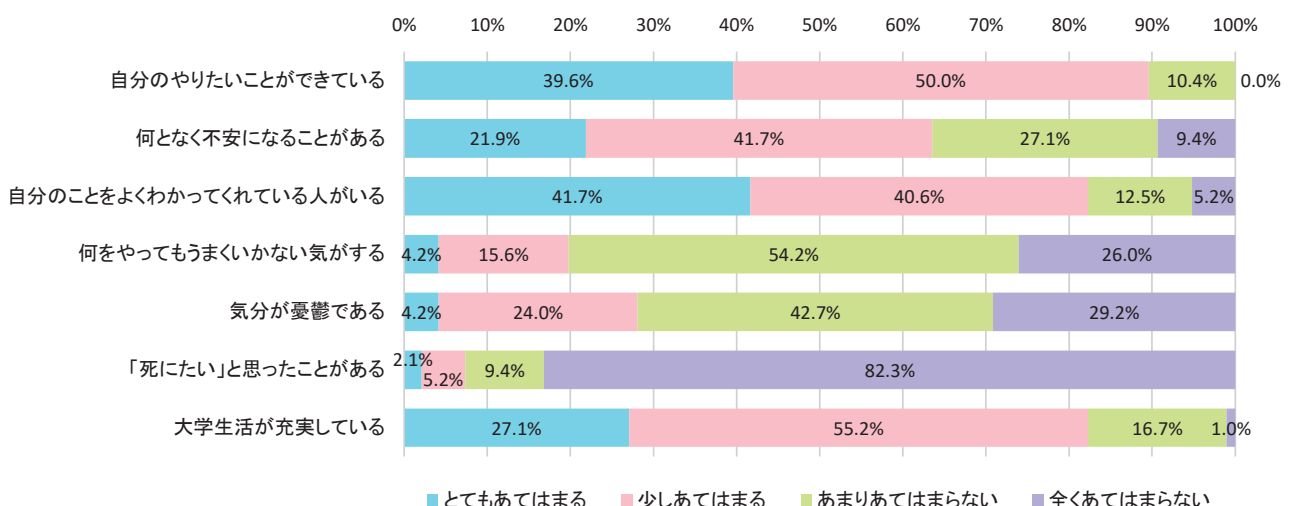
- ◎「自分のやりたいことができている」が約 90%であった。
- ◎ 一方、「何となく不安になることがある」に該当するものも約 6 割いる。
- ◎「気分が憂鬱である」は約 3 割、「『死にたい』と思ったことがある」は 7%が該当。

本項目では心理的健康度について、いくつかの指標で「とてもあてはまる」から「全くあてはまらない」の 4 件法で尋ねた。「自分のやりたいことができている」「自分のことをよくわかってきている人がある」「大学生生活が充実している」の 3 項目はどれも約 8～9 割が YES 群（注参照）に該当しており、心理的健康度の高さがうかがえた。ただし、前回調査と比較すると、YES 群のうち「とてもあてはまる」と回答した学生は、「自分のやりたいことができている」が 60.5%から 39.6%、「大学生生活が充実している」が 42.7%から 27.1%へそれぞれ低下している。もともと仕事を持ちながら高い目的意識をもって学業や研究に臨んでいると思われる社会人大学院生であるが、コロナ禍の影響か、以前よりも十分に活動できなくなっている可能性が考えられる。

「何となく不安になることがある」は 63.6%が YES 群に該当し、前回調査の 58.0%よりも若干高かった。また、「気分が憂鬱である」は 22.3%から 28.2%に上がっており、「なにをやってもうまくいかない気がする」「『死にたい』と思ったことがある」は、前回とほぼ同等の数値であった。もともと東京地区の大学院生は、学群生や筑波地区の大学院生よりもこれらの該当者が少ない傾向にあり、それは今回も同じであったが、学生支援の資源が筑波地区ほど潤沢に用意されてはいないこともあり、注意が必要と言えよう。

注) 把握しやすいよう、YES は「とてもあてはまる」「少しあてはまる」を合算し、NO は「あてはまらない」「全くあてはまらない」を合算した。

図 4.1 過去 1 年間の精神的な健康状態【全体 (%)】



## 第5章 相談相手・情報の取得方法について

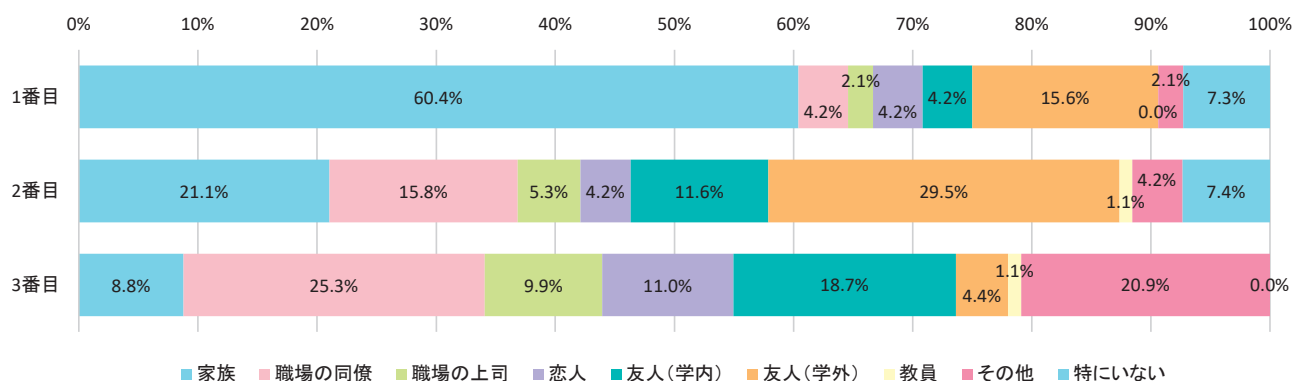
### 問 20-1. 主な相談相手について

- ◎ 相談相手として最も選ばれやすいのは家族で、6割を越える。
- ◎ 相談相手が「特にいない」も多く、教員や学内友人への相談機会も少ない。

重要なことを話したり、悩みを相談する人として、該当する上位3番目までを選択させた。1番目選ばれた相手として最も多いのは「家族」の60.4%で、前回調査の61.8%とほぼ同じであった。次いで多いのは「友人（学外）」の15.6%で、社会人大学院生が多く、年齢層も高い東京地区の特徴を表していると考えられる。

また、1番目の相談相手において「特にいない」の回答は7.3%であり、学群生や筑波地区の大学院生（いずれも4.3%）よりも若干高い。また、「友人（学内）」や「教員」を1番目の相談相手に選ぶ割合が少なく、学内において濃いつながりを持っている学生があまりいないことが推測される。

図 5.1 相談相手【全体 (%)】



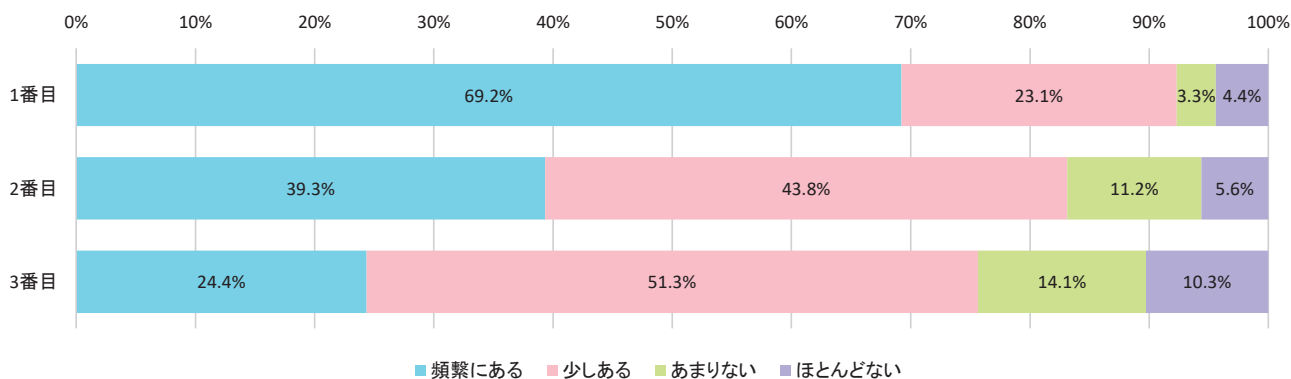
## 問 20-2. 相談相手と話す機会について

- ◎ 全体として、相談相手と話す機会を持っている学生が多い。
- ◎ 学生生活に関わる相談を十分できているかについては、配慮が必要である。

重要なことを話したり、悩みを相談する相手として選択した上位3番目までのそれぞれの人に対してどのくらい話をする機会があるかを尋ねた。全体では、92.3%の学生が1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答し、2番目、3番目の相談相手とも、約8割の学生が「頻繁にある」「少しある」を選択した。前回調査は1番目の相談相手が91.9%、2番目が79.1%、3番目が69.1%であったのと比べると、コロナの状況下にあっても、同等かそれ以上の機会を持っていると言える。ただし、ここには電話やメールでのコミュニケーションも含まれているが、そうしたツールの変化やその影響については、今回の調査では検討できていない。

とはいえ、相談相手と話す機会が「あまりない」「ほとんどない」と答えている学生も少なからずおり、2番目、3番目になると割合は高くなる傾向にある。問20-1で学内のつながりを持ちづらいことを指摘したことをあわせても、学生生活に関わる相談が十分にできない学生も存在すると考えられるため、配慮が必要であろう。

図 5.2 相談相手と話す機会【全体 (%)】



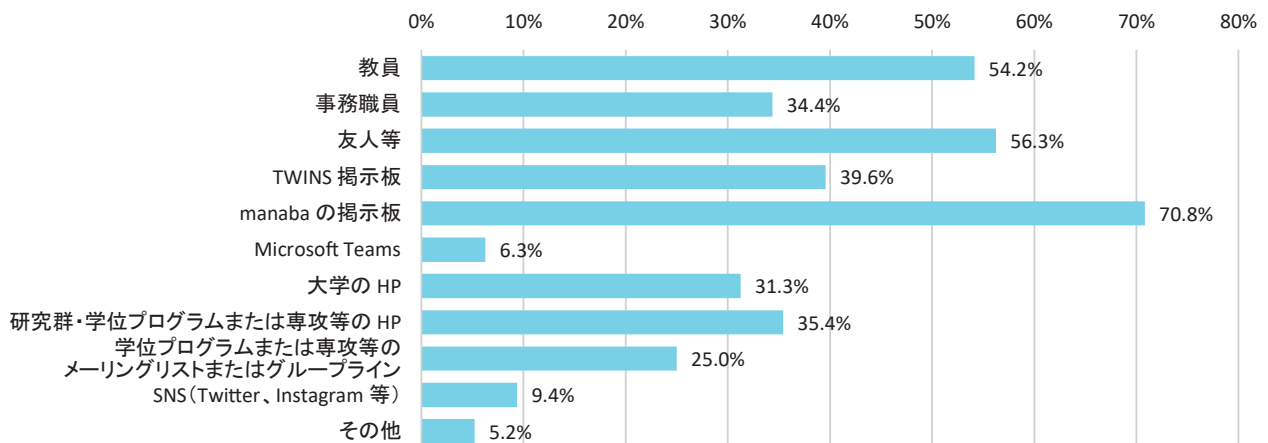
## 問 21. 情報の得方について

- ◎ 東京地区の大学院生の主な情報取得源は「manaba の掲示板」「友人等」「教員」。
- ◎ TWINS の掲示板や研究群等、大学の HP も多く利用されている。

学生生活に関わる情報を得ようとするとき、どういった情報源にアクセスするかを複数回答で尋ねた。オンライン授業の導入等により学生の利用ツールが変わったことを受けて、前回調査の選択肢にあった「Web 掲示板」がなくなり、代わりに「manaba の掲示板」と「Microsoft Teams」が追加された。

全体でみると、選択の多い順に「manaba の掲示板」「友人等」「教員」で、前回調査では「友人等」「指導教員」「TWINS 掲示板」であった。新たに設けられた「manaba の掲示板」は学群生、大学院生でも上位に挙げられており、重要なツールとなっていることがうかがえる。「TWINS 掲示板」や「研究群・学位プログラムまたは専攻の HP」「大学の HP」も約 3～4 割の学生が選択しており、オンライン上の情報源の重要さはますます大きくなっていると言えるだろう。また、教員が重要な情報源になっていることは、筑波地区の大学院生とも同様と考えられる。一方、学群生で 20.7%、筑波地区大学院生で 18.4% が選択していた「Microsoft Teams」は 6.3% であり、比較的用户数が少ないと考えられる。「SNS (Twitter、Instagram 等)」は前回調査で 17.8% であったが、今回の調査では 9.4% であった。

図 5.3 情報取得源【全体 (%)】



## 問 22. 相談機関について

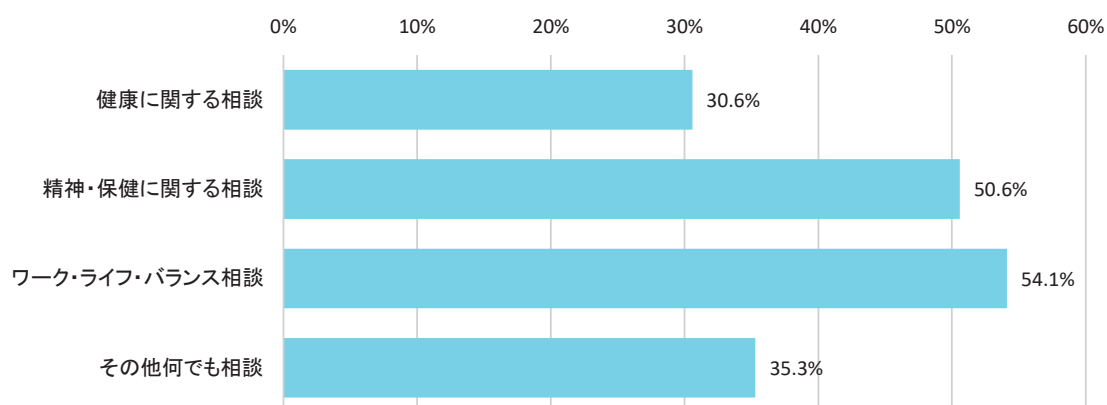
- ◎ 「ワーク・ライフ・バランス相談」の必要性が最も高い。
- ◎ コロナ禍の影響により、「精神・保健に関する相談」を必要とする回答が大幅に増加した。
- ◎ 前回調査と同様に「その他何でも相談」の必要性も高い。

学内に必要だと思う相談機関について尋ねた。前回調査では「その他何でも相談」を必要とする回答が50.3%と最も高かったが、今回の調査では「ワーク・ライフ・バランス相談」を必要とする回答が54.1%と最も高く、次いで「精神・保健に関する相談」を必要とする回答が50.6%となり、約2人に1人の学生がその必要性を求めている結果となった。

学生かつ在職者である社会人大学院生が多い東京地区では、研究と仕事のバランスに関して悩む声が多いのは不思議ではないが、「ワーク・ライフ・バランス相談」を必要とする回答が前回調査よりも10.2ポイント増加していることから、解決されていない課題が存在していることは明確である。また、「精神・保健に関する相談」を必要とする回答については、前回調査よりも28.3ポイントと大幅に増加していることから、コロナ禍の影響により、多くの学生が様々な不安やストレスを抱えていたことが明らかとなった。

前回調査と同様に必要性が高かったのは、「その他何でも相談」であった。何か特定の問題についての相談よりも、より気軽に様々なことを相談に行ける、筑波地区の「総合相談窓口」のような機関が求められていると考えられる。今後の支援の方向性のひとつとして受け止めることが必要であろう。

図 5.4 相談機関の必要性【全体 (%)】





## 第6章 本学への期待や要望等について

### 問 23. 教員に最も期待することについて

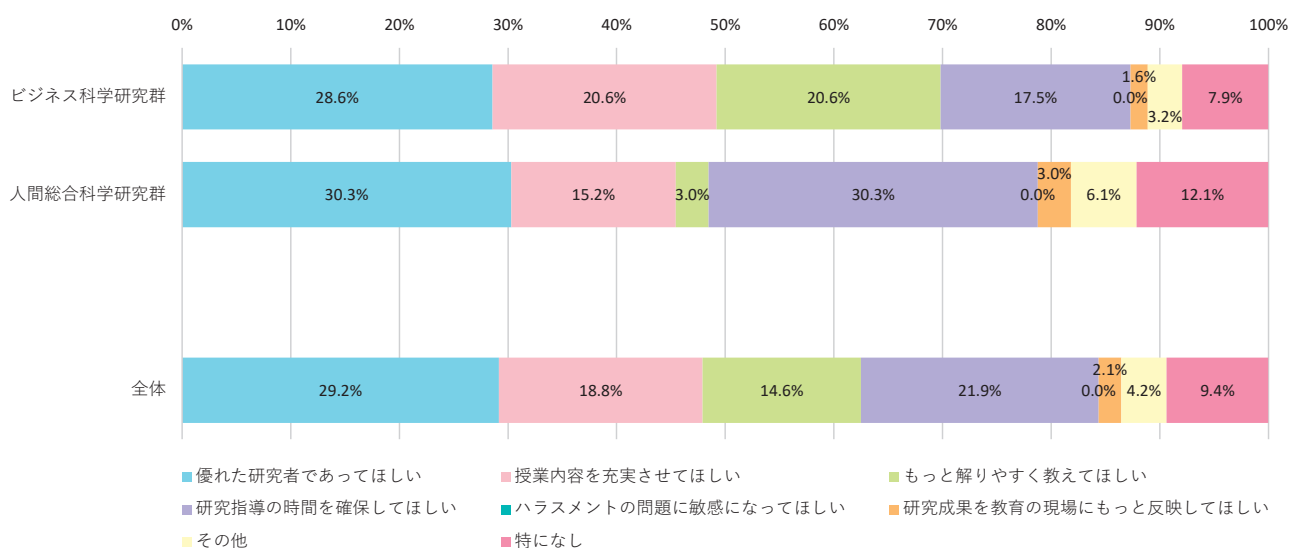
- ◎ 多くの学生が、教員に対して「優れた研究者であってほしい」と望んでいる。
- ◎ 「研究指導時間の確保」や「授業内容の充実」を求める声も多かった。

筑波大学の教員に最も期待することを、8つの選択肢から1つ選ぶ設問であり、「優れた研究者であってほしい」が29.2%で第1位、「研究指導の時間を確保してほしい」が21.9%で第2位、「授業内容を充実させてほしい」が18.8%で第3位となった。前回調査とは、2位と3位が入れ替わっているが、全体的な傾向はほぼ同様だった。

研究群で比較すると、ビジネス科学研究群で「もっと解りやすく教えてほしい」の割合が20.6%なのに対し、人間総合科学研究群ではわずか3.0%であり、逆に「研究指導の時間を確保してほしい」の割合は、ビジネス科学研究群が17.5%に対し、人間総合科学研究群は30.3%であった。

また「その他」を選んだ4.2%による自由記述には、「社会人大学院生に合わせて、対人とオンラインのバランスを工夫してほしい（例えば、土曜は対面で平日夜はオンラインなど）」、「キャリアに関するゼミやケーススタディがもう少しほしい」などの要望が寄せられた。

図 6.1 教員に期待すること【研究科等別、全体 (%)】



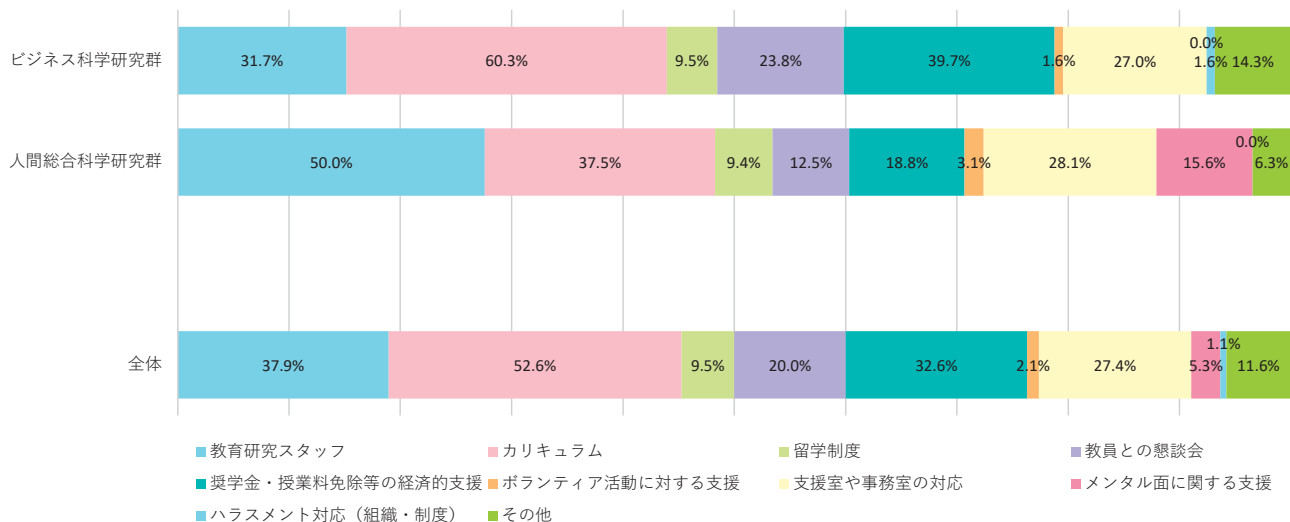
## 問 24. 教育面や制度面で充実してほしい点について

- ◎ 最多は「カリキュラム」で、全回答者の半数以上が選択。
- ◎ 「教育研究スタッフ」や「奨学金・授業料免除等の経済的支援」も上位。

教育面や制度面で充実してほしいと思うものを、10の選択肢からあてはまるものすべて選ぶ設問であり、最も多かった答えは「カリキュラム」で、全回答者の52.6%が選択した。次いで「教育研究スタッフ」37.9%、「奨学金・授業料免除等の経済的支援」32.6%、「支援室や事務室の対応」27.4%が続いた。この順位は、前回調査と同様であるが、「教育研究スタッフ」の割合については、前回の48.4%から10ポイント近く低下している。この結果は、5年間で教育研究スタッフの充実が図られていることを示唆するものである。一方で、カリキュラムに関しては、より一層の改善が必要であろう。

なお「その他」の自由記述には、「コロナ禍でほとんどの通学できなかったため、修業年限の延長措置がほしい」、「自主ゼミ室を簡便に活用したい」、「資格取得に必要な科目の増加」、「学生同士（特に学年間）の交流の機会」、「サイバーハラスメント対応」などが挙げられた。

図 6.2 教育面や制度面で充実してほしい点【研究群別、全体 (%)】



## 問 25. 整備・充実してほしい施設等について

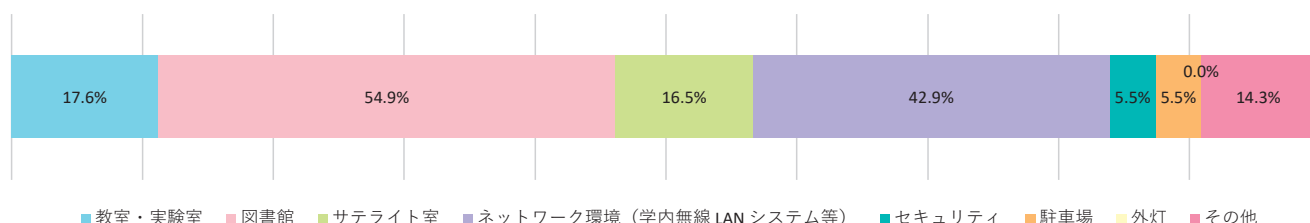
◎「図書館」「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」の改善が望まれる。

整備・充実してほしい施設等について、おおよそ前回調査と同じ項目で、選択数を制限せずに調査した。前回調査時の「IT 環境」の項目については、令和 2 年度以降授業のオンライン化に伴う影響が想定されることから、「サテライト室」「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」の 2 つに分けて質問をした。

最も要望が多かったのは、前回と同様に「図書館」であり、54.9% となった。次に「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」が 42.9% であり、前回調査（「IT 環境」40.8%）とほぼ同様の割合である。学内の広い範囲で学内無線 LAN システムが設置されているものの、建物や教室によっては接続できない場所があるため、これらの整備をはかることが必要である。

「教室・実験室」については、前回の 21.0% から 17.6% に減少した。その他の「セキュリティ」「駐車場」「外灯」に関しても、いずれも前回調査からの割合が少なくなっている。これには、キャンパス施設の使用頻度が少なくなった背景が想定される。

図 6.3 整備・充実してほしい施設等【全体（%）】

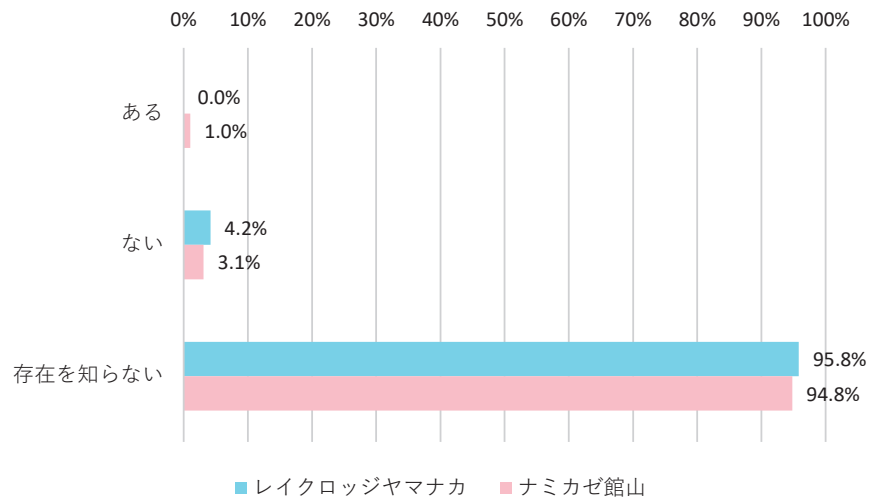


## 問 26. 学外研修施設について

◎ 学外研修施設の認知度はほとんどない。

筑波大学の学外研修施設(レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山)の利用経験や認知度に関して質問した。利用経験者はレイクロッジヤマナカについては0、ナミカゼ館山については1人であり、存在を知らない学生が95%前後であった。

図 6.4 学外研修施設の利用率 【全体 (%)】



## 問 27. 筑波大学への要望や提言等について

筑波大学への要望や提言について、(A) 制度等に関する要望、(B) 教職員に対する要望、(C) 施設に対する要望、(D) その他の4つの大項目に分けて尋ねた。自由記述には60名からの意見があり、以下はそれぞれの項目にあげられた意見等の概要である。

### A. 制度等に関する要望

#### A1. カリキュラム (15 件)

カリキュラムの充実（教養科目や英語による授業の充実など）を望む声が7件、オンライン併用の授業を望む声が4件あがった。

#### A2. 経済支援 (4 件)

奨学金の対象を広げる、育児面での支援充実などを求める声があった。

#### A3. その他 (3 件)

達成度評価をなくしてほしい、ホームページを見やすくしてほしいなどの要望があがった。

### B. 教職員に対する要望

#### B1. 教員に対して (7 件)

しっかりとした授業を実施してほしい、面談の機会を増やしてほしいなどの要望があった。

#### B2. 事務職員に対して (6 件)

全体的に連絡が遅いので、改善してほしいなどの要望があった。

#### B3. その他 (1 件)

支援室の開室時間が短いとの指摘があった。

### C. 施設に対する要望

#### C1. 研究環境 (6 件)

自習室の整備、拡大の要望が4件あった。

#### C2. ネットワーク環境 (8 件)

Wi-Fi 環境の強化を望む声が6件あった。

#### C3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba 等) (4 件)

いずれも、システムが分かりにくいので、使いやすいものにしてほしいとの要望である。

#### C4. 図書館 (14 件)

開館時間の延長を望む声が9件、蔵書やジャーナルの充実を望む声が4件あった。

#### C5. 売店 (3 件)

校内にカフェがほしい、教科書や筑波大学のロゴ入りの文房具が購入できるショップがほしいとの要望があった。

#### C6. その他 (2 件)

トイレがきたない、椅子が座りにくいとの指摘があった。

### D. その他 (2 件)

感染症対策を徹底してほしいなどの要望があった。

【資料】

## 令和4年度筑波大学 学生生活実態調査（大学院 東京地区）データ集計表＜全体＞

### I. あなた自身について

#### 1. 社会人経験

	回答数	回答率
1 社会人の経験がある	88	91.7%
2 社会人の経験はない	8	8.3%
合計	96	

#### 1-1. 在職状況

	回答数	回答率
1 在職中	82	93.2%
2 休職中	1	1.1%
3 退・辞職し、現在、定職はない	4	4.5%
4 定職はなかった	1	1.1%
5 その他	0	0.0%
合計	88	

#### 1-1-1. 職場の理解（複数選択）

	回答数	回答率
1 学費の負担も含め、全面的に得られている	6	7.2%
2 就学に支障のない程度に得られている	60	72.3%
3 職場の休職制度を利用	1	1.2%
4 職場の派遣制度を利用	0	0.0%
5 職場のその他の制度を利用	1	1.2%
6 職場には秘密にしている	11	13.3%
7 その他	5	6.0%
無効・無回答	12	14.5%
合計	96	

#### 4. 現在の住まい

	回答数	回答率
1 自宅	46	47.9%
2 賃貸のアパート・マンションなど	44	45.8%
3 親と同居	4	4.2%
4 親戚・知人宅	0	0.0%
5 その他	2	2.1%
合計	96	

#### 2. 志望理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 研究領域に魅力がある	51	53.1%
2 教育内容が優れている	41	42.7%
3 希望する分野がある	69	71.9%
4 指導教員の資質・能力、指導体制が優れている	49	51.0%
5 研究室の雰囲気に魅力がある	8	8.3%
6 教育・研究施設が優れている	14	14.6%
7 幅広い専門が学べる	14	14.6%
8 学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している	19	19.8%
9 国立大学である	66	68.8%
10 修了後の進路など就職に有利である	3	3.1%
11 修了年限の弾力的な運用がある	10	10.4%
12 親や指導教員などから勧められた	2	2.1%
13 自宅から通える	41	42.7%
14 資格などが取りやすい	6	6.3%
15 その他	9	9.4%
合計	402	

#### 3. 入学前

	回答数	回答率
1 筑波大学・大学院	5	5.3%
2 日本国内の他大学・大学院	78	82.1%
3 日本国外の大学・大学院	6	6.3%
合計	89	

#### 5. 現在の居住地

	回答数	回答率
1 東京都23区内	52	54.2%
2 東京都23区外	8	8.3%
3 千葉県	4	4.2%
4 埼玉県	7	7.3%
5 神奈川県	17	17.7%
6 その他	8	8.3%
合計	96	

## Ⅱ. 生活全般について

### 6. 家計支持者

	回答数	回答率
1 あなた自身	80	83.3%
2 配偶者	12	12.5%
3 父親・母親	1	1.0%
4 両親以外の親族	0	0.0%
5 その他	3	3.1%
合計	96	

### 7. 希望する経済支援（複数選択）

	回答数	回答率
1 給付型（返還義務なし）奨学金	40	42.1%
2 貸与型（返還義務あり）奨学金	5	5.3%
3 授業料免除	42	44.2%
4 一時貸付金	4	4.2%
5 その他	8	8.4%
6 特に希望しない	30	31.6%
合計	129	

### 7-1. 一時貸付金の必要理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料のため	3	75.0%
2 生活費のため	1	25.0%
3 その他	1	25.0%
合計	5	

### 8. 収入源（複数選択）

	回答数	回答率
1 有職者としての給与	87	91.6%
2 奨学金	3	3.2%
3 仕送り	0	0.0%
4 他大学での非常勤講師	1	1.1%
5 民間会社の契約社員や派遣社員	1	1.1%
6 不定期なアルバイト	2	2.1%
7 借入金	0	0.0%
8 その他	6	6.3%
合計	100	

### 9. 1ヶ月の生活費・研究活動費

	回答数	回答率
1 充分である	41	42.7%
2 まあまあ足りている	39	40.6%
3 ぎりぎりである	10	10.4%
4 不足している	6	6.3%
合計	96	

### 9-1. 生活費・研究活動費で不足しているもの（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料が納入できない	2	33.3%
2 研究時間確保でアルバイトができない	1	16.7%
3 研究用資料・書籍が購入できない	2	33.3%
4 IT環境を整備できない	1	16.7%
5 学会・研究会などに行けない	2	33.3%
6 研究のための調査に行けない	2	33.3%
7 研究論文の投稿料・査読料・掲載料が払えない	1	16.7%
8 その他	2	33.3%
無効・無回答	0	0.0%
合計	13	

### 10. 平均的な起床・就寝時間

	平均時刻
1 起床時刻	6.6 時頃
2 就寝時刻	24.1 時頃

### 11. 登校時の食事

	回答数	回答率
1 通学前	20	20.8%
2 在校中	18	18.8%
3 帰宅後	53	55.2%
4 とらない	5	5.2%
合計	96	

### 11-1. 食事方法（複数選択）

	回答数	回答率
1 軽食を持参	16	88.9%
2 学内に設置の軽食用自販機を利用	0	0.0%
3 大学近辺の飲食店を利用	7	38.9%
4 その他	0	0.0%
無効・無回答	0	0.0%
合計	23	

### 12. 日常生活満足度

	回答数	回答率
1 かなり満足	7	7.3%
2 おおむね満足	56	58.3%
3 どちらともいえない	23	24.0%
4 少し不満	8	8.3%
5 かなり不満	2	2.1%
合計	96	

### 13. 新型コロナウイルスが生活に及ぼしている影響

		とてもよい影響があった		よい影響があった		どちらともいえない		悪い影響があった		とても悪い影響があった		統計 回答数
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1	自身のキャリア形成	18	18.9%	33	34.7%	33	34.7%	8	8.4%	3	3.2%	95
2	家族関係や友人との関係	8	8.4%	25	26.3%	44	46.3%	16	16.8%	2	2.1%	95
3	自身のメンタルヘルスや健康状態	9	9.4%	22	22.9%	44	45.8%	18	18.8%	3	3.1%	96
4	自身の収入または家族の収入	2	2.1%	5	5.3%	78	82.1%	8	8.4%	2	2.1%	95
6	余暇時間の過ごし方	16	16.8%	21	22.1%	28	29.5%	25	26.3%	5	5.3%	95



### Ⅲ. 通学・事故等について

#### 14. 通学手段（複数選択）

		雨天時		雨天以外	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	徒歩	39	40.6%	39	41.1%
2	自転車	2	2.1%	11	11.6%
3	バス	11	11.5%	8	8.4%
4	バイク(原付を含む)	0	0.0%	0	0.0%
5	自家用車	4	4.2%	4	4.2%
6	東京メトロ丸の内線	86	89.6%	82	86.3%
7	それ以外の鉄道路線	55	57.3%	56	58.9%
8	その他	1	1.0%	2	2.1%
合計		198		202	

#### 15. 片道の通学時間（雨天以外）

		回答数	回答率
1	15分未満	8	8.4%
2	15分～30分未満	12	12.6%
3	30分～45分未満	16	16.8%
4	45分～1時間未満	21	22.1%
5	1時間～1時間半未満	23	24.2%
6	1時間半～2時間未満	11	11.6%
7	2時間以上	4	4.2%
合計		95	

#### 16. 宗教団体等への参加勧誘

		ある		ない	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	大学院入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが	1	1.0%	95	99.0%
2	大学院入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが	0	0.0%	96	100.0%
3	大学院入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	1	1.0%	95	99.0%
4	大学院入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	0	0.0%	96	100.0%

#### Ⅳ. 健康状態について

##### 17. 健康状態（過去1年間）（複数選択）

		回答数	回答率
1	健康である	63	65.6%
2	健康不良で数日寝込んだ(受診・入院を除く)	20	20.8%
3	身体の病気で受診・入院した	19	19.8%
4	精神的な問題で受診・入院した	7	7.3%
5	心理的な問題で相談機関を利用した	3	3.1%
6	けがで受診・入院した	4	4.2%
7	その他	1	1.0%
合計		117	

##### 18. 悩みの原因（複数選択）

		回答数	回答率
1	学業と仕事の両立	73	76.0%
2	学業や研究の不振	33	34.4%
3	単位修得の問題	15	15.6%
4	転研究科・転専攻	0	0.0%
5	休学・退学	4	4.2%
6	友人との関係	8	8.3%
7	教員との関係	8	8.3%
8	研究室内の問題	1	1.0%
9	恋愛関係	3	3.1%
10	家族関係	13	13.5%
11	自分の性格	9	9.4%
12	自分の精神的・心理的状态	17	17.7%
13	自分の身体的病気・けが等の状態	16	16.7%
14	経済状態	14	14.6%
15	ハラスメント	4	4.2%
16	その他	7	7.3%
17	特にない	14	14.6%
合計		239	

##### 19. 感じ方（過去1年間）

		とてもあてはまる		少しあてはまる		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	自分のやりたいことができている	38	39.6%	48	50.0%	10	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
2	何となく不安になることがある	21	21.9%	40	41.7%	26	27.1%	9	9.4%	0	0.0%
3	自分のことをよくわかってきている人がいる	40	41.7%	39	40.6%	12	12.5%	5	5.2%	0	0.0%
4	何をやってもうまくいかない気がする	4	4.2%	15	15.6%	52	54.2%	25	26.0%	0	0.0%
5	気分が憂鬱である	4	4.2%	23	24.0%	41	42.7%	28	29.2%	0	0.0%
6	「死にたい」と思ったことがある	2	2.1%	5	5.2%	9	9.4%	79	82.3%	1	1.0%
7	大学生活が充実している	26	27.1%	53	55.2%	16	16.7%	1	1.0%	0	0.0%

## V. 相談相手・情報の得方について

### 20-1. 相談相手

	1 番目		2 番目		3 番目	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 家族	58	60.4%	20	21.1%	8	8.8%
2 職場の同僚	4	4.2%	15	15.8%	23	25.3%
3 職場の上司	2	2.1%	5	5.3%	9	9.9%
4 恋人	4	4.2%	4	4.2%	10	11.0%
5 友人（学内）	4	4.2%	11	11.6%	17	18.7%
6 友人（学外）	15	15.6%	28	29.5%	4	4.4%
7 教員	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%
8 その他	2	2.1%	4	4.2%	19	20.9%
9 特になし	7	7.3%	7	7.4%	0	0.0%
無効・無回答	0	0.0%	1	1.1%	5	5.3%
合計	96		96		96	

### 20-2. 相談相手と話す機会

	頻繁にある		少しある		あまりない		ほとんどない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 1 番目の人とは	63	69.2%	21	23.1%	3	3.3%	4	4.4%	1	1.0%
2 2 番目の人とは	35	39.3%	39	43.8%	10	11.2%	5	5.6%	3	3.2%
3 3 番目の人とは	19	24.4%	40	51.3%	11	14.1%	8	10.3%	14	15.2%

### 21. 情報取得源（複数選択）

	回答数	回答率
1 教員	52	54.2%
2 事務職員	33	34.4%
3 友人等	54	56.3%
4 TWINS 掲示板	38	39.6%
5 manaba の掲示板	68	70.8%
6 Microsoft Teams	6	6.3%
7 大学の HP	30	31.3%
8 専攻等のメーリングリスト	34	35.4%
9 学位プログラムまたは専攻等のメーリングリストまたはグループライン	24	25.0%
10 SNS（Twitter、Instagram 等）	9	9.4%
11 その他	5	5.2%
合計	353	

### 22. 必要な相談機関（複数選択）

	回答数	回答率
1 健康に関する相談	26	30.6%
2 精神・保健に関する相談	43	50.6%
3 ワーク・ライフ・バランス相談	46	54.1%
4 その他何でも相談	30	35.3%
合計	145	

## Ⅵ. 本学への期待や要望等について

### 23. 教員に期待すること

	回答数	回答率
1 優れた研究者であってほしい	28	29.2%
2 授業内容を充実させてほしい	18	18.8%
3 もっと解りやすく教えてほしい	14	14.6%
4 研究指導の時間を確保してほしい	21	21.9%
5 ハラスメントの問題に敏感になってほしい	0	0.0%
6 研究成果を教育の現場にもっと反映してほしい	2	2.1%
7 その他	4	4.2%
8 特になし	9	9.4%
合計	96	

### 24. 教育面や制度面で充実してほしい点（複数選択）

	回答数	回答率
1 教育研究スタッフ	76	48.4%
2 カリキュラム	90	57.3%
3 留学制度	17	10.8%
4 教員との懇談会	25	15.9%
5 奨学金・授業料免除等の経済的支援	49	31.2%
6 ボランティア活動に対する支援	6	3.8%
7 支援室や事務室の対応	25	15.9%
8 メンタル面に関する支援	2	1.3%
9 ハラスメント対応（組織・制度）	3	1.9%
10 その他	14	8.9%
合計	307	

### 25. 整備・充実してほしい施設等（複数選択）

	回答数	回答率
1 教室・実験室	33	21.0%
2 図書館	114	72.6%
3 IT環境	64	40.8%
4 セキュリティ	13	8.3%
5 駐車場	10	6.4%
6 外灯	6	3.8%
7 その他	26	16.6%
合計	266	

### 26. 学外研修施設利用の有無

	回答数	回答率
1 ある	2	1.3%
2 ない	67	42.7%
3 存在を知らない	88	56.1%
合計	157	